

現場説明書

工事名 国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事

国立青少年教育振興機構財務部施設管理課			
課長	課長補佐	施設管理課	担当

- 1 工事名 国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事
- 2 工事場所 東京都渋谷区代々木神園町3-1 (国立オリンピック記念青少年総合センター構内)
- 3 完成期限 令和5年3月31日 (金曜日)

4 一般事項

現場説明書の適用方法

- (1) ・印で始まる事項については、○印を付した事項のみ適用する。
- (2) 文中及び表中の各欄に数字、文字、記号等を記入する事項については記入してある事項のみ適用する。
- (3) ——印又は×印で抹消した事項は全て適用しない。

5 施工に関する事項

(1) 工事用地

範囲は監督職員と協議の上決定し、使用にあたっては「工事用地使用許可願」を監督職員に提出して、発注者等の承諾を得ること。ただし、工事用地の借料は無償とする。

(2) 仮設物の設置等

① 仮設建物等

仮設建物等を設置するときは、「仮設物設置許可願」を監督職員に提出して発注者等の承諾を得ること。

② 障害物の撤去又は移設

障害物の撤去又は移設をするときは、監督職員の指示により行うこと。

③ 仮囲い等

仮囲い等を設けるときは、別図の位置に、図示の種類によること。

④ 監督職員事務所

・設ける (号) ○設けない

号	1	2	3	4	5	6
規模 (m ²)	10内外	20内外	35内外	65内外	100内外	

⑤ 仮設物の維持管理等

仮設物は、施工、監督及び検査に便利かつ安全な材料構造でかつ関係法規に準拠して設置するものとし、常に維持保全に注意すること。

⑥ 墜落制止用器具の着用について

労働安全衛生法施行令第13条第3項第28号における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」(平成31年1月25日厚生労働省告示第11号)による墜落制止用器具(フルハーネス型墜落制止用器具、胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード等)とする。

⑦ その他

- a) 工事期間中、近隣住民等第三者には、十分注意を払うこと。
- b) 既存施設や道路等を汚損もしくは破損したときは、速やかに監督職員と協議の上原状に復するものとする。
- c) 撤去工事における騒音、塵埃等には十分注意し、必要に応じて養生等の処置を講ずること。
- d) 工事車両等の運行にあたっては、安全対策について、監督職員と十分協議の上事故防止に努める。

(3) 工事用電力等

- ① 工事用電力、電話、給水、排水等は受注者において手続きの上設置し、その費用及び使用料は受注者の負担とする。
- ② 工事用電力
 - ・ 電力会社と協議の上引き込む 〇 構内より分岐できる
- ③ 工事用電話
 - ・ 構外より引込む。 〇 携帯電話にて対応する
- ④ 工事用給水
 - ・ 構外より引込む。 〇 構内より分岐できる。 ・ さく井する。 ・
- ⑤ 工事用電力、電話、給水の引き込み位置は別図により、排水は別図又は監督職員の指示による。
- ⑥ 工事に際して、学内の上水道、下水道施設を使用するときは「上(下)水道使用願」を監督職員に提出して、発注者等の承諾を得ること。
- ⑦ その他
工事用電力、工事用給水を構内より分岐する場合は、受注者の負担において電力量計、量水器を設置し、料金は国立オリンピック記念青少年総合センターへ納入する。

(4) 工事写真等

① 工事写真等

工事写真等は、文部科学省が定めた「工事写真撮影要領」により撮影し、次表のものを提出すること。

区 分	大 き さ	種 類	組
敷地状況写真	サービス判	カラー	1組
工 事 写 真	サービス判	カ ラ ー	1 組
完 成 写 真	サービス判	カ ラ ー	1 組

※ 完成写真はファイルし、表紙に工事名、工期を記入し、撮影方向等を明示した配置図、平面図を添付すること。

② その他

質疑回答書、現場説明書、特記仕様書及び設計図（発注図）のA3版2つ折り製本を3部提出すること。

(5) その他

鍵は、各組（一組は同一鍵3本）毎に鍵札（アクリル製）を付け、キープラン及び鍵リストを添えて鍵箱（鍵掛け付き）に納めて提出すること。

6 契約に関する事項

(1) 独立行政法人国立青少年教育振興機構工事請負契約基準（以下、「基準」という。）の運用

① 基準第3の規定による、

工事費内訳明細書 { 〇 提出する。
・ 提出しない。

工 程 表

- 提出する。
- ・ 提出しない。

- ② ~~基準第25第1項の規定により請負代金額の変更を請求する場合は、発注者又は受注者から請求のあった日から起算して、残工事の工期が2月以上ある場合とする。~~
- ③ ~~基準第25第2項の残工事代金額を算出する根拠となる残工事量を確認する場合において、工事の工程が受注者の責により遅延していると認められる場合は遅延していると認められる工事量を残工事量に含めないものとする。~~
- ④ 基準第29第4項にいう「請負代金額」とは、損害を負担する時点における請負代金額をいう。
- ⑤ 天災、その他不可抗力による1回の損害合計額が前項にいう請負代金額の1000分の5の額（この額が20万円を越えるときは20万円）に満たないものは損害合計額とみなさないものとする。
- (2) 契約の保証について
- 落札者は、工事請負契約書案の提出とともに、次の①から⑦のいずれかの書類を提出しなければならない。
- ① 契約保証金として納付するものが、現金の場合は、保管金領収証書及び契約保証金納付書
- ア 保管金領収証書は、三菱UFJ銀行渋谷支店に契約保証金の金額に相当する金額の現金を払い込んで交付を受けること。
- イ 保管金領収証書の宛名の欄には、独立行政法人国立青少年教育振興機構 出納責任者 山川 寿典と記載するように申し込むこと。
- ウ 請負代金額の変更により契約保証金の金額を変更する場合の取扱いについては、独立行政法人国立青少年教育振興機構の指示に従うこと。
- エ 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、契約保証金は、独立行政法人国立青少年教育振興機構契約事務取扱規則により独立行政法人国立青少年教育振興機構に帰属する。なお、違約金の金額が契約保証金の金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。
- オ 受注者は、工事完成後、請負代金額の支払請求書の提出とともに保管金払渡請求書を提出すること。
- ② 契約保証金の納付に代わる担保が、国債（国債に関する法律の規定により登録された国債を除く）、政府の保証のある債券、銀行、株式会社商工組合中央金庫、農林中央金庫又は全国を地区とする信用金庫連合会の発行する債券、日本国有鉄道改革法（昭和61年法律第87号）附則第2項の規定による廃止前の日本国有鉄道法（昭和23年法律第256号）第1条の規定により設立された日本国有鉄道及び日本電信電話株式会社等に関する法律（昭和59年法律第85号）附則第4条第1項の規定による解散前の日本電信電話公社が発行した債券で政府の保証のある債券以外のもの、地方債及び独立行政法人国立青少年教育振興機構が確実と認める社債の場合は、政府保管有価証券払込済通知書及び契約保証金納付書
- ア 政府保管有価証券払込済通知書は、三菱UFJ銀行渋谷支店に契約保証金の金額に相当する金額の当該有価証券を払い込んで、交付を受けること。
- イ 政府保管有価証券払込済通知書の宛名の欄には、独立行政法人国立青少年教育振興機構 出納責任者 山川 寿典と記載するように申し込むこと。
- ウ 請負金額の変更により契約保証金の金額を変更する場合の取扱いについては、独立行政法人国立青少年教育振興機構の指示に従うこと。
- エ 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、保管有価証券は、独立行政法人国立青少年教育振興機構契約事務取扱規則により独立行政法人国立青少年教育振興機構に帰属する。なお、違約金の金額が契約保証金の金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。

- オ 受注者は、工事完成後、請負代金額の支払請求書の提出とともに政府保管有価証券払渡請求書を提出すること。
- ③ 契約保証金の納付に代わる担保が、銀行又は独立行政法人国立青少年教育振興機構が確実と認める金融機関が振り出し又は支払を保証した小切手、銀行又は独立行政法人国立青少年教育振興機構が確実と認める金融機関が引き受け又は保証若しくは裏書をした手形である場合は、当該有価証券及び契約保証金納付書
- ア 請負代金額の変更により契約保証金の金額を変更する場合の取扱いについては、独立行政法人国立青少年教育振興機構の指示に従うこと。
- イ 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、当該有価証券は、独立行政法人国立青少年教育振興機構契約事務取扱規則により独立行政法人国立青少年教育振興機構に帰属する。なお、違約金の金額が契約保証金の金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。
- ウ 受注者は、工事完成後、請負代金額の支払請求書の提出とともに政府保管有価証券払渡請求書を提出すること。
- ④ 契約保証金の納付に代わる担保が、銀行又は独立行政法人国立青少年教育振興機構が確実と認める金融機関に対する定期預金債権の場合は、当該債権に係る証書及び当該債権に係る債務者である銀行又は独立行政法人国立青少年教育振興機構が確実と認める金融機関の承諾を証する確定日付のある書面及び契約保証金納付書
- ア 当該債権に質権を設定し提出すること。
- イ 請負代金額の変更により契約保証金の金額を変更する場合の取扱いについては、独立行政法人国立青少年教育振興機構の指示に従うこと。
- ウ 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、当該債権は、独立行政法人国立青少年教育振興機構契約事務取扱規則により独立行政法人国立青少年教育振興機構に帰属する。なお、違約金の金額が契約保証金の金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。
- エ 受注者は、工事完成後、**独立行政法人国立青少年教育振興機構 理事長 古川 和**から当該債権に係る証書及び当該債権に係る債務者である銀行又は独立行政法人国立青少年教育振興機構が確実と認める金融機関の承諾を証する確定日付のある書面の返還を受けるものとする。
- ⑤ 債務不履行による損害金の支払を保証する金融機関等の保証に係る保証書及び契約保証金納付書
- ア 債務不履行による損害金の支払の保証ができる者は、出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律（昭和29年法律第195号）第3条に規定する金融機関である銀行、信託会社、保険会社、信用金庫、信用金庫連合会、労働金庫、労働金庫連合会、農林中央金庫、株式会社商工組合中央金庫、株式会社日本政策投資銀行並びに信用協同組合及び農業協同組合、水産業協同組合その他の貯金の受入れを行う組合（以下「銀行等」という。）又は公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証事業会社（以下「金融機関等」と総称する。）とする。
- イ 保証書の宛名の欄には、**独立行政法人国立青少年教育振興機構 理事長 古川 和**と記載するように申し込むこと。
- ウ 保証債務の内容は、工事請負契約書に基づく債務の不履行による損害金の支払いであること。
- エ 保証書上の保証に係る工事の工事名の欄には、工事請負契約書に記載される工事名が記載されるように申し込むこと。
- オ 保証金額は、契約保証金の金額以上とすること。
- カ 保証期間は、工期を含むものとする。
- キ 保証債務履行請求の有効期間は、保証期間経過後6カ月以上確保されるものとする。
- ク 請負代金額の変更又は工期の変更等により保証金額又は保証期間を変更する場合等の

取扱いについては、独立行政法人国立青少年教育振興機構の指示に従うこと。

ケ 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、金融機関等から支払われた保証金は、独立行政法人国立青少年教育振興機構契約事務取扱規則により独立行政法人国立青少年教育振興機構に帰属する。なお、違約金の金額が保証金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。

コ 受注者は、銀行等が保証した場合にあっては、工事完成后、**独立行政法人国立青少年教育振興機構 理事長 古川 和**から保証書（変更契約書を含む。）の返還を受け、銀行等に返還すること。

⑥ 債務の不履行により生ずる損害をてん補する履行保証保険契約に係る証券

ア 履行保証保険とは、保険会社が債務不履行時に保険金を支払うことを約する保険である。

イ 履行保証保険は、定額てん補方式を申し込むこと。

ウ 保険証券の宛名の欄には、**独立行政法人国立青少年教育振興機構 理事長 古川 和**と記載するように申し込むこと。

エ 証券上の契約の内容としての工事名の欄には、工事請負契約書に記載される工事名が記載されるように申し込むこと。

オ 保険金額は、請負代金額の10分の1の金額以上とする。

カ 保険期間は、工期を含むものとする。

キ 請負代金額の変更により保険金額を変更する場合の取扱いについては、独立行政法人国立青少年教育振興機構の指示に従うこと。

ク 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、保険会社から支払われた保険金は、独立行政法人国立青少年教育振興機構契約事務取扱規則により独立行政法人国立青少年教育振興機構に帰属する。なお、違約金の金額が保険金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。

⑦ 債務の履行を保証する公共工事履行保証証券による保証に係る証券

ア 公共工事履行保証証券とは、保険会社が保証金額を限度として債務の履行を保証する保証である。

イ 公共工事履行保証証券の宛名の欄には、**独立行政法人国立青少年教育振興機構 理事長 古川 和**と記載するように申し込むこと。

ウ 証券上の主契約の内容としての工事名の欄には、工事請負契約書に記載される工事名が記載されるように申し込むこと。

エ 保証金額は、請負代金額の10分の1の金額以上とする。

オ 保証期間は、工期を含むものとする。

カ 請負代金額の変更又は工期の変更等により保証金額又は保証期間を変更する場合等の取扱いについては、独立行政法人国立青少年教育振興機構の指示に従うこと。

キ 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、保険会社から支払われた保証金は、独立行政法人国立青少年教育振興機構契約事務取扱規則により独立行政法人国立青少年教育振興機構に帰属する。なお、違約金の金額が保証金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。

(3) 工事請負代金債権の債権譲渡

この工事の受注者は、下請セーフティーネット債務保証事業又は地域建築業経営強化融資制度のいずれかに係る融資を受けることを目的として、工事請負代金債権の債権譲渡を申し出ることができるものとする。

(4) 下請契約の締結

受注者は、下請負人を使用する場合は、「建設工事標準下請契約約款」（昭和52年4月26日中央建設業審議会決定）に準拠した適切な下請契約を締結すること。また、「建設業法令遵守ガイドライン（第5版）-元請負人と下請負人の関係に係る留意点-」（平成29年3月国土交通省土地・建設産業局建設業課）により適切な取引をすること。

(5) 建設産業における生産システム合理化指針の遵守等について

工事の適正かつ円滑な施工を確保するため、「建設産業における生産システム合理化指針について」（平成3年2月5日付け建設省経構発第2号の3建設省建設経済局長通知）において明確にされている総合・専門工事業者の役割に応じた責任を的確に果たすとともに、適正な契約の締結、適正な施工体制の確立、建設労働者の雇用条件等の改善等に努めること。また、下請代金の支払については発注者から受取った前払金の下請建設業者に対する均てん、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等その適正化について特段の配慮をすること。

(6) 監督職員の権限

基準第9第2項第1号から第3号に示す範囲とする。

(7) 請負代金の支払

請負代金（前払金及び~~中間前払金~~を含む）は、受注者からの適法な支払請求書に応じて独立行政法人国立青少年教育振興機構財務部財務課から2回以内に支払うものとする。

(8) 請負代金の前払い

公共工事の前払金保証事業会社と保険契約を締結し、当該保証証書を添えて工事請負代金額の「10分の4」以内の額の前払金を請求することが出来る。~~また、前払金の支払を受けた後、公共工事の前払金保証事業会社と保険契約を締結し、当該保証証書を添えて工事請負代金額の「10分の2」以内の額の中間前払金を請求することができる。~~

(9) 工事関係保険の締結

この工事の受注者は、速やかに、次の付保条件により、組立保険契約（共済その他これに準じる機能を有するものを含む。）締結すること。

① 保険対象

工事請負契約の対象となっている工事全体とすること。

② 保険契約者

受注者とすること。

③ 被保険者

発注者並びに受注者及びそのすべての下請負人（リース仮設材を使用する場合には、リース業者を含む。）とすること。

④ 保険金額

請負代金額と同額とすること。ただし、支給材料又は貸与品の価額が算入されていないときはその新調達価額を加算し、保険の目的に含まれない工事の費用（解体撤去工事費、用地費、補償費等をいう。）が算入されているときはその金額を控除すること。

⑤ 保険金支払額の控除額（免責額）

請負代金額の1000分の5の額（この額が20万円を超えるときは20万円）未満とすること。

⑥ 保険金請求者

受注者とすること。

⑦ 保険期間

工事着手の日から工事目的物の完成引渡しの日までの期間とすること。

⑧ 特約条項

ア 同一発注者による同一工事場内における分離発注工事の隣接工区受注者相互間の求償権不行使特約を付帯すること。

~~イ 水災危険担保特約を付帯すること。~~

ウ 次の付保条件により、損害賠償責任担保特約を付帯（請負業者賠償責任保険その他これに準じる機能を有するものを付保することを含む。）すること。

（ア）対人賠償保険金額は、1名につき1億円以上かつ1事故につき10億円以上とすること。

（イ）対物賠償保険金額は、1事故につき1億円以上とすること。

（ウ）発注者受注者相互間の交差責任担保特約を付帯すること。

（エ）分離発注工事の隣接工区に対する賠償責任担保特約を付帯すること。

⑨ その他

ア ここで示す付保条件は、工事関係保険として最低限必要と思われる付保条件であり、受注者が受注者の判断でこれ以上の付保条件で工事関係保険を付保することを妨げるものでない。ただし、当該付保条件についても発注者が指示したものとみなす。

~~イ 建物の建築工事の受注者は、分離発注される当該建物の付帯設備工事の受注者と協議の上、建築工事の受注者が保険契約者となり、付帯設備工事の受注者を被保険者に加え、一括して建設工事保険契約を締結することも可能である。~~

ウ 受注者が工事関係保険契約を締結したときは、遅滞なく、その保険証券を発注者に提示すること。ただし、総括契約方式による付保の場合は、保険会社の引受証明を発注者に提示すること。

エ 工事関係保険契約締結後に設計変更等により工事期間又は請負代金額に変更を生じた場合などには、速やかに、付保条件について変更の手続をとること。

7 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について

- (1) 独立行政法人国立青少年教育振興機構が発注する建設工事（以下「発注工事」という）において、暴力団員、暴力団員準構成員又は暴力団関係業者（以下「暴力団員等」という）による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合には、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
- (2) (1)により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。
- (3) 発注工事において、暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合には、発注者と協議を行うこと。

8 その他

(1) 工事実績情報サービス（CORINS）への登録

この工事の受注者は、工事契約内容及び施工内容について契約締結後10日以内に、登録内容に変更があったときは登録内容に変更が生じた日から10日以内に、完成引渡しについて完成引渡し後10日以内にそれぞれの情報を財団法人日本建設情報総合センターの工事実績情報サービス（CORINS）への登録すること。

(2) 公共事業労務費調査への協力

毎年定期的実施される公共事業労務費調査への協力を依頼することがあるので、労働基準法第108条による賃金台帳を整備しておくこと。

なお、賃金台帳の整備にあたっては、全国建設業協会刊「建設現場の賃金管理の手引き」によること。

(3) 建設業退職金共済制度について

- ① 建設業退職金共済組合に加入するとともに、その建設業退職金共済制度の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。
- ② 「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。
- ③ 掛金収納書（発注者用）を工事請負契約締結後原則1ヶ月以内（電子申請方式による場合にあっては、工事請負契約締結後原則40日以内）に、発注者に提出すること。

~~(4) 工事成績評定について~~

~~この工事は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成12年法律第127号）及び「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」（令和元年10月18日閣議決定）に基づき、文部科学省が定めた工事成績評定要領（平成20年1月17日付け19文科施第370号）による工事成績評定の対象工事である。~~

~~(5) ワンデーレスポンスの実施について~~

~~本工事はワンデーレスポンスの実施対象工事である。~~

- ④ ~~ワンデーレスポンスとは、発注者からの質問、協議に対して、発注者は、基本的に「その日のうちに」回答するよう対応することである。なお、即日回答が困難な場合に、いつま~~

~~でに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうちに」することを含むものとする。~~

~~② 受注者は、実施工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行うこと。~~

~~③ 受注者は、工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。~~

(6) 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間について

① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員と協議の上定める。

② 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

(7) 現場代理人の工事現場における常駐の緩和について

① 基準第10第3項に規定する現場代理人の工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないとは、以下のものとする。

ア 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間。）。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員と協議の上、定める。

イ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続き、後片付け等のみが残っている期間。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、発注者に通知した日とする。

ウ 工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間。

エ 工事現場において作業等が行われていない期間。

② 基準第10第3項に規定する発注者との連絡体制が確保されるとは、発注者又は監督職員と携帯電話等で常に連絡が取られること、かつ、発注者又は監督職員が求めたときは、工事現場に速やかに向かう等の対応が取られることとする。

③ その他請負契約の締結後、監督職員と協議の上、現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間を定める。

(8) 建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者及び監理技術者補佐の工事における取扱いについて

本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「特例監理技術者」という。）の配置を認めない。

~~④ 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「特定監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下のア～ウの要件を全て満たさなければならない。~~

~~ア 建設業法第26条第3項ただし書による監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。~~

~~イ 監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定品目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。~~

~~ウ 監理技術者補佐は入札参加者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。~~

~~エ 同一の特定監理技術者が配置できる工事の数は、本工事を含め同時に2件までとする。（ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの（当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される~~

~~場合に限る)については、これら複数の工事を一の工事とみなす)~~

~~オ 特例監理技術者が兼務できる工事は〇〇地域内(例:〇〇市、〇〇市及び〇〇町)の工事でなければならない。~~

~~カ 特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立合等の職務を適正に遂行しなければならない。~~

~~キ 特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。~~

~~ク 監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。~~

② 本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務する事となる場合、前項ア～クの事項について確認できる書類を提出すること。

③ 本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にコリンズ(CORINS)への登録を行うこと。

(9) ~~特別重点調査を受けた者との契約について~~

~~「低入札価格調査対象工事に係る特別重点調査の試行について」(平成21年3月31日大臣官房文教施設企画部長通知)に基づく特別重点調査を受けた者との契約については、その契約の保証については請負代金の10分の3以上とし、前払金の割合については、請負代金額の10分の2以内とする。ただし、工事が進捗した場合の中間前払金及び部分払の請求を妨げるものではない。~~

(10) 引渡し後点検について

受注者は、完成引渡し後1年経過を目途に、施設の不具合の有無等について点検を行うものとする。

(11) 設計図書の取扱い

本工事の設計図書の取扱いは以下によるものとする。

- ① 図書の取扱い、保管は、善良なる管理者の注意義務を負うことに同意すること。
- ② 目的以外の使用は禁止とすること。
- ③ 図書を複写する場合、その部数は必要最低限とし、複写した図書は用済み後責任を持って確実に処分すること。

(12) デジタル工事写真の小黑板情報電子化について

デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入及び工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事で受注者がデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得た上でデジタル工事写真の小黑板情報電子化対象工事(以下、「対象工事」という。)とすることができる。対象工事では、以下の①から③の全てを実施することとする。

なお、本項に規定していない事項は「工事写真撮影要領(文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部参事官)」に準ずる。

① 必要な機器・ソフトウェア等の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等(以下、「使用機器」という。)については、「工事写真撮影要領(文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部参事官)」の「2.1.2 形状、寸法、仕様等の確認方法2.」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認機能(改ざん検知機能)を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認機能(改ざん検知機能)は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL

「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、対象工事での使用機器について提示するものとする。

② デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、「工事写真

撮影要領（文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部参事官）」の「2.1.2形状、寸法、仕様等の確認方法 2.」による。

なお、対象工事において、「小黑板情報電子化」と「小黑板を被写体に添えての撮影（従来の方法）」を併用することは差し支えない（例えば、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、使用機器の利用が困難な工種が想定される）。

③ 小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、②に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黑板情報電子化写真」という。）を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者はURL (http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事

図面番号	図面名称	縮尺(A1)
E-01	表紙・図面リスト	N S
特-01	特記仕様書(1)	N S
特-02	特記仕様書(2)・工事区分表	N S
E-02	配置図・案内図	1/1000
E-03	電灯設備(電灯分岐) 照明器具姿図・器具リスト	N S
E-04	電灯設備(電灯分岐) B1階配線図(1)	1/100
E-05	電灯設備(電灯分岐) B1階配線図(2)	1/100
E-06	電灯設備(電灯分岐) 1階配線図(1)	1/100
E-07	電灯設備(電灯分岐) 1階配線図(2)	1/100
E-08	電灯設備(電灯分岐) 2階配線図	1/100
E-09	電灯設備(電灯分岐) 3階配線図	1/100
E-10	電灯設備(防災照明) 照明器具姿図	N S
E-11	電灯設備(防災照明) B1階配線図	1/200
E-12	電灯設備(防災照明) 1階配線図	1/200
E-13	電灯設備(防災照明) 2階配線図	1/200
E-14	電灯設備(防災照明) 3階配線図	1/200
E-15	電灯設備(コンセント分岐) 2階配線図	1/100
E-16	動力設備(動力幹線・動力分岐) B1階配線図	1/100
E-17	動力設備(動力幹線・動力分岐) 中B1階配線図	1/100
E-18	動力設備(動力幹線・動力分岐) 2階配線図	1/100
E-19	動力設備(動力幹線・動力分岐) 3階配線図	1/100
E-20	動力制御盤結線図(改修)	N S
E-21	受変電設備 単線結線図(改修)	N S
E-22	受変電設備 姿図・ブロックスケルトン(改修)	1/20
E-23	受変電設備 電気室 配線図(改修)	1/60
E-24	誘導支援設備(トイレ呼出) B1~3階配線図	1/50
E-25	1階研修室 電灯設備 配線図(改修前・改修後)	1/100
E-26	1階研修室 通信・火災報知設備 配線図(改修前・改修後)	1/100

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事
				表紙・図面リスト
				縮尺 N.S
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				E-01
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

I 工事概要

東京都渋谷区代々木神園町3番1号
 1. 工事場所 (国立オリンピック記念青少年総合センター構内)
 2. 完成期限 令和 5年 3月 31日(金曜日)
 3. 建物概要

建物名称	スポーツ棟		
工種	模様替		
構造	SRC一部S造		
階数	地下1階地上3階		
建築基準法による	建築面積(㎡)	5,127.11	
	延べ面積(㎡)	9,371.54	
消防法施行令別表第一の区分	(15)		
改修面積(㎡)	図示		
備考	基準法上の用途:研修所		

4. 工事種目 (●印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	建物別及び屋外			
	工 事 種 別			
●電灯設備	一式			
●動力設備	一式			
○電気自動車用充電設備				
○電熱設備				
○雷保護設備				
●受変電設備	一式			
○電力貯蔵設備				
○発電設備				
○構内情報通信網設備				
○構内交換設備				
●情報表示設備	一式			
○映像・音響設備				
●拡声設備	一式			
●誘導支援設備	一式			
○テレビ共同受信設備				
○監視カメラ設備				
○駐車場管制設備				
○防犯・入退室管理設備				
●火災報知設備	一式			
○中央監視制御設備				
○構内配電線路				
○構内通信線路				
●発生材処理	一式			

5. 指定部分 ●無 ○有 対象部分 ()
 指定部分工期 年 月 日
 6. 概成工期 ●無 ○有 令和 年 月 日 (曜日)
 (第1編1.1.2)、[第1編1.1.2]

II 工事仕様

1. 共通仕様
 (1) 文部科学省発注工事請負等契約規則(文部科学省訓令第二十二号)別記第1号の工事請負契約基準、現場説明書、図面 26 枚及び本特記仕様書 2 枚によるほか、●印の付いたものを適用する。
 ●公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下「標準仕様書」という。)
 ●公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
 ●公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)(以下「標準図」という。)
 ●文部科学省電気設備工事標準仕様書(特記基準)(令和4年版)(以下「文科仕様書」という。)
 ●文部科学省電気設備工事標準図(特記基準)(令和4年版)(以下「文科標準図」という。)
 ●工事写真撮影要領(令和元年7月)
 (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。
 なお、機械設備工事の特記仕様書は()図、建築工事の特記仕様書は()図による。

2. 特記仕様
 (1) 本特記仕様書の表記
 1) 項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。
 2) 項目に記載の(第 編 . . .)内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
 3) 項目に記載の[第 編 . . .]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
 4) 項目に記載の<第 編 . . . >内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

項 目	特 記 事 項	
○適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○風圧力 風速(Vo= m/s) 地表面粗度区分(○Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ ○Ⅳ) ○積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表() この工事現場に下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。	
●電気保安技術者(第1編1.3.2)[第1編1.3.2]	項 目 名	電気保安技術者
	1. 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	●
	2. 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●
	3. 第1種電気工事士の資格を有する者	●
	4. 高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	○
	5. 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	●
	6. 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	●
	7. 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●
	8. 第2種電気工事士の資格を有する者	●
	9. 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者	○
●施工条件(第1編1.3.3)[第1編1.3.3]	この工事現場では、次の施工条件による。 ・工事期間中も2階職員執務スペース、及びプール・テニスコート(附帯する更衣室・便所等を含む)の運用を継続していくものとする。 ・本工事体育室等工事は2工区に分けて完成することとする。 ・1工区は地下階(10月~12月)、2工区(1月~3月) ・工事期間中の年末年始において、体育室のイベント利用があるため同期間は工事完成、着手前として現場を開放する対応を必要とする。	
●電源周波数	● 50Hz ○ 60Hz	
●発生材の処理等(第1編1.9.9)[第1編1.9.1]	発生材の処理は、下記による。 (1) 引渡しを要するもの 1) 品 名 _____ 2) 引渡し先 _____ 3) 集積場所 _____ 4) 集積方法 _____ (2) 特別管理産業廃棄物 1) 品 名 _____ 2) 処理方法 _____ (3) 現場において再利用するもの 1) 品 名 _____ 2) 使用場所 _____ (4) 再生資源化するもの 1) 品 名 _____ (5) その他の発生材 1) 品 名 _____ 2) 処理方法 _____	
●環境への配慮(第1編1.4.1)[第1編1.4.1]	(1) 本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和4年2月閣議決定)」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。 (2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジエーテル及びフタル酸ジエーテルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除去)が添加されていない材料を使用する。	

項 目	特 記 事 項			
●機材の品質等(第1編1.4.2)[第1編1.4.2]	④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 下表に機材名が記載された製造業者等は、次の事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、次の事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ○ 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ○ 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ○ 安定的な供給が可能であること。 ○ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ○ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ○ 販売、保守等の営業体制を整えていること。			
○機材の検査等機材の検査に伴う試験(第1編1.4.4~5)[第1編1.4.5~6]	機 材 名	検 査	試 験	摘 要
●施工調査(第1編1.5.1~3)[第1編1.5.1~3]	事前調査 (●本工事 ○別途)	調査項目 (●既存資料調査 ●本工事に必要な現地調査)		
	調査範囲 (○図示 ○)	調査方法 (○図示 ○)		
○施工の検査等施工の検査に伴う試験施工の立会い等(第1編1.5.3~5)[第1編1.6.4~6]	施工部分	検査立会	試験	摘要
●完成時の提出図書(第1編1.7.1~3)[第1編1.11.1~3]	工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。 名 称 体 裁 等 ● 完 成 図 CADデータ(電子納品)及び電子データ ○ " 原図 ○A1版(部) ○A3版(部) ● " 複写図 製本(A4版厚紙表紙紙金文字入り)(2 部) ● " 複写図 仮製本 ○A1版(部) ●A3版(2 部) ● 保全に関する資料 ●紙媒体(2 部) ○電子データ ● 工 事 写 真 ●紙媒体(1 部) ●電子データ			
○石綿含有材料の事前調査(第1編1.8.2~3)[第1編2.1.1][第1編2.2.2]	工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有材料の事前調査を行う。 ● 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 ● 本工事で設置する。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ● 内部足場(○ 種 ○ 種) ○ 外部足場(○ 種 ○ 種)			
○発生残土の処理(第1編2.2.1)[第1編2.3.1]	○ 埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷均しとする。 ○ _____			
○金属管の塗装及び仕上げ(第1編2.7.1)[第1編2.8.1]	次の露出配管は、塗装を行う。 ○ 屋内() ○ 屋外() ○ 屋外に敷設する露出配管で溶融亜鉛メッキ仕上げを使用する場合は付着量300g/㎡以上とする。			

項 目	特 記 事 項																																																			
●耐震措置	設備機器の固定は、次によるほか、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。 (1) 設備機器の固定は、施設の分類並びに機器の種別、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損などが生じないようにする。 ①設計用水平地震力 機器の重量[kN]に設計用水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合は、設計用水平震度は、次による。 設計用標準水平震度																																																			
	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">●特定の施設</th> <th colspan="2">○一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">上層階 屋上 及び塔屋</td> <td>機 器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間階</td> <td>機 器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地階・1階</td> <td>機 器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水 槽 類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </table>				機器種別	●特定の施設		○一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階 屋上 及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	地階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6		水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
機器種別	●特定の施設		○一般の施設																																																	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																
上層階 屋上 及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																															
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																															
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																															
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																															
地階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																															
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																															
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																															
●既存躯体への穿孔(第1編2.11.1~5)	はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、下記による。 ○ 走査式埋設物調査 ○ 放射線透過検査																																																			
○電気工事士(第2編2.1.3)(第3編1.1.4)[第2編2.1.4]	最大電力500[kW]以上の場合においても、電気工事士法(昭和35年法律第139号)に基づく有資格者により施工を行う。																																																			
●フラッシュプレート	フラッシュプレートは、図面に特記なき場合、(●金属製(ステンレス、新金属を含む) ○樹脂製)とする。																																																			
●電線の色別(第2編2.1.3)(第3編1.1.4)[第2編2.1.4]	配線及び主回路の導体の色別は、次による。 ○ 標準仕様書による。 ○ 配線及び主回路の導体の色別は、下記による。																																																			
	電気方式	第1相	第2相	第3相	中性相																																															
高圧	三相3線式	赤	白	青																																																
	三相3線式	赤	接地側	白	黒																																															
	三相4線式	赤	接地側	白	黒	白																																														
	単相2線式	赤(青)	接地側	白																																																
	単相3線式	赤	青			白																																														
配線	直流2線式	青	白																																																	
	(1) 分岐回路の色別	分岐前の色別による。																																																		
	(2) 発電回路の第2相	接地側の電線の色は黄色とする(無停電回路含む)																																																		
	(3) 切替回路の2次側	規定しない。																																																		
分電盤類	(4) 漏電遮断器回路の接地	専用接地極とした時の接地線は、監督職員と協議し、一般接地線と色別を区別する。																																																		
	共通事項	配線(1)~(4)による。																																																		
	左右・上下及び遠近の別は、正面から見た状態	ア) 左右の別は、左からとする。 イ) 上下の別は、上からとし、直流2線式は、下からとする。 ウ) 遠近の別は、近いほうからとし、直流2線式は、遠いほうからとする。																																																		
備考	(a) 配電盤類については、次による。 (1) 左右、遠近の別は、各回路部分における主となる開閉器の操作側又はこれに準ずる側から見た状態とし、分電盤類による。 (2) 三相回路又は単相3線式回路より分岐する回路は、分岐前の色別による。 (3) 三相交流の相は、第1相、第2相、第3相の順に相回転するものとする。 (b) 屋外架空配線の色別は、本表によらなくてよい。 (c) 接地線の色別は、監督職員の承諾を受けること。																																																			
○他工事又は他工種との取り合い	図面に特記なき場合は、工事区分表による。																																																			
○特殊場所(第2編2.1.1~9)	特殊場所は下記による。																																																			
	特殊場所の内容	適用する場所	危険場所の種別	危険物の種類																																																
	○湿気の多い場所																																																			
	○気密性を要する場所																																																			
	○ガス蒸気危険場所																																																			
	○粉じん危険場所																																																			
	○危険物等貯蔵場所																																																			
	○腐食性ガスのある場所																																																			
	○蟻害を受けるおそれのある場所																																																			
	○塩害を受けるおそれのある場所																																																			
特記事項	課 長 課長補佐 係 長 担当																																																			
	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事 特記仕様書(1)																																																			
	縮 尺	N S																																																		
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構																																																			
業務名	独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟機能改善整備設計業務(設備)																																																			
	株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬																																																			
	特-01																																																			

工事区分表

- 印の付いたものを適用する。
- が重複する項目は、それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う。

区 分		建	電	機	土	備	考
項 目	名 称	築	気	械	木		
	コンクリート穴あけ	●					墨出し、補修共
	壁スリーブ入れ	●	●	●			ボイド等
	床スラブ木製型枠入	●					墨出し、補修除く
	床スラブ木製スリーブ入れ	●	●	●			ボイド等
	同上開口部補強	●					
	配管ダクト類の防水	●					
	貫通部補修						
	A L Cパネルの穴あけ、補修	●					
	P C版の穴あけ	●					
	同上補修	●	●	●			モルタル充てん等
	インサート	●					
	インサート	●	●	●			
	天井点検口	●					ボード切込、墨出し共
	軽量鉄骨下地開口部墨出し	●					照明器具等
	軽量鉄骨下地開口部補強	●					空調吹出口
	開口補強を必要としない	●	●	●			ボード切込、墨出し共
	特殊仕上材の天井、壁、床に取付ける器具等の穴あけ加工	●					石、金属パネル等
	壁等重量物の下地補強	●					
	床点検口	●					墨出し共
	防火区画貫通部補修	●	●	●			モルタル充てん等
	機器・配管取付後の壁、床等の補修	●	●	●			
	流し台、ミニキッチン本体、水切	●					水切り板、同穴あけ共
	同上用配管接続				●		
	流し台				●		
	洗面器等取付化粧板	●					
	ルーフトレン	●					
	堅礎	●					第1樹までの配管
	雨水排水管				●		第1樹を含む
	生活排水、実験排水管				●		第1樹までの配管
	大型機械基礎	●					
	同上基礎上鉄骨架台	●					
	機器用アンカーボルト				●		墨出し、型枠入れ共
	一般機器類の基礎						図示による
	屋外自立盤の基礎						図示による
	屋外貯油槽				●		
	共同溝	●					
	建物、共同溝接続トレンチ	●					
	同上接続部止水板						図示による
	各種槽類	●					
	換気扇取付				●		天井扇等
	同上用スイッチ				●		ボックス共
	同上用電源配線				●		
	同上用枠、取付板等	●					
	全熱交換器				●		付属SWは電気工事へ支給
	外壁取付ガラリ	●					遮光ガラリ共
	内壁取付ガラリ	●					
	ガラリへの給排気ダクト接続				●		
	煙感知器連動防火戸	●					
	同上用レリーズ				●		
	同上用煙感知器				●		
	排煙防火ダンパー				●		
	煙感知器連動シャッター				●		
	煙感知器連動防煙垂れ壁				●		
	上記①～③用煙感知器				●		

区 分		建	電	機	土	備	考
項 目	名 称	築	気	械	木		
	道路側溝排水	●					
	制御盤				●		
	同上用電源配線				●		接地共
	屋内消火栓				●		
	屋内消火栓起動リレー				●		
	同上表示灯及び起動装置				●	●	
	自動火災報知器				●		
	連絡送水口				●		
	独立煙突	●					
	同上煙道				●		
	同上雷保護設備				●		
	配管配線用ビット				●		
	盤、配管、ダクト、配線用の二重床開口				●		
	コンクリートシャフト	●					
	点検口						
	天井フック	●					
	機械室、電気室の防音遮音処理	●					
	特殊サイズ鏡	●					
	化粧用洗面器、鏡				●		
	雷保護設備				●		
	保守管理用タラップ、はしご	●					トレンチ、床下部、屋上
	室内テレビ用吊金物	●					プロジェクター吊金物含む
	テレビアンテナ				●		
	同上基礎	●					
	グリストラップ及びガソリトラップ	●			●		
	電動シャッターの配管配線	●					
	同上用電源配線				●		
	自動扉の配管配線	●					
	同上用電源配線				●		
	電気錠操作盤						物品による
	同上配管配線				●		
	電気錠						物品による
	同上配管配線				●		
	中央監視装置本体				●	●	
	同上用電源配線				●		
	同上用信号線				●	●	
	ユニットバス本体	●					
	同上用電源配線				●		
	同上用配管				●	●	
	冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無音室等の内装	●					
	同上用電源配線				●		
	同上用照明・コンセント				●		
	同上用配管				●	●	
	冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無音室等の内装	●					
	同上用電源配線				●		
	同上用照明・コンセント				●		
	同上用配管				●	●	
	芝生、種子吹付け	●					
	法枠、モルタル吹付け	●					
	コンクリート擁壁	●					
	植栽						

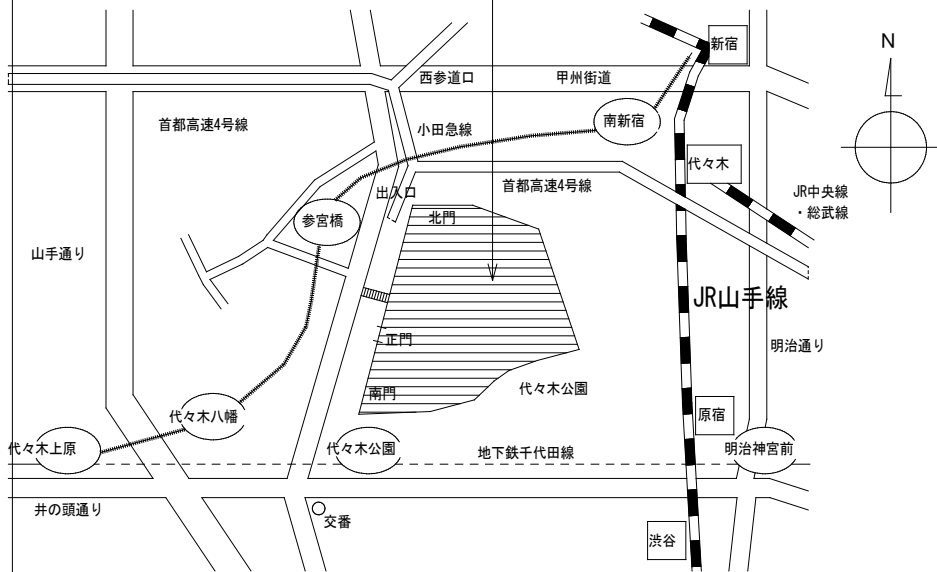
区 分		建	電	機	エレベーター	備	考
項 目	名 称	築	気	械			
昇降機関連	昇降機設備本体					●	
	同上用機械室	●					
	同上用監視盤					●	
	同上換気扇取付					●	
	機械室換気扇取付					●	
	各種信号用制御線					●	
	三方柱周囲の壁仕上					●	
	各階出入口用開口					●	
	昇降路内中間ビーム設置					●	
	ビット内防水					●	
	動力、照明要電源、接地引き込み					●	
	コンセント設置					●	
	インターホン配線					●	
	非常放送用スピーカー					●	EV組込みのみEV
	同上用配線					●	
	監視カメラ					●	EV組込みのみEV
同上用配線					●		
点検用タラップ					●		

区 分		建	電	機	エスカレーター	備	考
項 目	名 称	築	気	械			
エスカレーター設備	搬入口、搬え付け用穴明け、同復旧						
	フレーム受け用枠						
	吊込穴、フック、復旧工事						
	転落防止柵、網、仕切り板						
	三角ガード						
	天井目地、床、回り仕上げ						
	スプリンクラー等						
	防火シャッター						
	床部照明工事						
	下部機械室耐火構造及び防水工事						
	機械室受電盤までの動力線、電灯線、接地線の配管配線						
	点検用電源の機械室までの引き込み配管配線						
シャッター及びエスカレーター電気インターロック用接点の供給及び配管配線工事（必要な場合）							
監視盤との信号用配管配線工事							

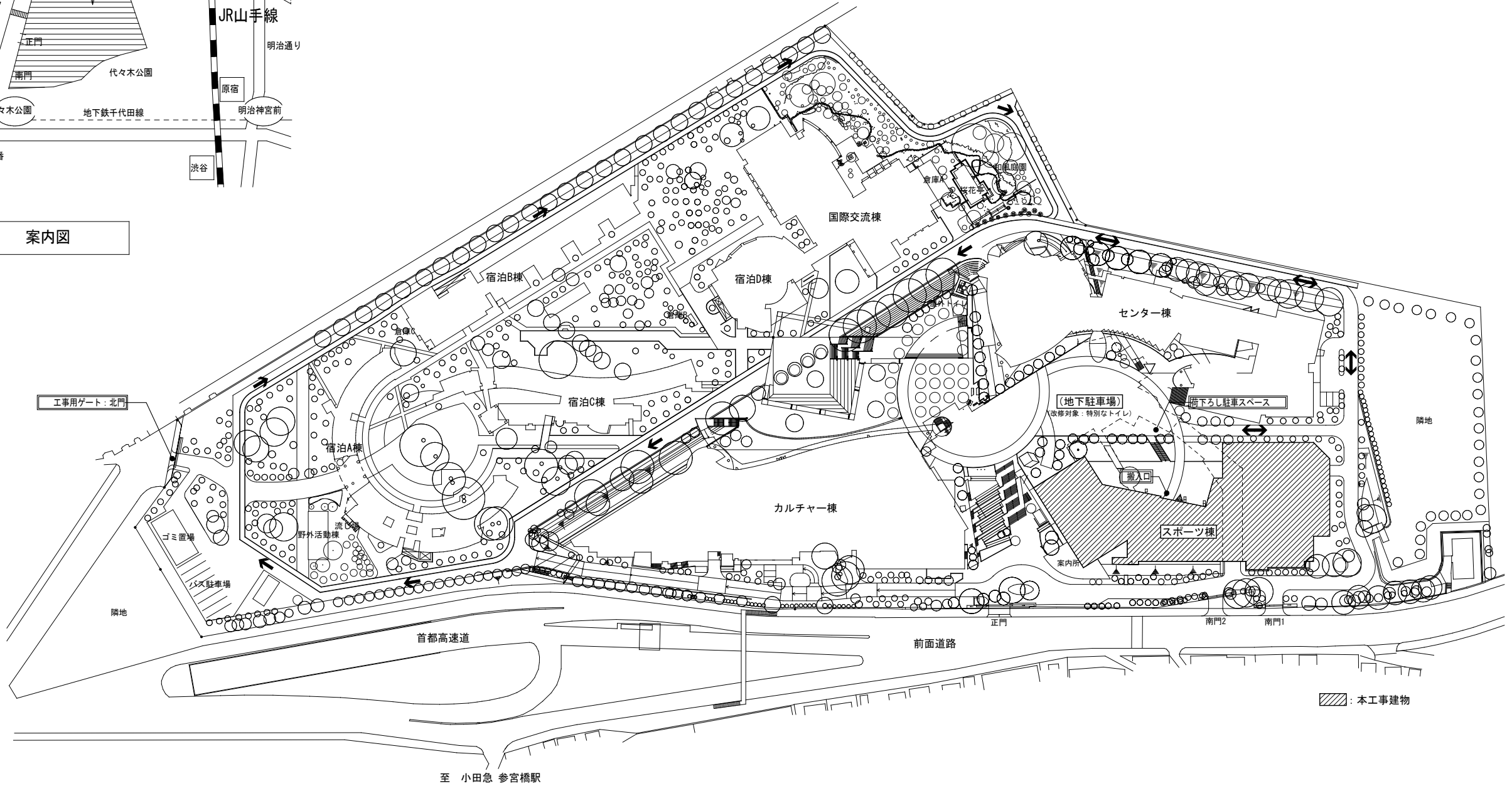
区 分		建	電	機	クレーン	備	考
項 目	名 称	築	気	械			
クレーン設備	走行レール、ストッパー						
	クレーン点検台及びはしご						
	走行用給電装置						
	電気工事（電源盤以降2次側）						

特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事 特記仕様書(2)・工事区分表
					縮尺 N.S
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				特-02
	業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

(工事場所) 国立オリンピック記念青少年総合センター構内
 地名地番: 東京都渋谷区代々木神園町345番1他
 住居表示: 東京都渋谷区代々木神園町3番1号



案内図



国立オリンピック記念青少年総合センター 全体配置図

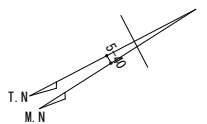
【凡 例】
 [] : 仮設計画内容を示す
 → : 工事車両動線 (一方通行)
 ↔ : 工事車両動線 (対面通行)

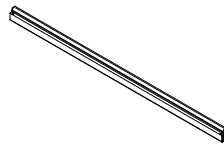
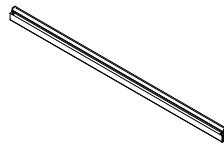
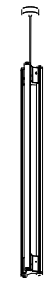




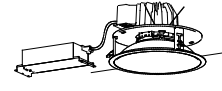
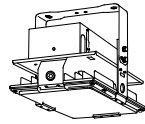
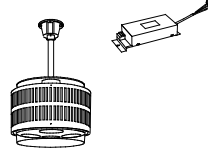
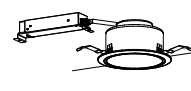
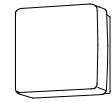
- 【特記事項】
- 工事用ゲートは北門とする。 ※パネルキャスターゲート (W5.4m×H2m) はセンター棟改修工事の施工者が設置する
 - 構内は搬出入の車両のみ入構可とする。(但し、構内有料駐車場は台数制限にて調整可) 当該棟搬入口付近より搬入を計画する。搬入利用時間は早朝~8:30までを基本とする
 - 本工事は2工区順次工事とするため、工事進行に伴い適宜調整を行う他、棟内運用状況、本棟別工事、及び他棟工事の状況より柔軟な対応があることを前提とする

- 【工区分け】
- 1工区を地階とする。 2工区を1階とする。

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事
				配置図・案内図
				縮尺 1/1000
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				E-02
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



建築化照明器具 2台連結		建築化照明器具		コードペンダント		ベースライト	
SP-1	LED36W 4600lm×2	SP-2	LED36W 4600lm	SP-3	LED41.4W 5796lm	SP-4	LED31.9W 5200lm
参考型番: パナソニック NNF26913CLR9 相当品  本体: 亜鉛鋼板 反射板: 銅板 (高反射白色粉体塗装) カバー: ポリカーボネート (乳白)		参考型番: パナソニック NNF26913CLR9 相当品  本体: 亜鉛鋼板 反射板: 銅板 (高反射白色粉体塗装) カバー: ポリカーボネート (乳白)		参考型番: 遠藤照明 ERP7105W 相当品  LEDユニット ナチュラルホワイト(4000) アルミ(白) 乳白マットポリカーボネート 調光不可 径: φ119 高さ: 1175 吊高: 1500~2800 (mm)		参考型番: パナソニック 直付XLX450KENPLE9 相当品  本体: 銅板 (白色粉体塗装) ライトカバー (カバー): ポリカーボネート (乳白)	
ダウンシーリングライト		ベースライト + 反射笠アダプタ		ブラケットライト		ダウンライト + 特注リニューアルプレート350φ	
SP-5	LED5.0W 480lm	SP-6	LED20.6W 3200lm	SP-7	LED8.9W 130lm	SP-8	LED111.3W 12120lm
参考型番: パナソニック LGB58100 +LLD2000NCE1 相当品  プラスチック (ホワイト)		参考型番: パナソニック 直付XLX430NENPLA9 +FSK41020 相当品  本体: 銅板 (白色粉体塗装) ライトカバー (カバー): ポリカーボネート (乳白) 片反射板: 亜鉛鋼板 (高反射白色粉体塗装)		参考型番: パナソニック LGB80581LB1 相当品  カバー: アクリル (乳白) アルミダイカスト (ホワイトレザータン仕上)		参考型番: パナソニック XND9988SWKLR9 相当品  反射板 (上部): アルミ (銀色鏡面仕上) 反射板 (下部): アルミ (銀色鏡面仕上) 枠: 銅板 (ホワイトつや消し仕上)、φ300	
高天井用照明器具		高天井用照明器具		ダウンライト		防水ブラケットライト	
SP-9	LED112W 21300lm	SP-10	LED169W 21000lm	SP-11	LED15W 1890lm	SP-12	LED5.4W
参考型番: パナソニック NYM20122ZLZ9 相当品  本体: アルミ、パネル: ポリカーボネート (透明) アーム: 亜鉛鋼板 落下防止ワイヤー付		参考型番: パナソニック NNY20512X+NNY28115LE9 +NNY28474 相当品  本体: アルミ (シルバメタリック) 落下防止ワイヤー付、連結端子台内蔵		参考型番: パナソニック XND2067SLLJ9 相当品  反射板 (上部): プラスチック (ホワイト) 反射板 (下部): アルミ (銀色鏡面仕上) 枠: 銅板 (ホワイトつや消し仕上)、埋込穴φ150		参考型番: パナソニック NNN11111+LDA5LDGE17SZ4 相当品  本体: アルミダイカスト (クールホワイトつや消し仕上) グロブ: テフロン覆付ガラス	

器具リスト

番号	階数	部屋名称	取替前	取替後	数量
1	B1	第5体育館	HP-HRS2-250M	SP-8	8
2	B1	第5体育館	HRS2-250M	SP-8	22
3	B1	第5体育館	FRS11-D271	LRS1-13	2
4	B1	第4体育館	HP-HRS2-250M	SP-8	12
5	B1	第4体育館	HRS2-250M	SP-8	18
6	B1	第4体育館	ダウンライト JD130W×1	SP-11	40
7	B1	第4体育館	FRS11-D271	LRS1-13	2
8	B1	下足箱コーナー1	FRS11-D271	LRS1-13	3
9	B1	下足箱コーナー2	FRS11-D271	LRS1-13	1
10	B1	下足箱コーナー3	FRS11-D271	LRS1-13	2
11	B1	ホール2	HRS2-250M	SP-8	6
12	B1	ホール2	半埋込ブラケットライト FDL27W×1	SP-7	4
13	B1	自販機コーナー1	FRS11-D271	LRS1-13	3
14	B1	男子便所-1	SP-FSS1-322	LSS1-4-65-LN	2
15	B1	男子便所-1	FRS11-D271	LRS1-13	3
16	B1	女子便所-1	SP-FSS1-321	SP-2	2
17	B1	女子便所-1	FRS11-D271	LRS1-13	4
18	B1	男子洗面所-1	SP-FSS1-322	LSS1-4-65-LN	2
19	B1	男子洗面所-1	FRS11-D271	LRS1-13	1
20	B1	女子洗面所-1	SP-FSS1-321	SP-2	3
21	B1	女子洗面所-1	FRS11-D271	LRS1-13	1
22	B1	バリアフリートイレ-1	SP-FSS1-322	LSS1-4-65-LN	1
23	B1	前室1	FRS11-D271	LRS1-13	2
24	B1	第3体育館	FRS11-D271	LRS1-13	4
25	B1	EVホール2	半埋込ブラケットライト FDL27W×1	SP-7	1
26	B1	階段-2前	FRS11-D271	LRS1-13	1
27	1	第2体育館	FRS11-D271	LRS1-13	3
28	1	第1体育館	FRS11-D271	LRS1-13	3
29	1	第3体育館(上部)	吊下げ高天井灯 光補償装置7J	SP-10	45
30	1	第3体育館(上部)	吊下げ高天井灯 光補償装置ナシ	SP-10	15
31	1	第3体育館(上部)	ISS1-40	SP-5	24
32	1	ホール-1・廊下-1	FRS11-D271	LRS1-13	5
33	1	ホール-1・廊下-1	半埋込ブラケットライト FDL27W×1	SP-7	16
34	1	自販機コーナー2	FRS11-D271	LRS1-13	3
35	1	下足箱コーナー-4・前室	半埋込ブラケットライト FDL27W×1	SP-7	6
36	1	廊下-3	FRS11-D271	LRS1-13	2
37	1	男子洗面所-2	SP-FSS1-322	LSS1-4-65-LN	3
38	1	男子洗面所-2	FRS11-D271	LRS1-13	4
39	1	男子便所-2	SP-FSS1-322	LSS1-4-65-LN	2
40	1	男子便所-2	FRS11-D271	LRS1-13	3
41	1	女子便所・洗面所-2・SK	SP-FSS1-321	SP-2	9
42	1	女子便所・洗面所-2・SK	FRS11-D271	LRS1-13	11
43	1	バリアフリートイレ-2	SP-FSS1-322	LSS1-4-65-LN	1
44	1	第1研修室	FSS1-1101	SP-1	8
45	1	第1研修室	FRS11-D271	LRS1-13	3
46	1	講師室1A	FSS1-1101	SP-1	3
47	1	講師室1A	FRS11-D271	LRS1-13	1
48	1	前室2	FRS11-D271	LRS1-13	4
49	1	シャワ-室・洗面所-1	SP-FSS1-321	SP-2	4
50	1	シャワ-室・洗面所-1	FRS11-D271	LRS1-13	2
51	1	シャワ-室・洗面所-1	防水ブラケットライト FDL18W×1	SP-12	15
52	1	廊下-2	FRS11-D271	LRS1-13	6
53	1	EVホール	SP-FSS1-321	SP-2	7
54	1	EVホール	半埋込ブラケットライト FDL27W×1	SP-7	1
55	1	ホール2	蛍光灯シャンデリア FL1101	SP-3	1
56	1	ホール2	HRS2-250M	SP-8	2
57	2	第1・2体育館上部	FBS3-321	SP-6	10
58	2	ホール(上部)	HRS2-250M	SP-8	22
59	2	廊下-1上部	HRS2-250M	SP-8	2
60	3	第1・2体育館上部	電動昇降式高天井灯 光補償装置7J	SP-9	72
61	3	第1・2体育館上部	電動昇降式高天井灯 光補償装置ナシ	SP-9	40
62	3	器具庫-5	SP-FSR1-321	SP-4	3

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当
独立行政法人 国立青少年教育振興機構			
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)			

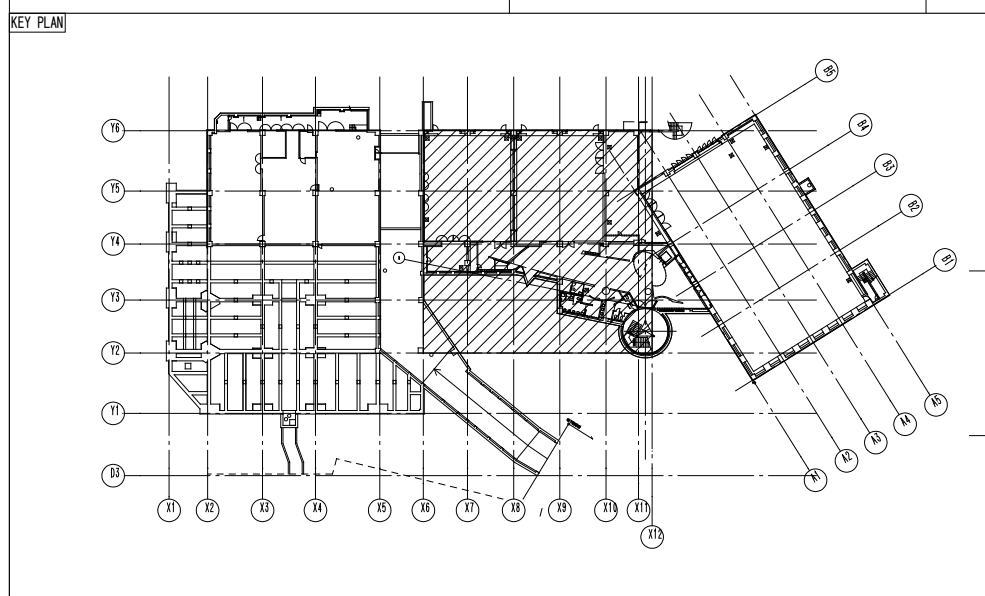
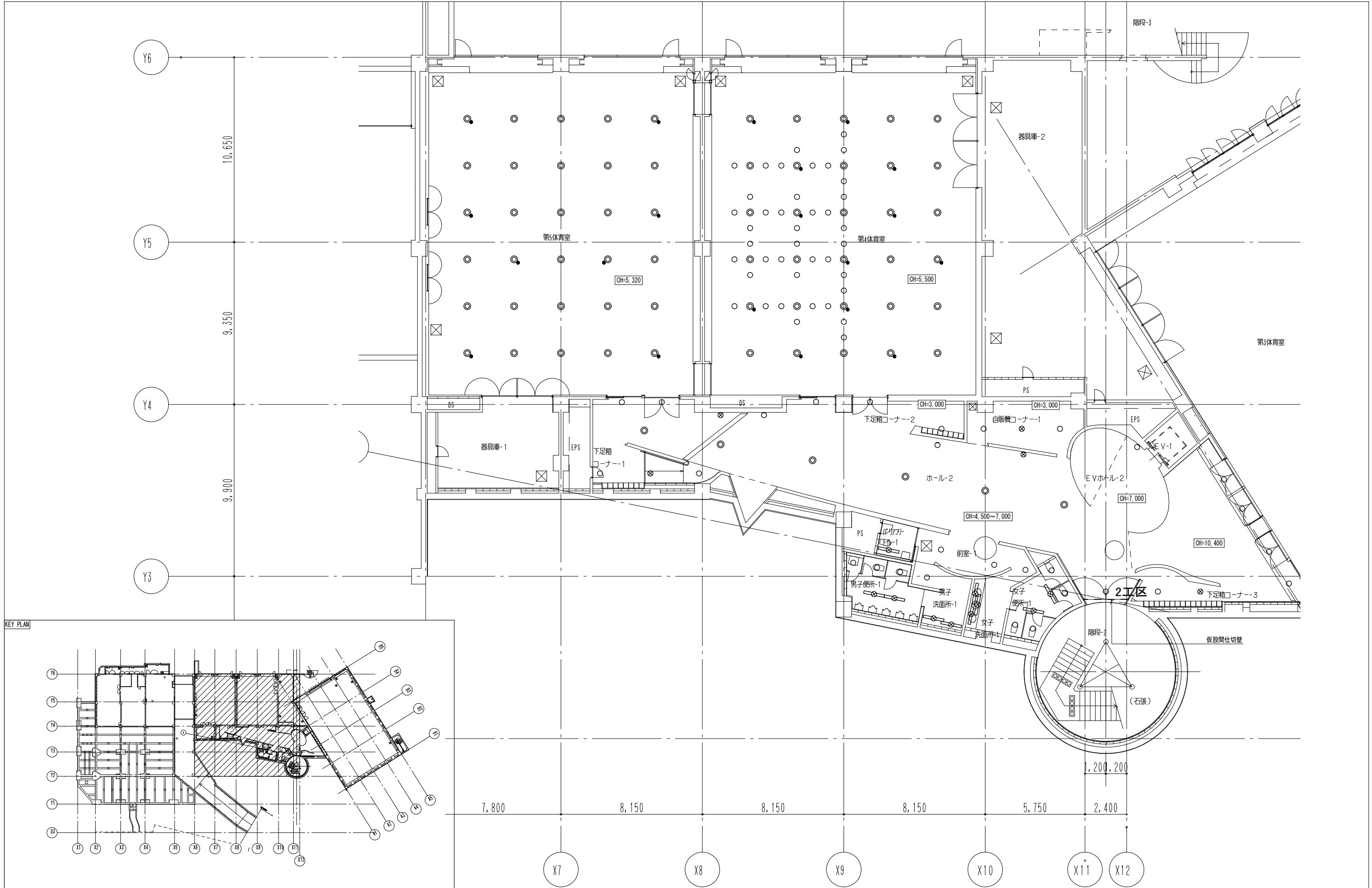
国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事

電灯設備(電灯分岐) 照明器具要因・器具リスト

縮尺 N.S

株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

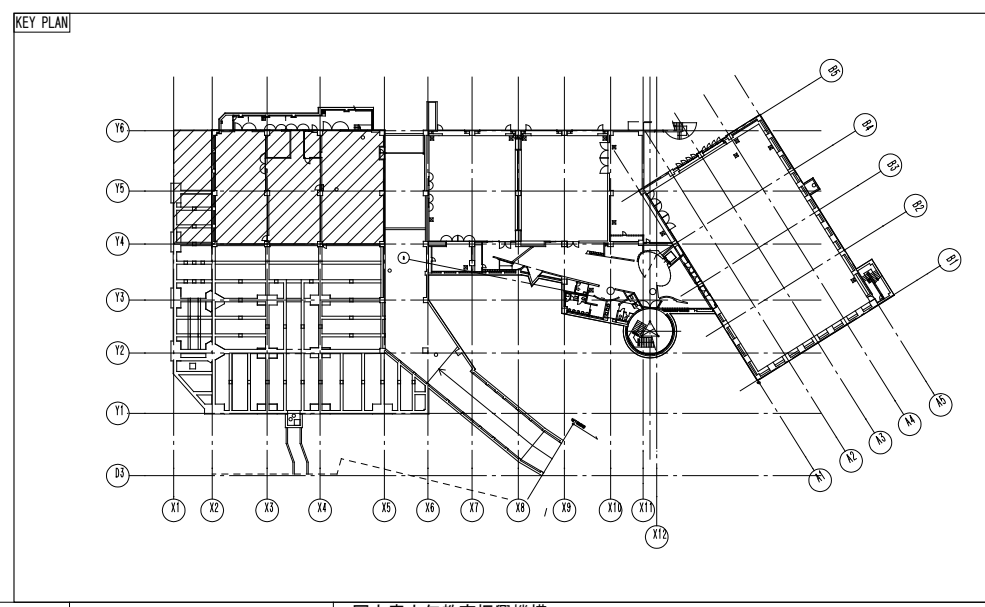
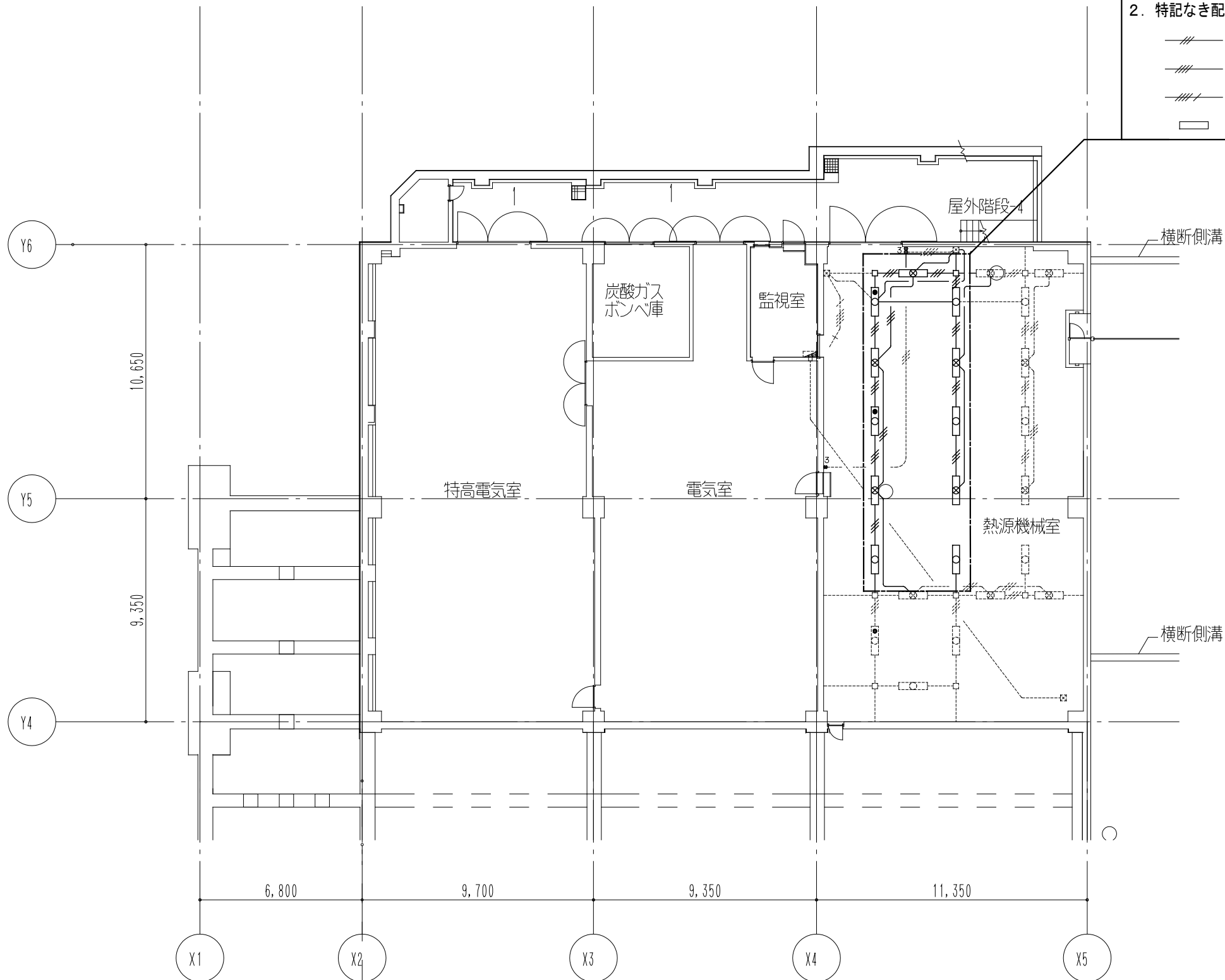
E-03



特記事項

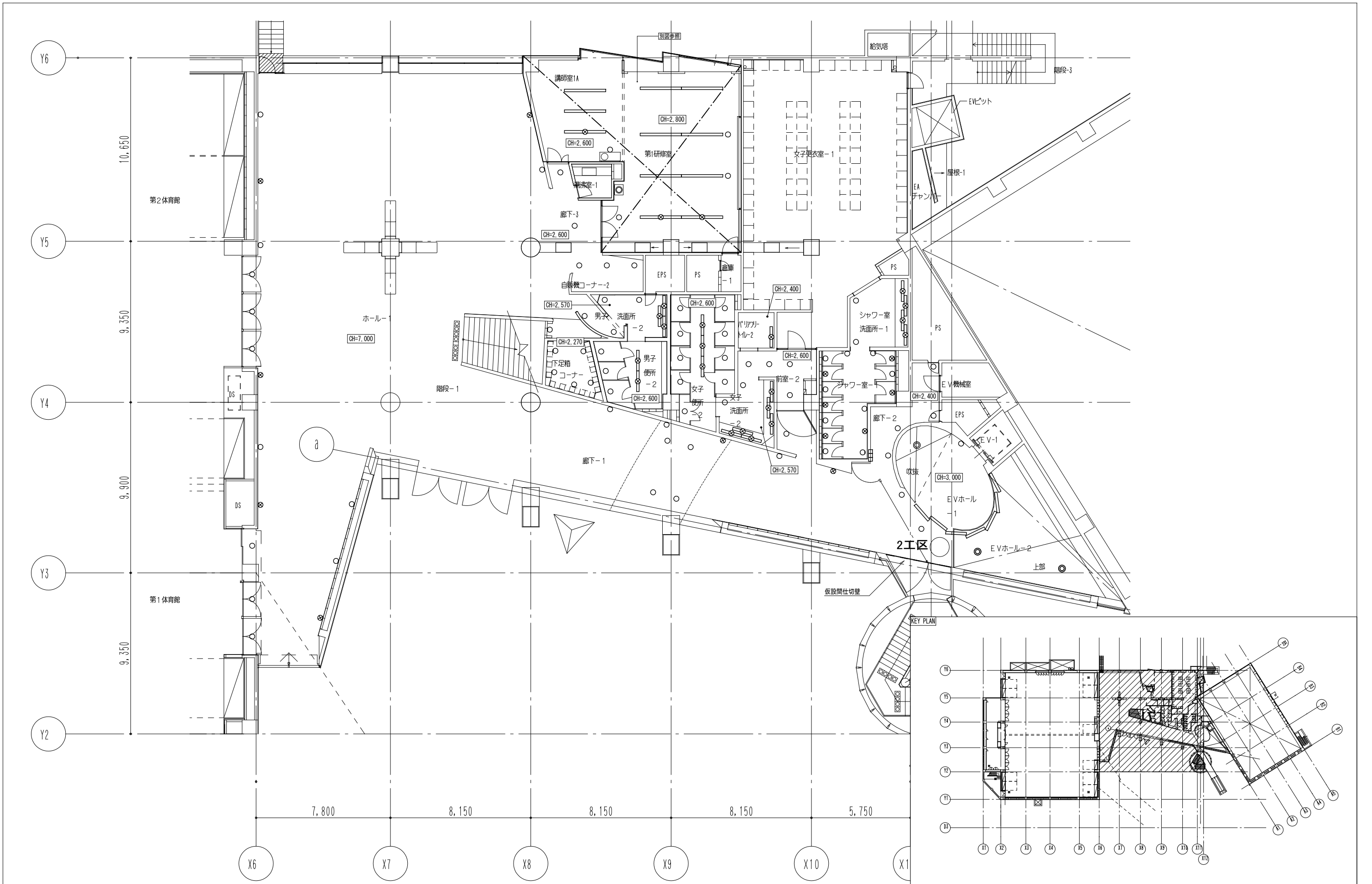
課長	課長補佐	係長	担当
独立行政法人 国立青少年教育振興機構			
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)			
国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事 電灯設備(電灯分枝) B1階配線図(1) 縮尺 1/100			
			E-04
株式会社 総合設備計画		一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬	

1. 熱源機械室の機器更新に伴い、実線の照明器具、レースウェイ及び配線を撤去再取付とする。
細破線は既設を示す。
2. 特記なき配管配線及び照明器具仕様は下記による。
- 1V 2.0×3 (レースウェイ40×30)
 - 1V 2.0×4 (レースウェイ40×30)
 - 1V 2.0×5 (レースウェイ40×30)
 - 照明器具 反射笠 FHF32W×2



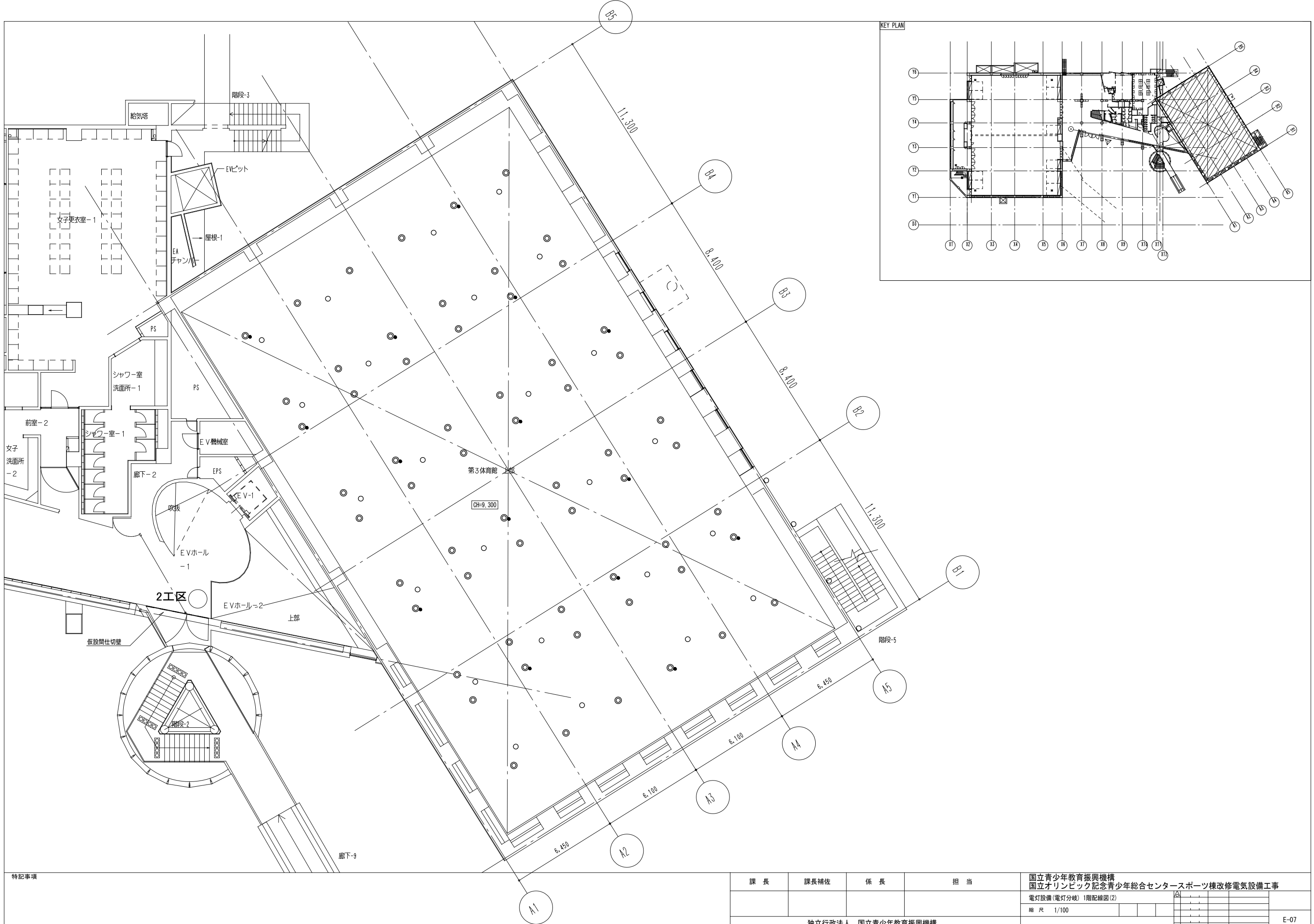
特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事
				電灯設備(電灯分枝) B1階配線図(2)
				縮尺 1/100
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				E-05
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



特記事項

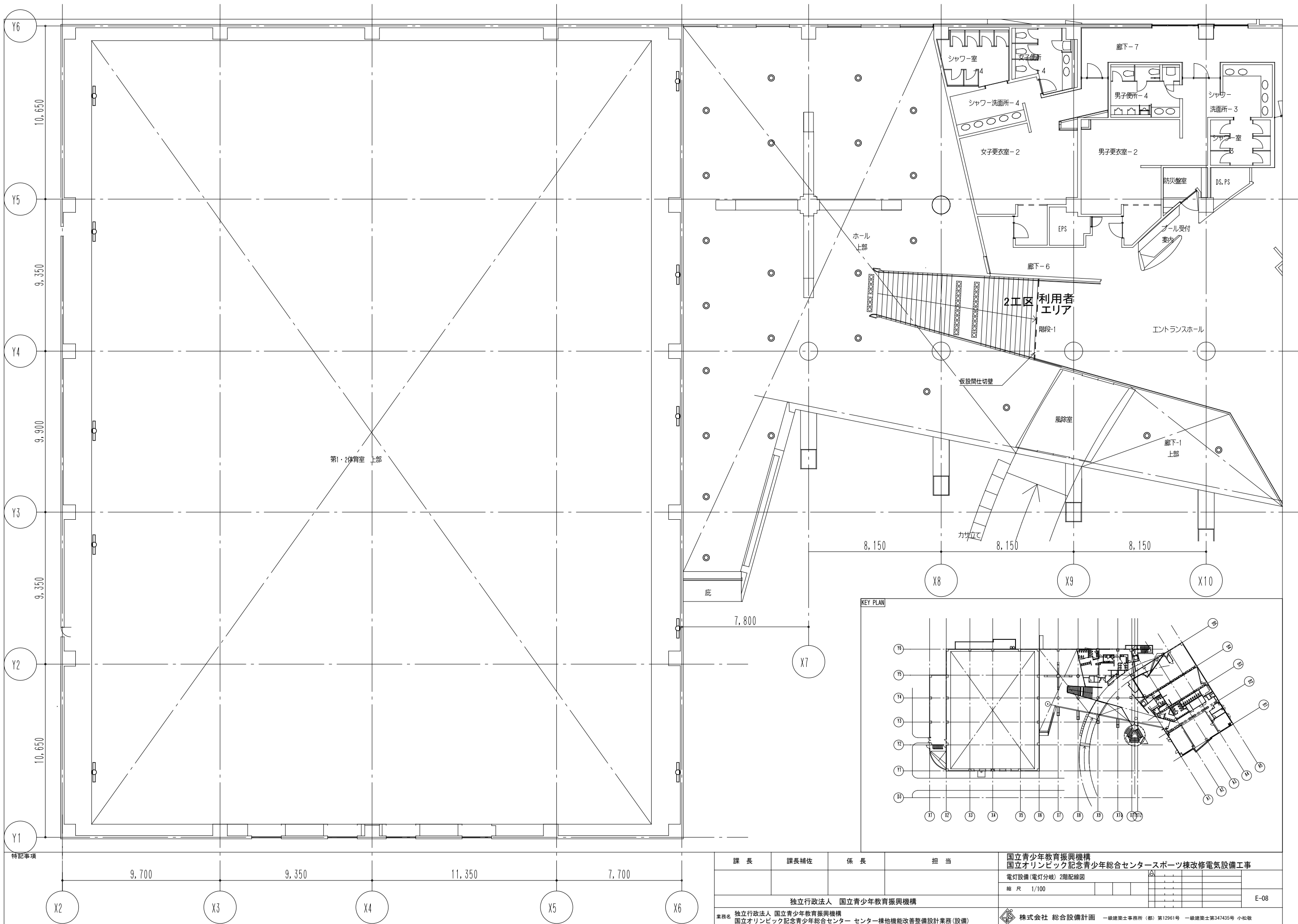
課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事
				電灯設備(電灯分枝)1階配線図(1)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				縮尺 1/100
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟他機能改善整備設計業務(設備)				E-06
株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬				



特記事項

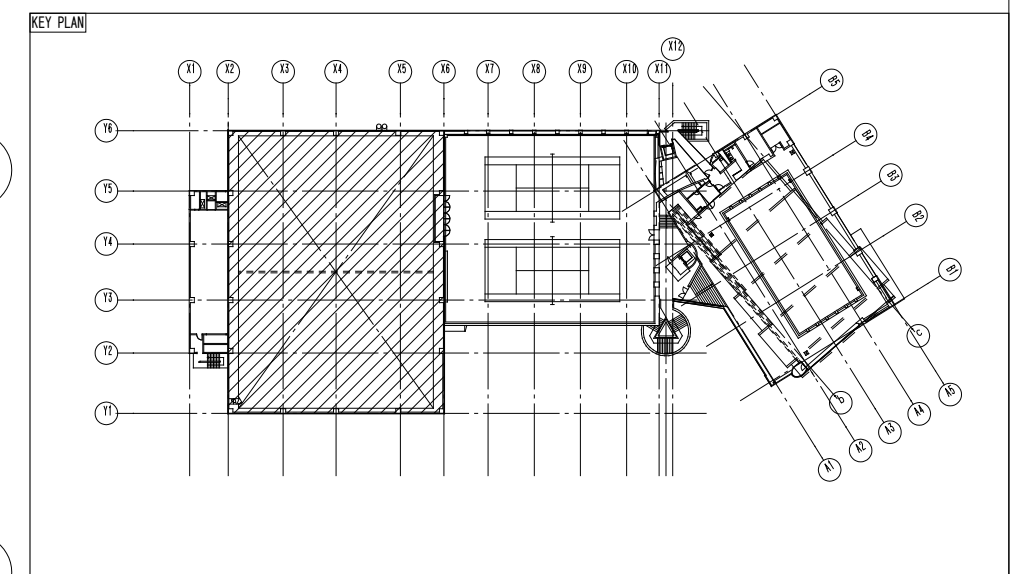
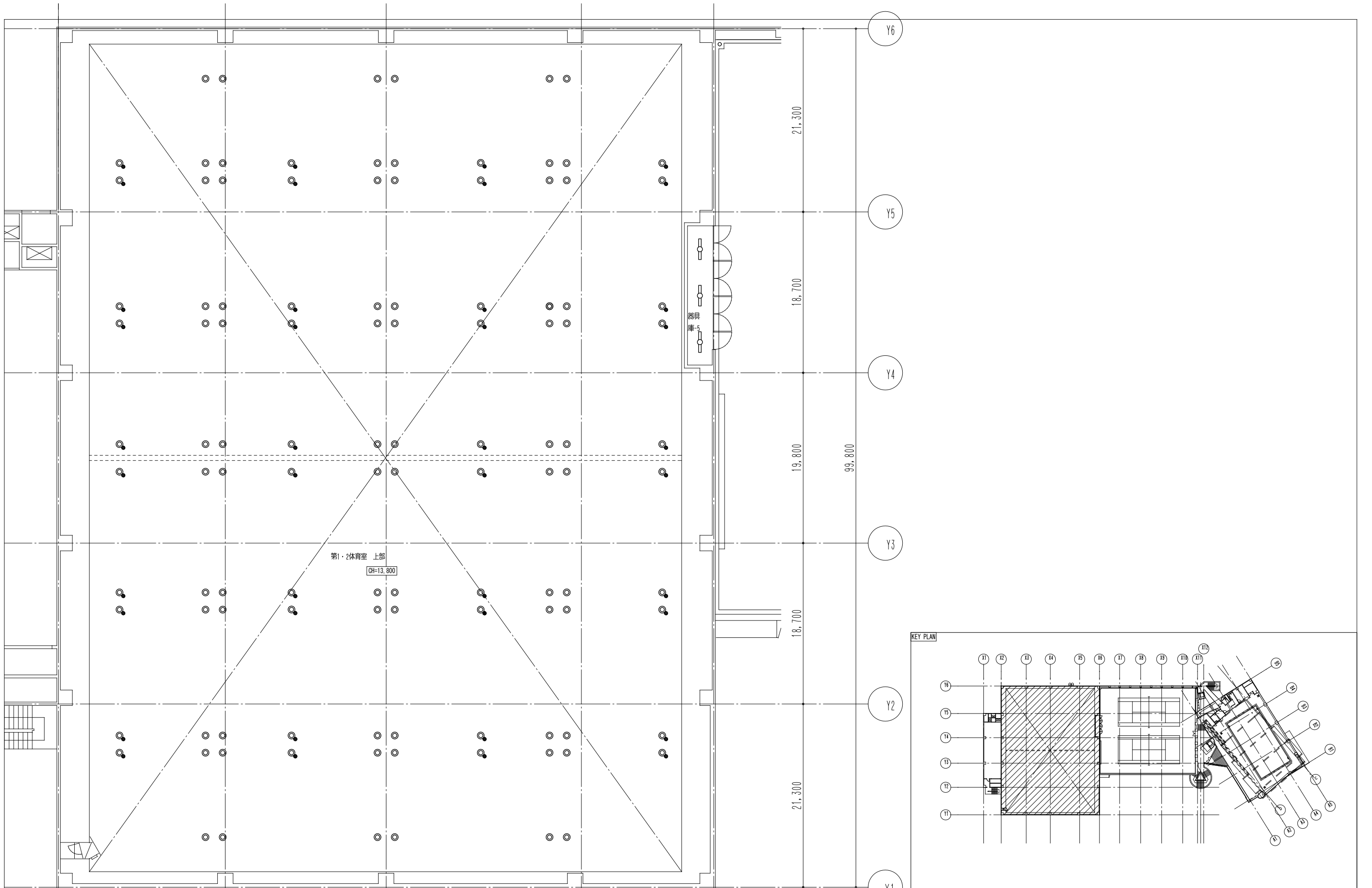
課長	課長補佐	係長	担当

国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事	
電灯設備(電灯分岐) 1階配線図(2)	
縮尺 1/100	
E-07	



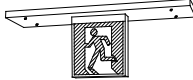


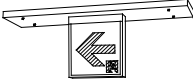
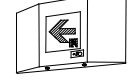
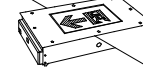
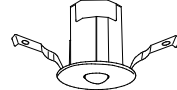
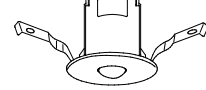

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事
				電灯設備(電灯分岐)2階配線図
				縮尺 1/100
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				E-08
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



特記事項	19,400	18,700	22,700	15,400
X2	X3	X4	X5	X6

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事
				電灯設備(電灯分岐) 3階配線図
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				縮尺 1/100
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟他機能改善整備設計業務(設備)				E-09
株式会社 総合設備計画				一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

SP-A	LED C級 避難口誘導灯片面型	SP-B	LED C級 通路誘導灯片面型	SP-H	LED C級 防湿型防雨型避難口誘導灯 片面壁付型 WP				
 <p>C級 片面型 天井直付型 一般型 (20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付</p> <p>パナソニック FA10312LE1+FK10300+FK21727C 相当品</p>		 <p>C級 片面型 壁直付型 一般型 (20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付</p> <p>パナソニック FA10312LE1+FK10300+FK11747C 相当品</p>		 <p>C級 片面型 壁直付型 (防雨型) 一般型 (20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付</p> <p>パナソニック FW11337OLE1 相当品</p>					
SP-E	LED C級 通路誘導灯両面型	SP-F	LED C級 通路誘導灯片面型	SP-G	LED C級 床埋込型通路誘導灯 (リニューアル対応型) 片面型				
 <p>C級 両面型 天井直付型 一般型 (20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付</p> <p>パナソニック FA10322LE1+FK10316+FK10317+FK21727C 相当品</p>		 <p>C級 片面型 壁埋込型 一般型 (20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付</p> <p>パナソニック FA10303GLE1+FK10316+FK11724C 相当品</p>		 <p>C級 片面型 床埋込型 一般型 (20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付</p> <p>パナソニック FA10383LE1+FK10096 相当品</p>					
SP-a	LED 非常灯電源別置形 (中天井用) + リニューアルプレート	SP-b	LED 非常灯電源別置形 (中~特高天井用) + リニューアルプレート	SP-d	LED 非常灯電源別置形 (中~特高天井用)				
 <p>φ100、低・中天井用 (～6m) LED内蔵、非常時：非常用LED点灯/常時消灯 電圧：AC/DC100V 非常灯評定番号：LCLE-001 レンズ：ガラス 枠：アルミダイキャスト (ホワイトつや消し仕上げ)、本体：鋼板</p> <p>パナソニック NNF884605+FK80001 相当品</p>		 <p>φ100高照度タイプ中・特高天井用 (6～16m) LED内蔵、非常時：非常用LED点灯/常時消灯 電圧：AC/DC100V 非常灯評定番号：LCLE-002 レンズ：ガラス、枠：アルミダイキャスト (ホワイトつや消し仕上げ)、本体：鋼板</p> <p>パナソニック NNF887609+FK80001 相当品</p>		 <p>直付型高照度タイプ中・特高天井用 (6～16m) LED内蔵、非常時：非常用LED点灯/常時消灯 電圧：AC/DC100V 非常灯評定番号：LCLE-002 レンズ：ガラス、カバー：アルミダイキャスト (ホワイトつや消し仕上げ)、本体：アルミ板</p> <p>パナソニック NNF887009 相当品</p>					

※矢印等の向きは参考とする。

特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事
					電灯設備(防災照明) 照明器具姿図
					縮尺 N.S
					E-10
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				
	業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

非常照明凡例

取替前				取替後		
記号	容量	形状	形式	備考	形式	備考
●A	1L 50W	埋込型	SP-107A	電池別置型	SP-a	
●C	1L 40W	埋込型	KO-1RS5-40	"	KO-LRS11-D10	
●E	1L 80W	埋込型	SP-107B	"	SP-b	
●F	1L 250W	直付型	SP-105	"	SP-d	

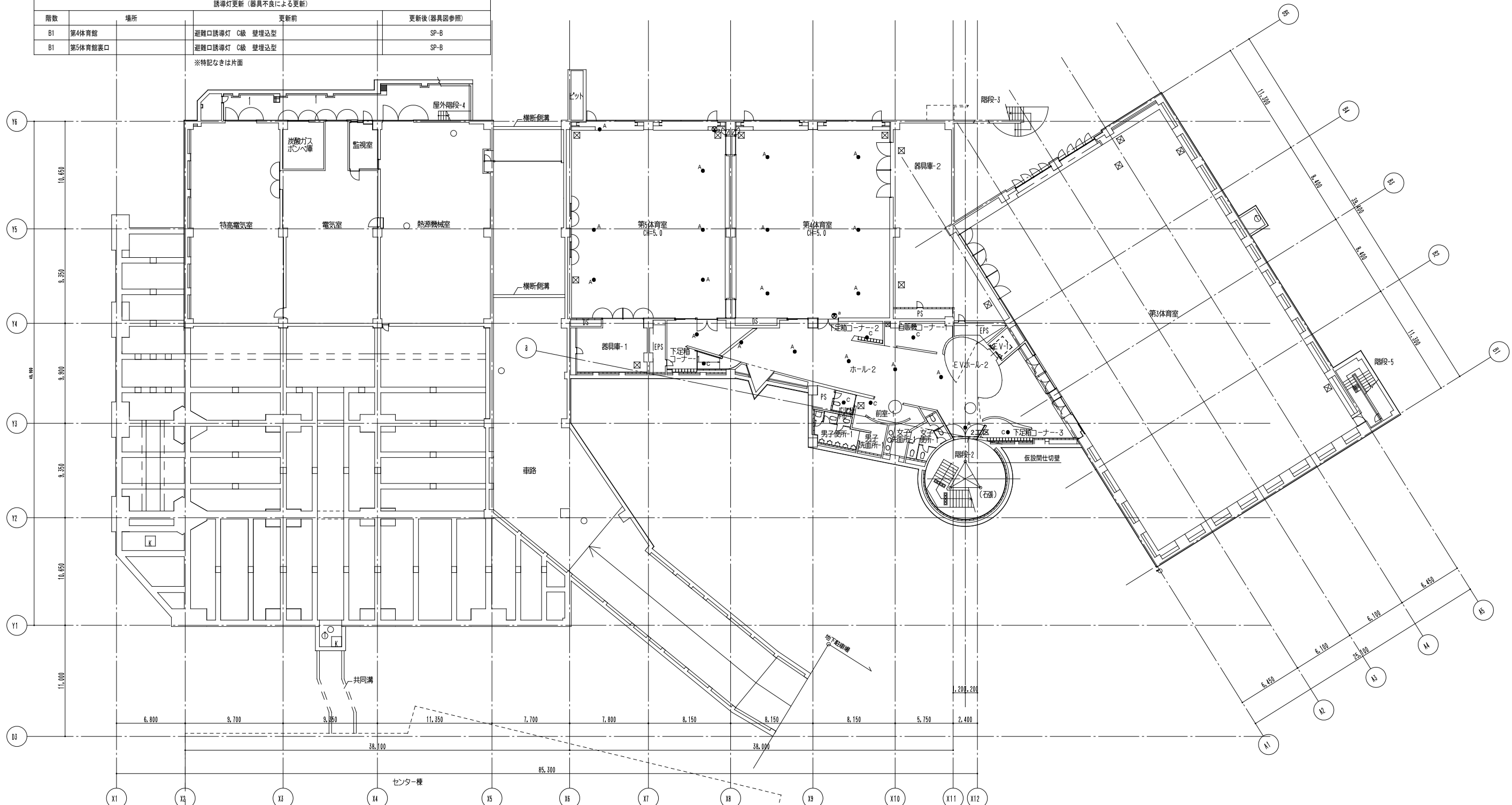
誘導灯凡例

記号	容量	形状	形式	備考
⊙a	FL 10W x 1	避難口誘導灯 (壁付型、埋込型)	SH1-FBF10-101	電池内蔵型
⊙b	FL 10W x 1	" (壁付型)	SH1-FBC10-101	"
⊙c	FL 10W x 1	" (天井埋込)	SH1-FRF10P-101	"
⊙d	FL 10W x 1	廊下通路誘導灯 (壁付型)	ST1-FBC10-101	"
⊙e	FL 10W x 1	" (床埋込)	SP-14	"
⊙f	FL 10W x 1	避難口誘導灯 (直付)	SH1-FbF10-101-MPA	"

今回工事内容

1. 図中の非常照明と誘導灯の更新を行う。

誘導灯更新 (器具不良による更新)			
階数	場所	更新前	更新後 (器具参照)
B1	第4体育館	避難口誘導灯 C級 壁埋込型	SP-B
B1	第5体育館裏口	避難口誘導灯 C級 壁埋込型 ※特記なきは片面	SP-B

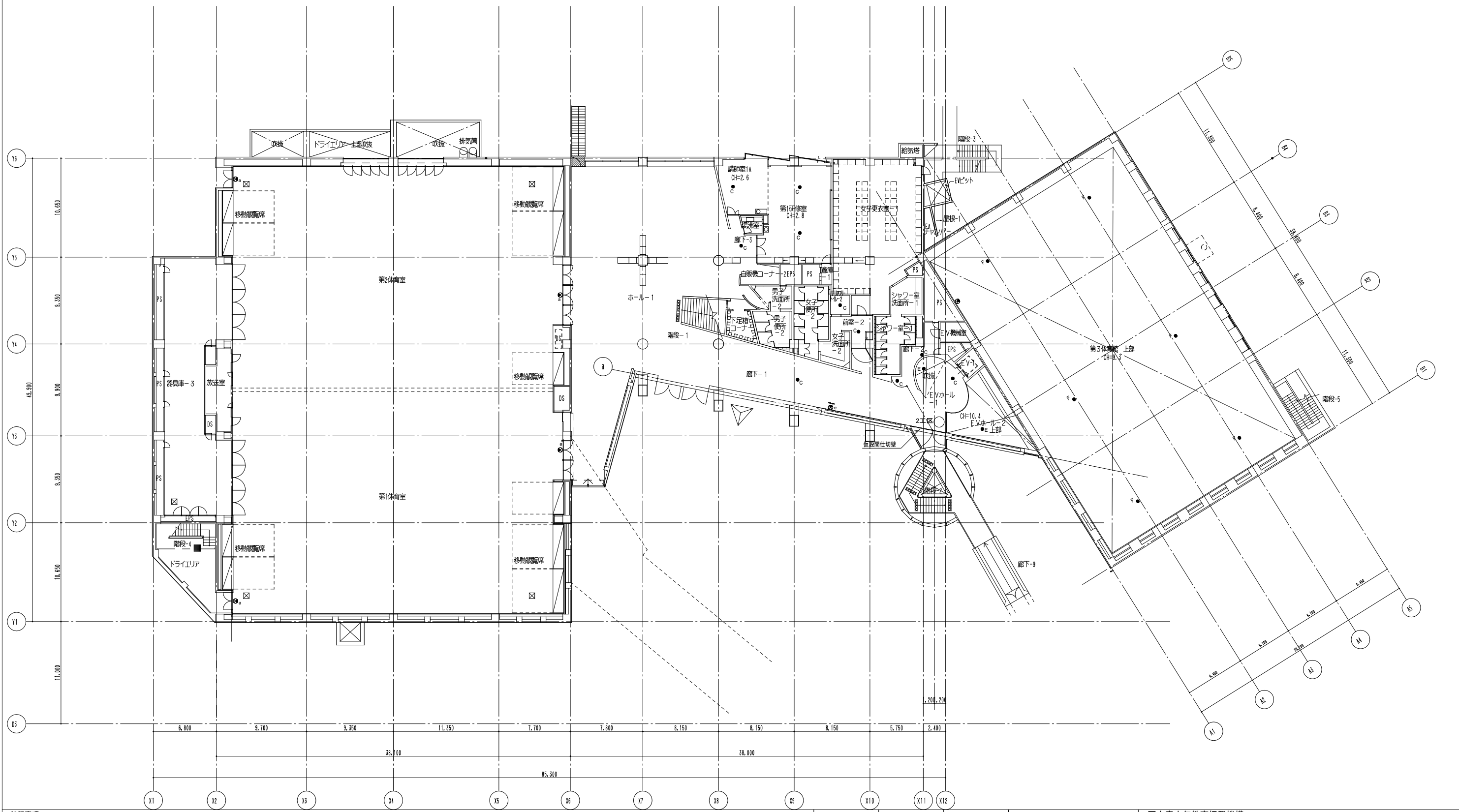


特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事
				電灯設備 (防災照明) B1階配線図
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				縮尺 1/200
独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟他機能改善整備設計業務 (設備)				E-11
株式会社 総合設備計画				一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敏

誘導灯更新 (器具不良による更新)			
階数	場所	更新前	更新後 (器具図参照)
1	女子更衣室前	通路誘導灯 C級 埋込型 両矢印	SP-E
1	第3体育館キャットウォーク出口	避難口誘導灯 C級 壁付型	SP-B
1	中体育館内	避難口誘導灯 C級 壁埋込	SP-B×4

※特記なきは片面

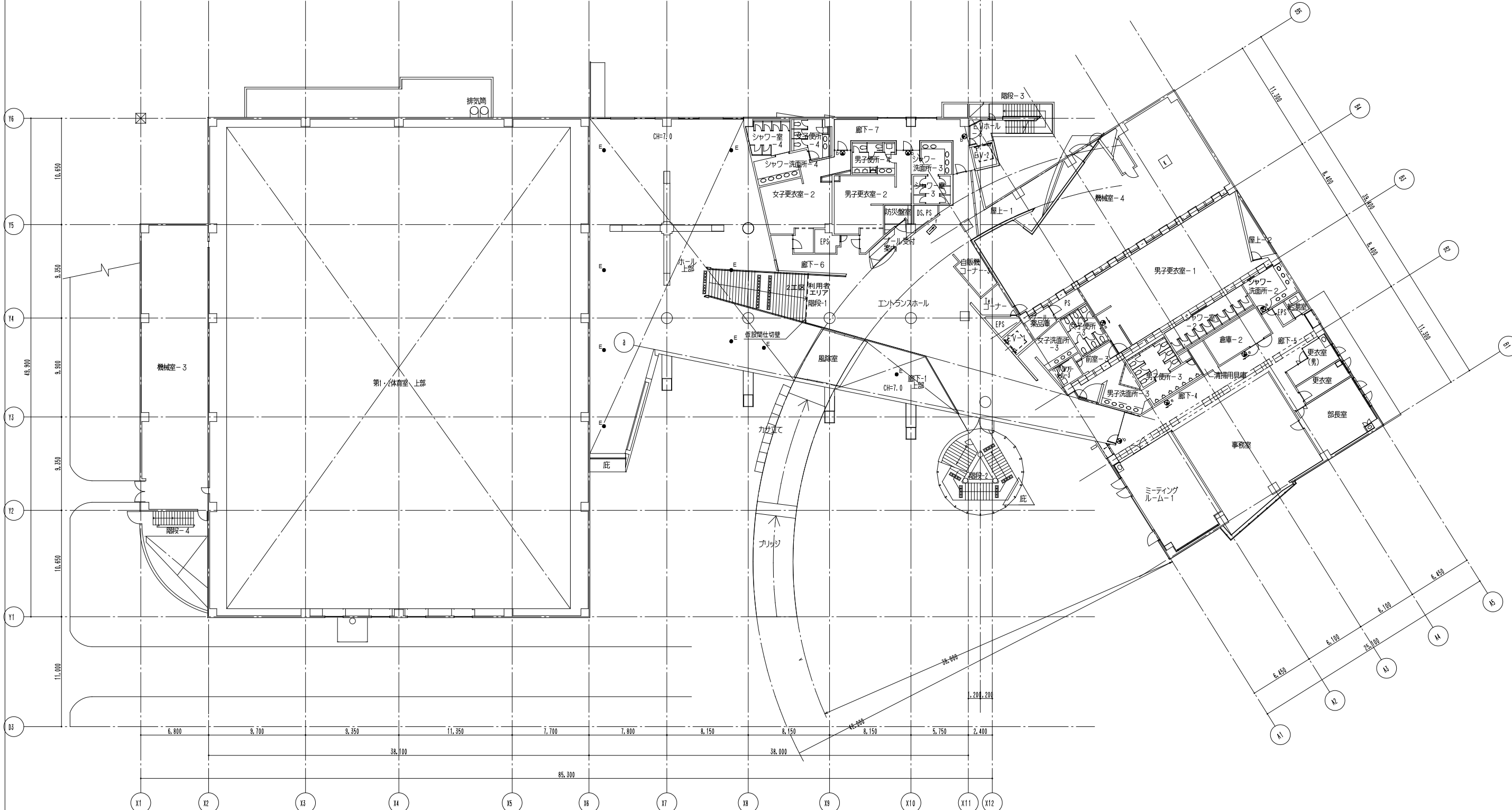


特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事
				電灯設備 (防災照明) 1階配線図
				縮尺 1/200
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				E-12
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟他機能改善整備設計業務 (設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敦

誘導灯更新 (器具不良による更新)			
階数	場所	更新前	更新後 (器具図参照)
2	スポーツ棟フロント横	通路誘導灯 C級 床埋込型 右矢印	SP-G
2	プール側E L Vホール	避難口誘導灯 C級 天井埋込型	SP-A
2	プール男子更衣室内	避難口誘導灯 C級 天井埋込型	SP-A
2	プール男子更衣室表	通路誘導灯 C級 埋込型 左矢印	SP-F
2	子供夢基金部入口	避難口誘導灯 C級 天井埋込型	SP-A
2	子供夢基金部内	通路誘導灯 C級 埋込型 左矢印	SP-F
2	子供夢基金部内	通路誘導灯 C級 埋込型 左矢印	SP-F
2	男子更衣室入口	避難口誘導灯 C級 埋込型	SP-B
2	女子更衣室	避難口誘導灯 C級 天井埋込型	SP-A

※特記なきは片面



特記事項

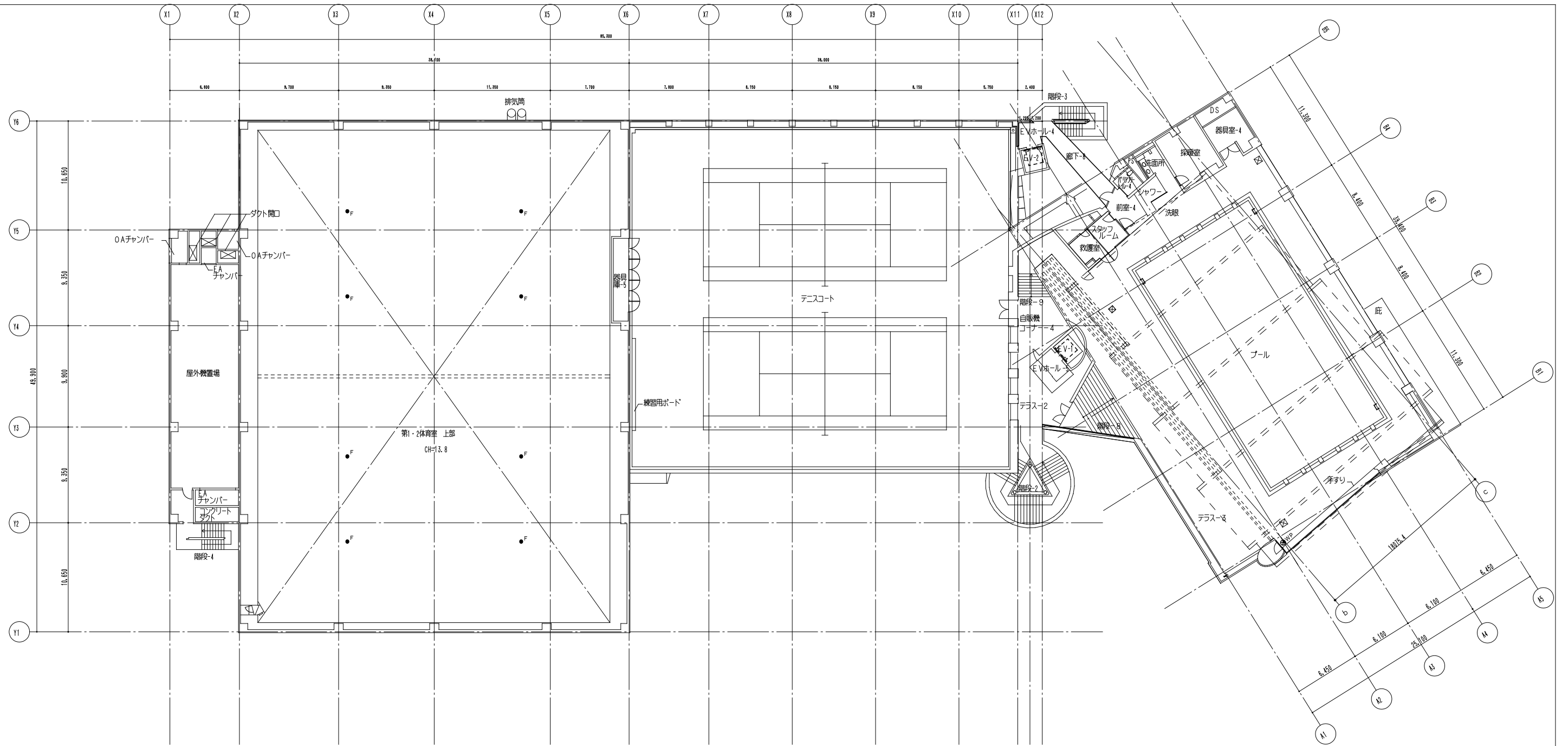
課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事
----	------	----	----	---

電灯設備 (防災照明) 2階配線図				
縮尺 1/200				

独立行政法人 国立青少年教育振興機構

業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟機能改善整備設計業務 (設備)

株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

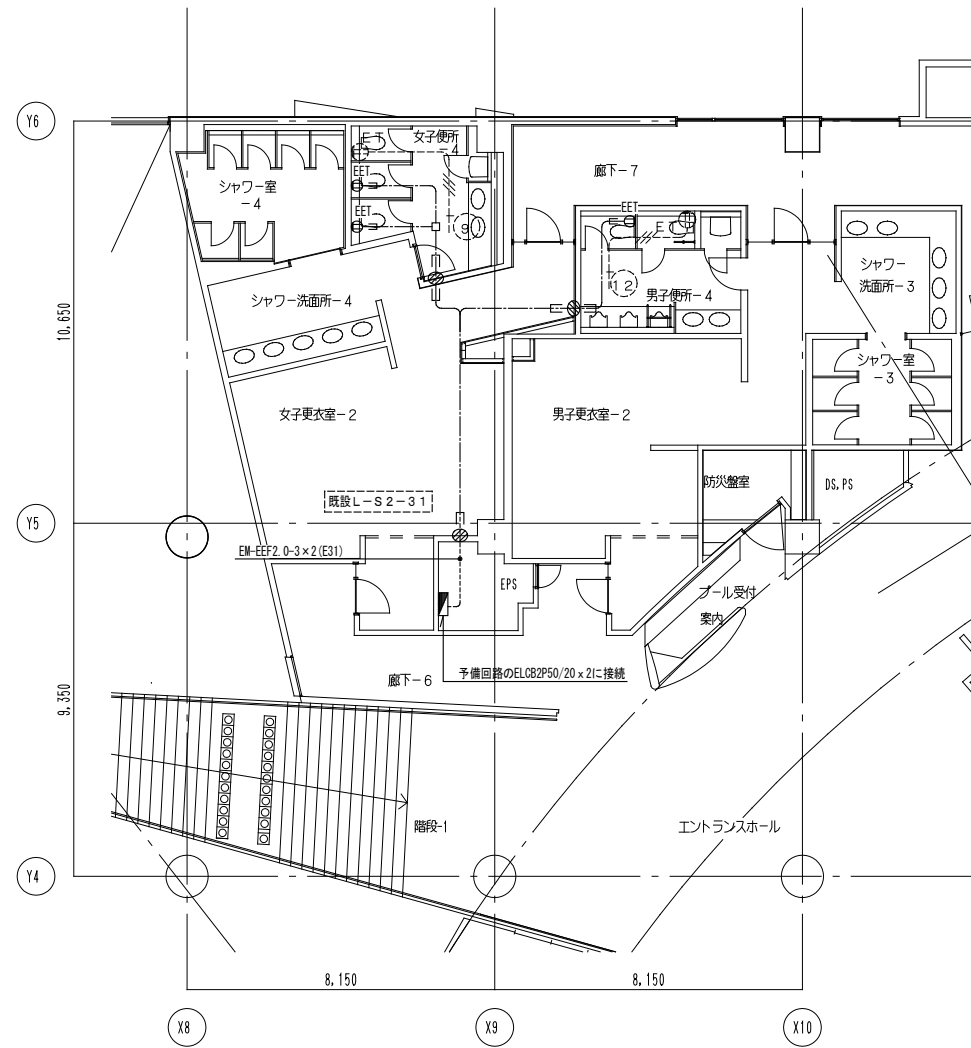


誘導灯更新 (器具不良による更新)			
階数	場所	更新前	更新後 (器具図参照)
3	プール内非常口	避難口誘導灯 C級 壁付	SP-H

※特記なきは片面

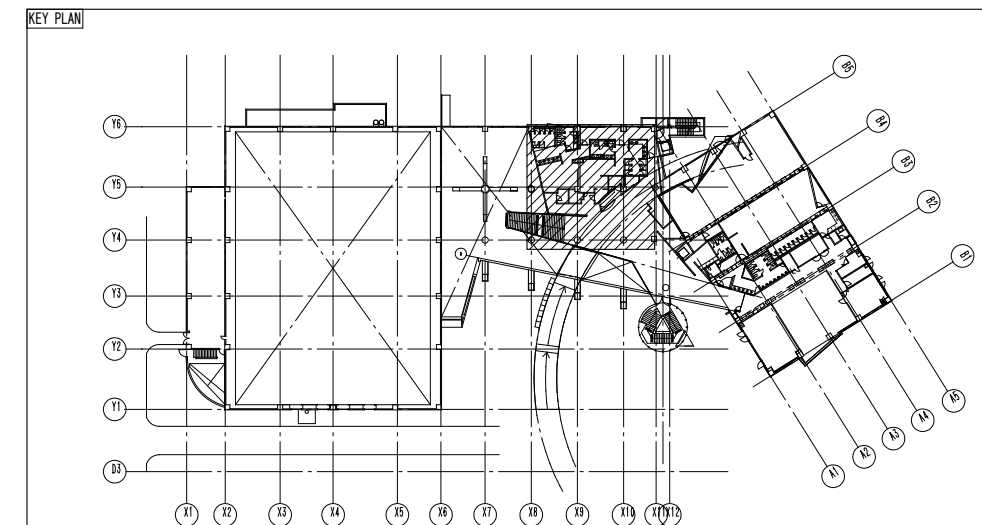
特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事
				電灯設備 (防災照明) 3階配線図
				縮尺 1/200
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				E-14
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟他機能改善整備設計業務 (設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



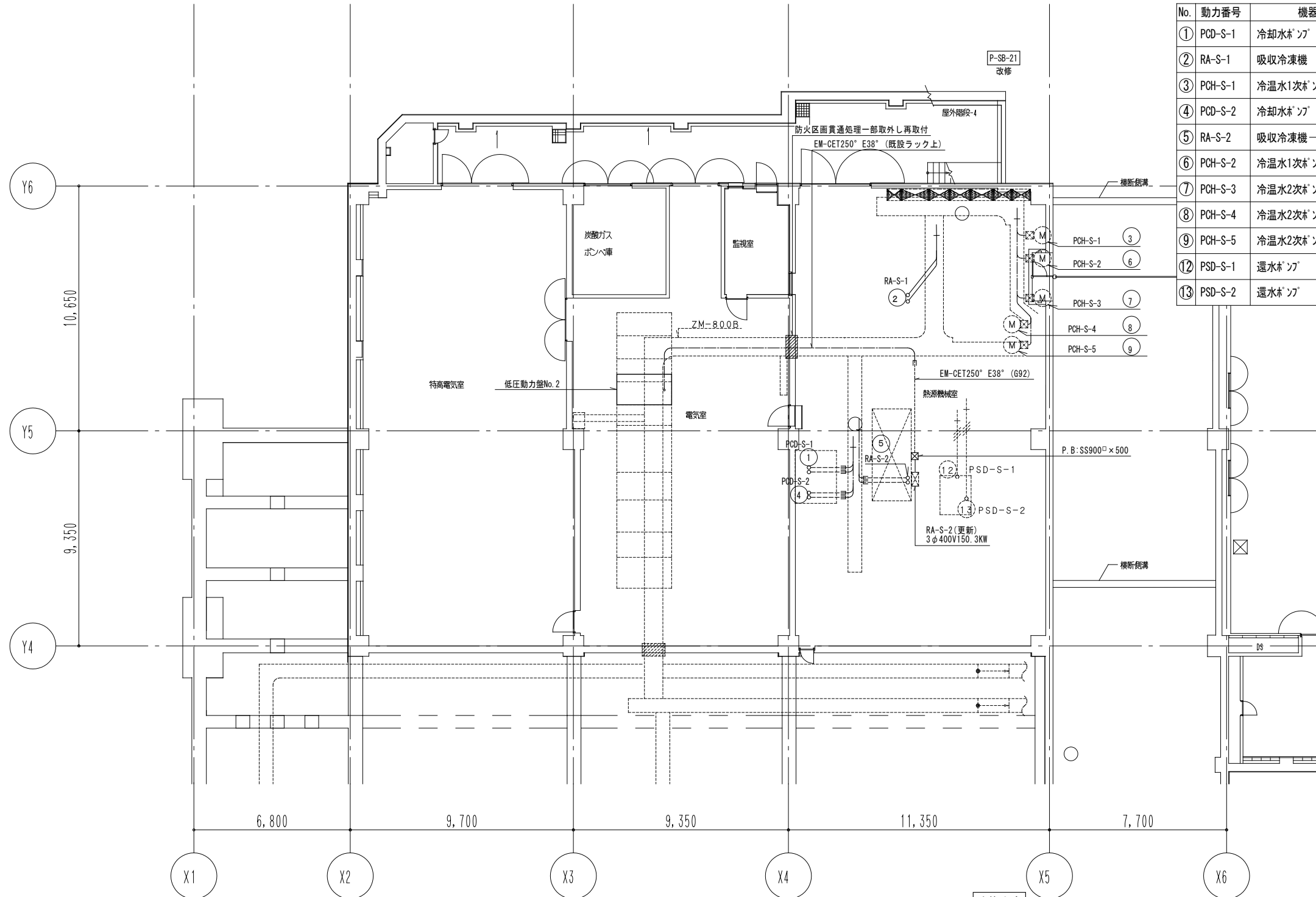
凡 例			
記 号	名 称	仕 様	備 考
■	分電盤	既設	
⊙EET	壁コンセント	2P15A×1 接地極・接地端子付	
●	壁貫通部		既設壁貫通補修
---	露出配管配線		
---	天井こぼし配線		

注 記	
1.	特記なき配線は下記による。 EET EM-EF2 0-3C 保護管メタルモールA型
2.	図中、細線は既設を示す。



特記事項

課 長	課長補佐	係 長	担 当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事 電灯設備(コンセント分岐)2階配線図 縮 尺 1/100
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				E-15
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

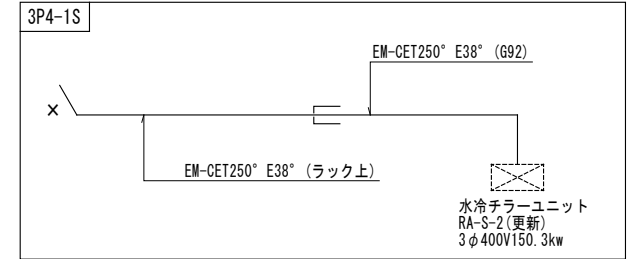


動力配線リスト

P-SB-21

No.	動力番号	機器名称	相数	電圧 (V)	容量 (KW)	配線サイズ	備考
①	PCD-S-1	冷却水ポンプ	3	200	30	CVT38E8 CVT38	(E75) E22°
②	RA-S-1	吸収冷凍機	3	200	13.2 → 6.6kVA	CVT22E8 CVW2-10C	(E51) インターロック用
③	PCH-S-1	冷温水1次ポンプ	3	200	11	CV 8-3CE8 CV 8-3C	(E51) OK
④	PCD-S-2	冷却水ポンプ	3	200	30	CVT38E8 CVT38	(E75) E22°
⑤	RA-S-2	吸収冷凍機	3	200	13.2	CVT22E8 CVW2-10C	(E51) インターロック用 撤去
⑥	PCH-S-2	冷温水1次ポンプ	3	200	11	CV 8-3CE8 CV 8-3C	(E51) OK
⑦	PCH-S-3	冷温水2次ポンプ	3	200	18.5	CVT14E8 CVT14	(E63) E14°
⑧	PCH-S-4	冷温水2次ポンプ	3	200	18.5	CVT14E8 CVT14	(E63) E14°
⑨	PCH-S-5	冷温水2次ポンプ	3	200	18.5	CVT14E8 CVT14	(E63) E14°
⑫	PSD-S-1	還水ポンプ	3	200	2.2	2.0×3E2.0	(PF22) OK
⑬	PSD-S-2	還水ポンプ	3	200	2.2	2.0×3E2.0	(PF22) OK

幹線リスト



改修内容

1. 水冷式チラーユニット増により電気室内変圧器盤を増設し、電源を供給する
低圧動力盤No. 2からチラーユニットへの電源線を布設する
接地線は既設ラック上の接地母線 (EC) より分岐すること
2. 冷温水ポンプ、空調機更新に伴い電動機容量の変更や同容量更新となる場合でもポンプ/ファン仕様となるため、制御盤の回路を改修する (詳細は制御盤図参照)
3. 容量変更 (増) となる場合は既設配線撤去の上、矢印先の配線を新設する
4. 電動機容量により接地線のサイズを動力配線リスト備考欄のサイズに変更 (撤去・新設) すること
必要に応じ端子台も配線サイズに合わせて更新すること (備考欄 "OK" は既設のままとする)
5. 動力配線リストの機器は全て更新されるため、既設配線の取外し再取付は本工事とする

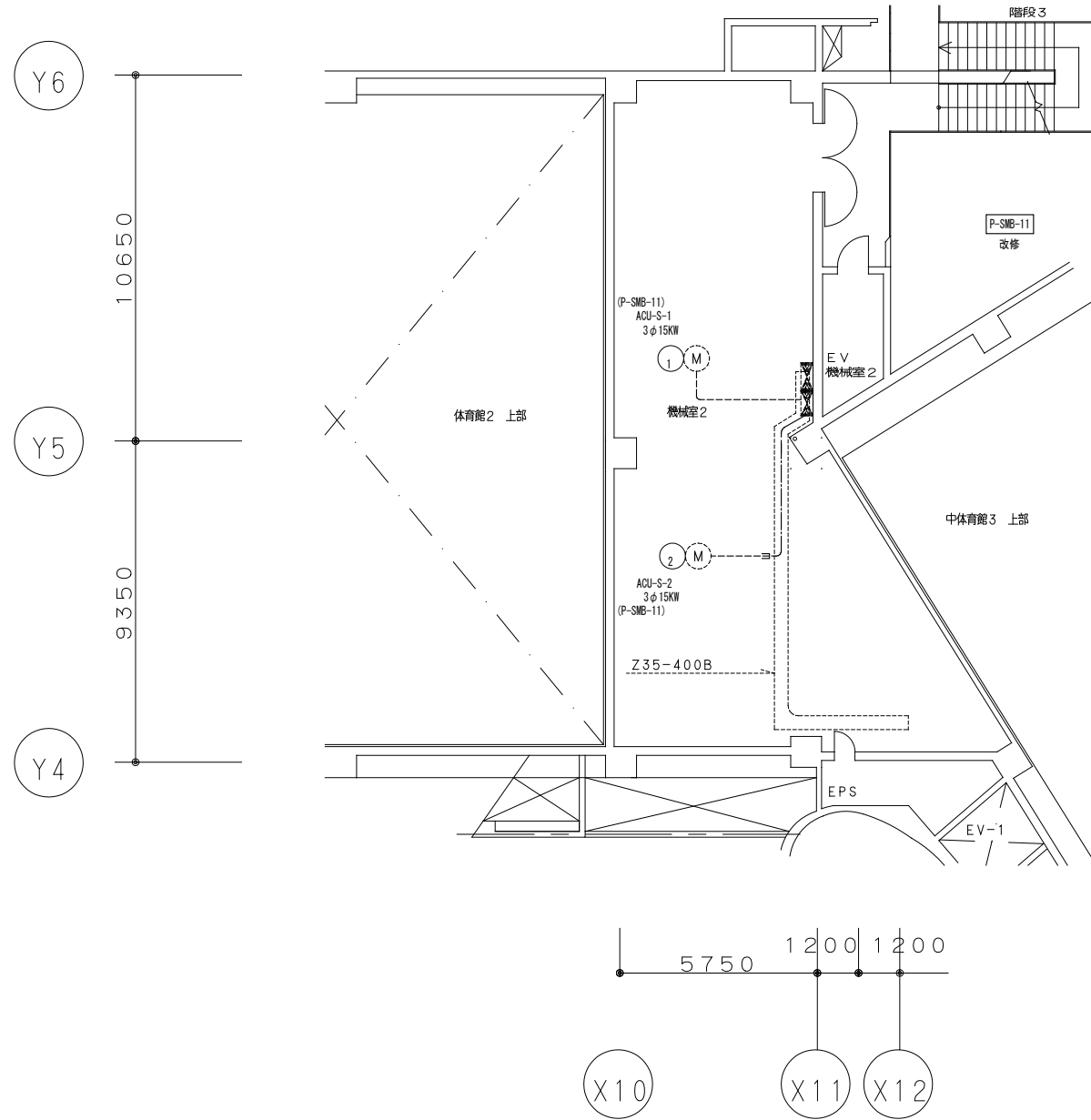
特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事
				動力設備 (動力幹線・動力分岐) B1階配線図
				縮尺 1/100
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				E-16
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務 (設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

動力配線リスト

P-SMB-11

No.	動力番号	機器名称	相数	電圧(V)	容量(KW)	配線サイズ	備考
①	ACU-S-1	空調和機(小体育館1)	3	200	15 → 7.5	CV14-3C×2E5.5(E51) → EM-CE5.5° -3CE8°(E51)	
②	ACU-S-2	空調和機(小体育館2)	3	200	15 → 7.5	CV14-3C×2E5.5(E51) → EM-CE5.5° -3CE8°(E51)	



特記事項

課長	課長補佐	係長	担当
独立行政法人 国立青少年教育振興機構			
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)			
国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事 動力設備(動力幹線・動力分岐) 中B1階配線図 縮尺 1/100 E-17 株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬			

動力配線リスト

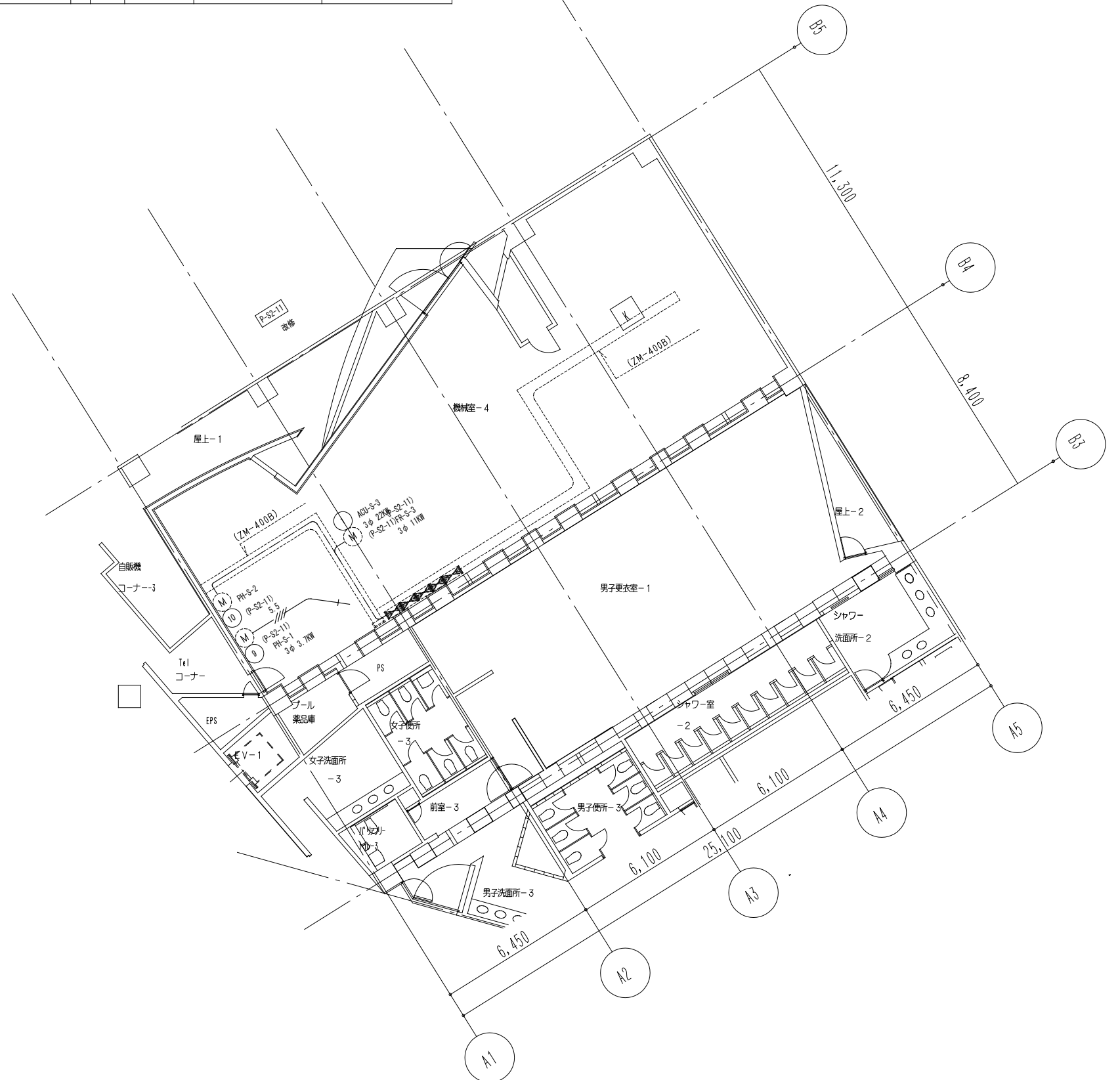
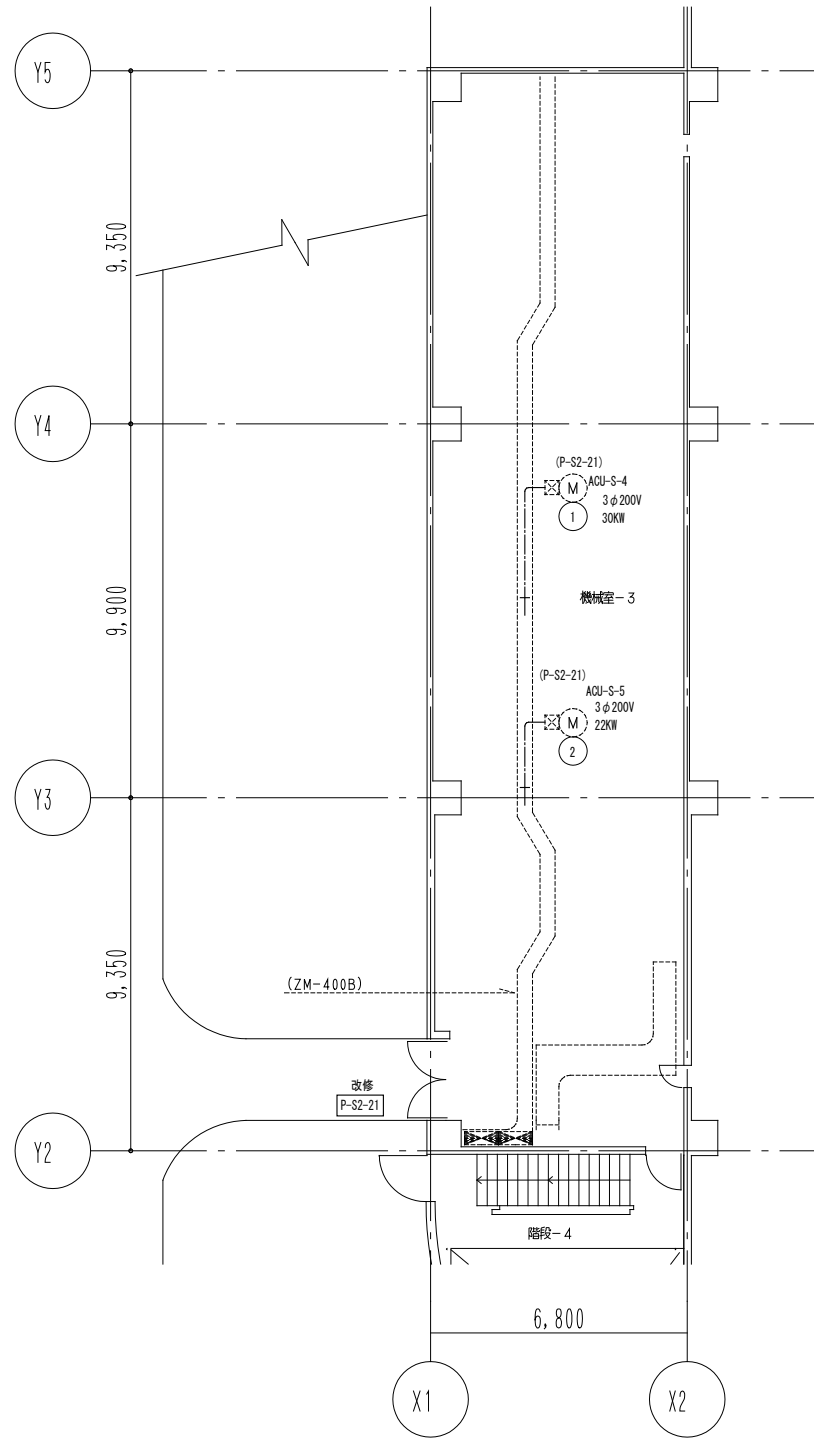
P-S2-21

No.	動力番号	機器名称	相数	電圧(V)	容量(KW)	配線サイズ	備考
①	ACU-S-4	空調機(中体育館1)	3	200	30 → 18.5	CVT38×2 E8 (E63)	E14°
②	ACU-S-5	空調機(中体育館2)	3	200	22 → 18.5	CVT38×2 E8 (E63)	E14°

動力配線リスト

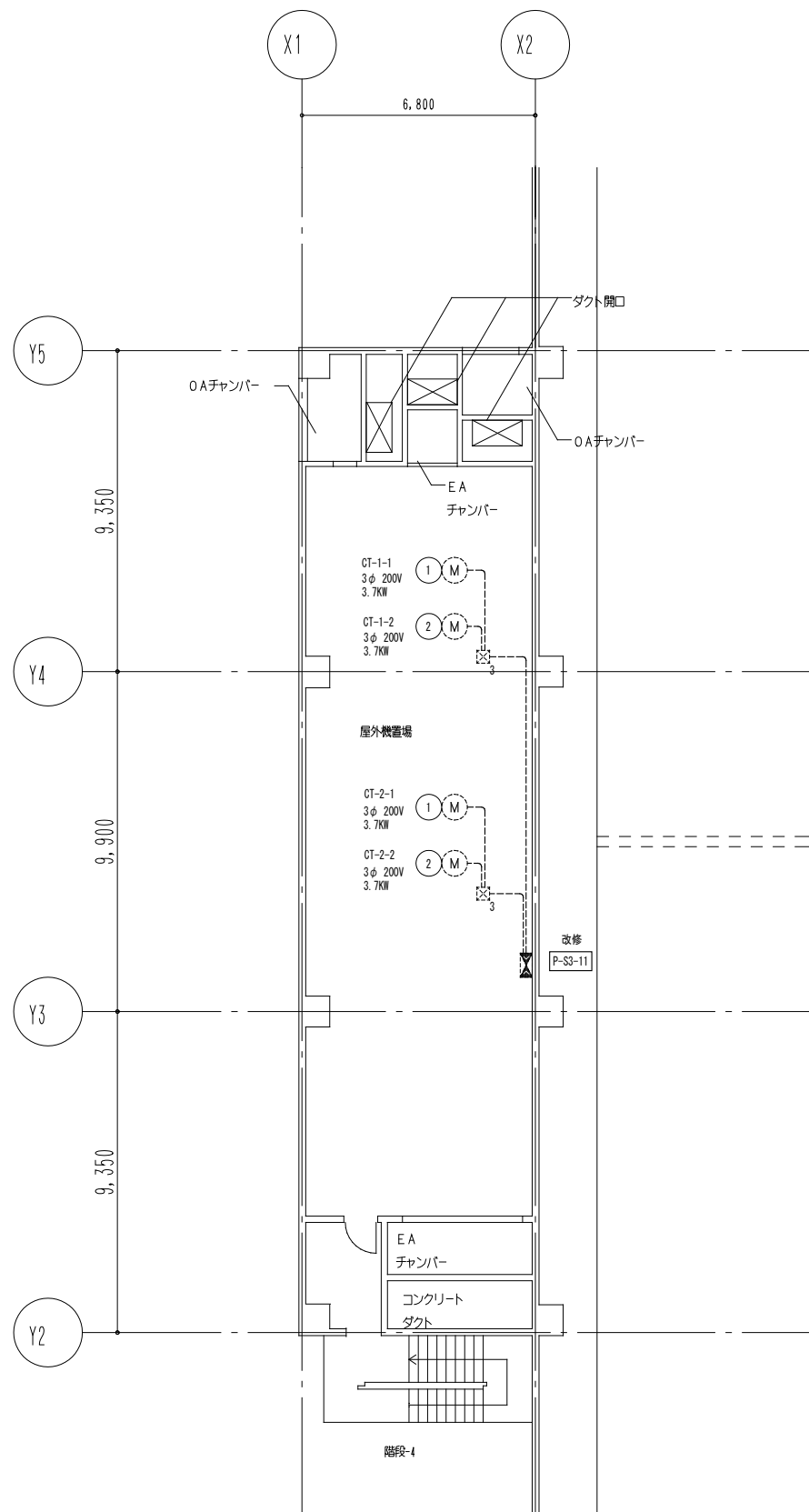
P-S2-11

No.	動力番号	機器名称	相数	電圧(V)	容量(KW)	配線サイズ	備考
①	ACU-S-3	空調機(中体育館3)	3	200	22 → 15.0	CVT22E8 CVT22 (E75)	OK
⑨	PH-S-1	温水ポンプ	3	200	3.7	5.5×3 E2.0 (PF22)	OK
⑩	PH-S-2	温水ポンプ	3	200	0.25	CV 3.5-4C (E25)	OK



特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事
				動力設備(動力幹線・動力分岐)2階配線図
				縮尺 1/100
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				E-18
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



動力配線リスト

P-S3-11

No.	動力番号	機器名称	相数	電圧(V)	容量(KW)	配線サイズ	備考
①	CT-1-1	冷却塔	3	200	3.7	CV3.5-4C (PE22)	OK
	CT-2-1	冷却塔	3	200	3.7	CV3.5-4C (PE22)	OK
②	CT-1-2	冷却塔	3	200	3.7	CV3.5-4C (PE22)	OK
	CT-2-2	冷却塔	3	200	3.7	CV3.5-4C (PE22)	OK

特記事項

課長 課長補佐 係長 担当

国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事

動力設備(動力幹線・動力分岐)3階配線図
縮尺 1/100

独立行政法人 国立青少年教育振興機構

E-19

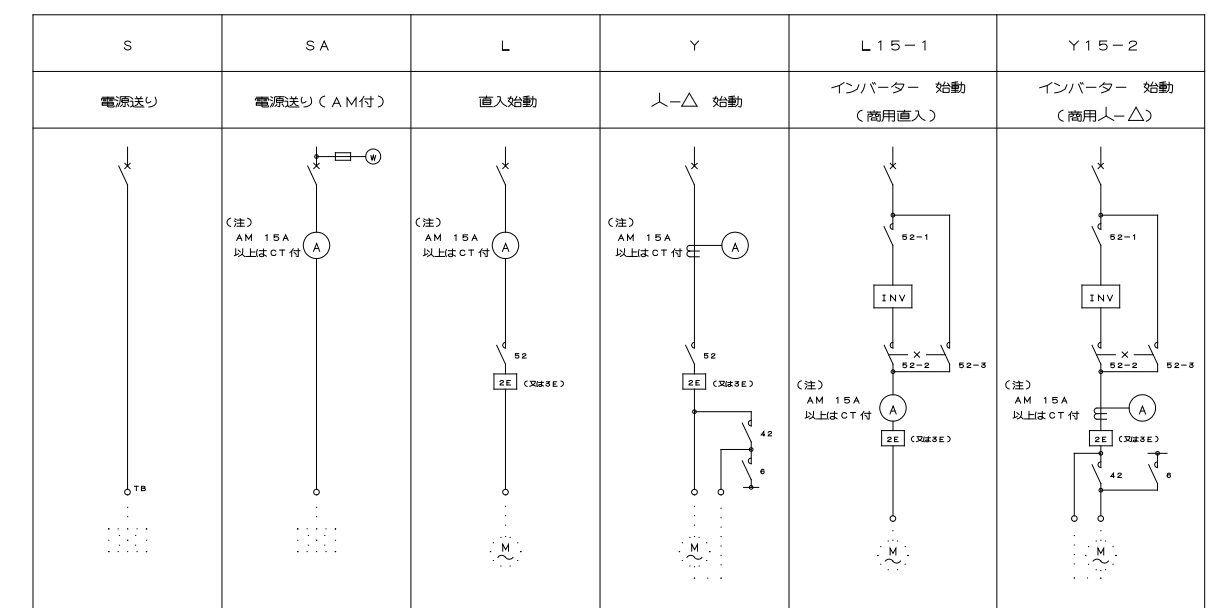
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)

株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

盤名称 及び 幹線番号	主幹線 及び 結線	機器番号	機器名称	AC or GC	電圧 (V)	容量 (kw)	主 回路 方式	操作 形制	操作 形制	配線用遮断器 M:MCCB E:ELCB	中央監視盤			運 動 インターロック	
											停止	警報	停止		
P-SB-21 キャビネット 形式:V 47.6kw 3P1S CVT100	AC 3φ3W 200V MCCB 3P 400/300A RC:14kA以上	PCD-S-1	冷却ポンプ No.1	AC	200	30	Y	2-2a	I	E 225/175 → 400/300	○	○	○	(P-S3-11)CT-S-1へ	
		RA-S-1	吸収冷凍機 No.1	#	#	13.02	→6.6	SA		E 225/125	○	○	○		
		PCH-S-1	冷却水1次ポンプ No.1	#	#	11		Y	2-2a	I	E 100/75 → 225/125	○	○	○	
			警報用電源	#	#	1φ200		S			M 50/15				
		PCD-S-2	冷却ポンプ No.2	AC	200	30	Y	2-2a	I	E 225/175 → 400/300	○	○	○	(P-S3-11)CT-S-2へ	
		RA-S-2	吸収冷凍機 No.2	#	#	13.02		SA		E 225/125	○	○	○	ヨビとする	
		PCH-S-2	冷却水1次ポンプ No.2	#	#	11		Y	2-2a	I	E 100/75 → 225/125	○	○	○	
			警報用電源	#	#	1φ200		S			M 50/15				
		PCH-S-3	冷却水2次ポンプ No.1	AC	200	18.5	Y	2-2a	I	E 225/125 → 225/175	○	○	○		
		PCH-S-4	冷却水2次ポンプ No.2	#	#	18.5		Y	2-2a	I	E 225/125 → 225/175	○	○	○	
		PCH-S-5	冷却水2次ポンプ No.3	#	#	18.5		Y	2-2a	I	E 225/125 → 225/175	○	○	○	
			警報用電源	#	#	1φ200		S			M 50/15				
		FS-S-1	給気ファン (B1F機械室)	AC	200	2.2	L	2-2a	I	M 50/30	○	○	○		
		FE-S-1	排気ファン (#)	#	#	3.7	L	4-1	I	M 50/40	○	○	○		
		PSD-S-1	環水ポンプ No.1	#	#	2.2	L	1-1-2	I	E 50/30 → 50/40	○	○	○		
PSD-S-2	環水ポンプ No.2	#	#	2.2	L	1-1-2	I	E 50/30 → 50/40	○	○	○				
PHW-S-1	環水ポンプ No.1	#	#	0.25	L	1-1-2	I	E 50/15	○	○	○				
PHW-S-1	環水ポンプ No.2	#	#	0.25	L	1-1-2	I	E 50/15	○	○	○				
PHW-S-1	環水ポンプ No.3	#	#	0.25	L	1-1-2	I	E 50/15	○	○	○				
PHW-S-1	環水ポンプ No.4	#	#	0.25	L	1-1-2	I	E 50/15	○	○	○				
ACP-S-1	パンプアップ装置 (B1F電気室)	#	#	19.3	SA			E 225/125	○	○	○				
TC-S-1	冷却水処理装置 No.1	#	#	0.06	S			E 50/20	○	○	○				
TC-S-1	冷却水処理装置 No.2	#	#	0.06	S			E 50/20	○	○	○				
	警報用電源	#	#	1φ200		S		M 50/15							
	操作電源 (共通電源用)	#	#		S			M 50/15							

盤名称 及び 幹線番号	主幹線 及び 結線	機器番号	機器名称	AC or GC	電圧 (V)	容量 (kw)	主 回路 方式	操作 形制	操作 形制	配線用遮断器 M:MCCB E:ELCB	中央監視盤			運 動 インターロック		
											停止	警報	停止			
P-S2-21 キャビネット 形式:V 36.7kw 3P9S CVT100	AC 3φ3W 200V MCCB 3P 400/250A RC:7.5kA以上	ACU-S-4	空調機 (中体青龍1)	AC	200	30.0	→18.5	Y	2-2a	I	M 225/175	○	○	○		
		FR-S-4	レタファン (ACU-S-4用)	#	#	15.0		Y	4-1	I	M 100/100	○	○	○		
			パンプ用電源 (中体青龍1, 2用)	#	#	3.2		S		M 50/50						
			警報用電源	#	#	1φ200		S		M 50/15						
		ACU-S-5	空調機 (中体青龍2)	AC	200	30.0	→18.5	Y	2-2a	I	M 225/175	○	○	○	(L-S2-21)FE-S-9へ	
		FR-S-5	レタファン (ACU-S-5用)	#	#	11.0		Y	4-1	I	M 100/75	○	○	○		
			デバイダー形加湿機 (中体青龍1, 2用)	#	#	6.4		S		M 100/75						
			自動用電源	#	#	1φ200		S		M 50/15						
			警報用電源	#	#		S			M 50/15						
		P-S3-11 キャビネット 形式:V 14.8kw 3P11S CVT3φ	AC 3φ3W 200V MCCB 3P 100/100A RC:2.5kA以上	CT-S-1	冷却機 No.1	AC	200	3.7	L	4-1	Th	E 50/40 → 100/60	○	○	○	(P-SB-21-1)PCD-S-1設置の分岐
				CT-S-1	冷却機 No.2	#	#	3.7	L	4-1	Th	E 50/40 → 100/60	○	○	○	(#)
				CT-S-2	冷却機 No.1	#	#	3.7	L	4-1	Th	E 50/40 → 100/60	○	○	○	(P-SB-21-1)PCD-S-2設置
				CT-S-2	冷却機 No.2	#	#	3.7	L	4-1	Th	E 50/40 → 100/60	○	○	○	(#)
					自動用電源	#	#	1φ200		S		M 50/15				
			警報用電源	#	#		S			M 50/15						
	操作電源 (共通電源用)	#	#		S			M 50/15								

盤名称 及び 幹線番号	主幹線 及び 結線	機器番号	機器名称	AC or GC	電圧 (V)	容量 (kw)	主 回路 方式	操作 形制	操作 形制	配線用遮断器 M:MCCB E:ELCB	中央監視盤			運 動 インターロック			
											停止	警報	停止				
P-SMB-11 キャビネット 形式:V 34.7kw 3P6S CVT150	AC 3φ3W 200V MCCB 3P 400/250A RC:5.0kA以上	ACU-S-1	空調機 (小体青龍1)	AC	200	15.0	→7.5	Y	L 2-2a	I	M 100/100 → 225/125	○	○	○			
		FR-S-1	レタファン (ACU-S-1用)	#	#	7.5		Y	L 4-1	I	M 100/75	○	○	○			
		ACU-S-2	空調機 (小体青龍2)	#	#	15.0	→7.5	Y	L 2-2a	I	M 100/100 → 225/125	○	○	○			
		FR-S-2	レタファン (ACU-S-2用)	#	#	7.5		Y	L 4-1	I	M 100/75	○	○	○			
		ACU-S-7	空調機 (1F女子更衣室)	#	#	1.5		L	2-2a	I	M 50/20	○	○	○	(L-S1-21)FE-S-10,12,13へ		
			パンプ用電源 (中体青龍3用)	#	#	3.2		L		M 50/50							
			自動用電源	#	#	1φ200		S		M 50/15							
			警報用電源	#	#		S			M 50/15							
		P-S2-11 キャビネット 形式:V 53.85kw 3P7S CVT150	AC 3φ3W 200V MCCB 3P 400/350A RC:5.0kA以上	ACU-S-3	空調機 (中体青龍3)	AC	200	22.0	→15.0	Y	2-2a	I	M 225/125 → 225/150	○	○	○	
				FR-S-3	レタファン (ACU-S-3用)	#	#	11.0		Y	4-1	I	M 100/75	○	○	○	
				ACU-S-6	空調機 (スイミングプール)	#	#	11.0		Y	2-2a	I	M 100/75	○	○	○	
				FR-S-6	レタファン (ACU-S-6用)	#	#	5.5		L	4-1	I	M 50/50	○	○	○	
				ACU-S-8	空調機 No.1 (2F男子更衣室)	#	#	1.5		L	2-2a	I	M 50/20	○	○	○	(L-S2-31)FE-S-14,16へ
				ACU-S-9	# No.2 (#)	#	#	2.2		L	2-2a	I	M 50/30	○	○	○	(L-S2-21)FE-S-11,15,17,18へ
				FS-S-5	給気ファン (2Fプール機械室)	#	#	2.2	L	2-2a	I	M 50/30	○	○	○		
FE-S-5	排気ファン (#)			#	#	1.5	L	4-1	I	M 50/20	○	○	○				
PH-S-1	環水ポンプ No.1			#	#	3.7	L	2-1a	I	E 50/40 → 100/60	○	○	○				
PH-S-2	環水ポンプ No.2			#	#	0.25	L	2-1a	I	E 50/15	○	○	○				
	自動用電源			#	#	1φ200		S		M 50/15							
	警報用電源			#	#		S			M 50/15							

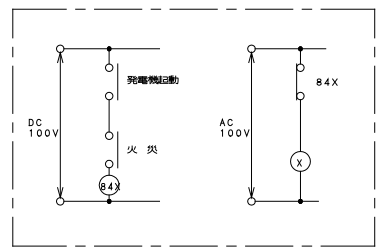
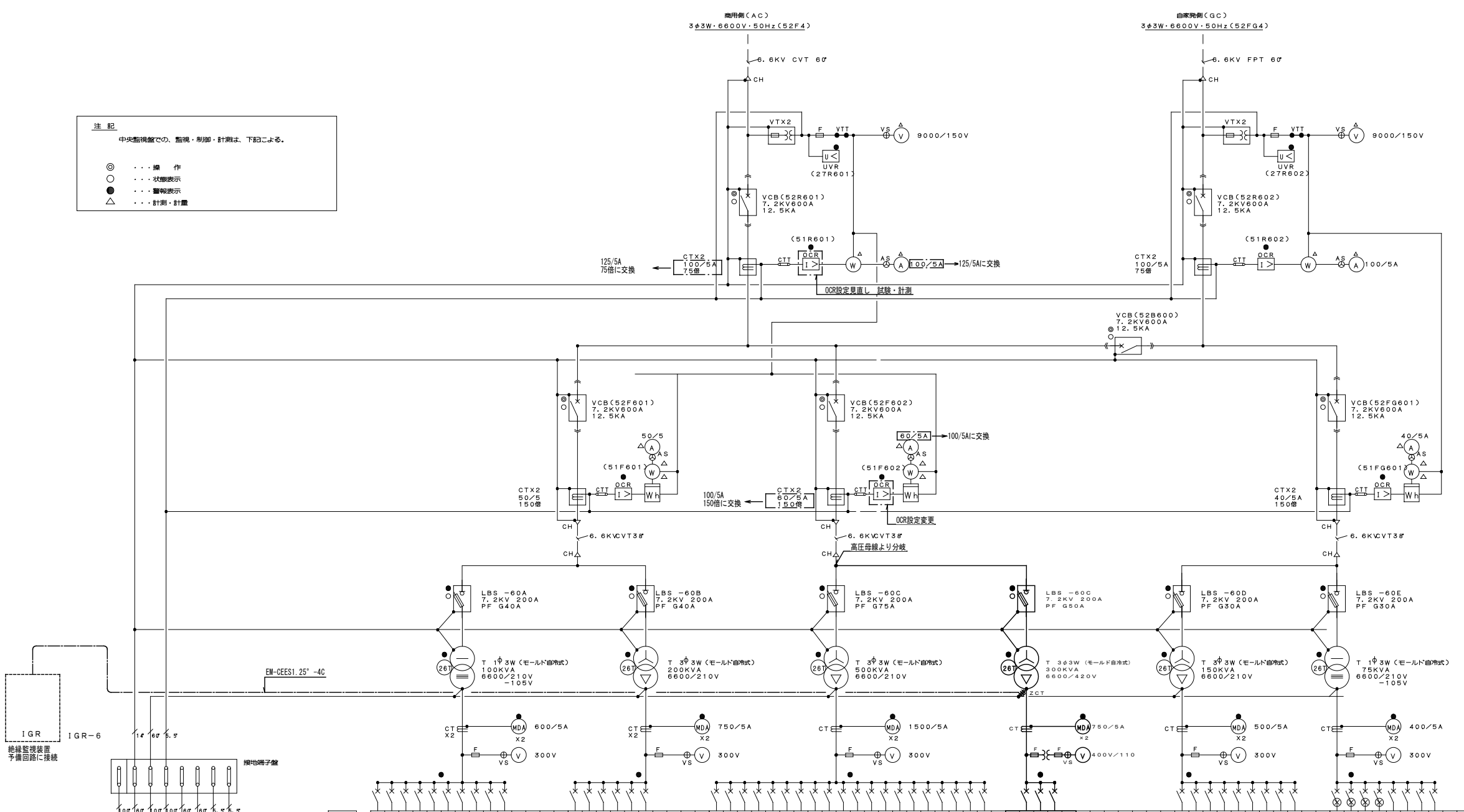


- (注記)
- インバーターを内蔵する制御盤には冷却ファンを設け、温度調節器による自動運転を行う。
 - インバーター運転時に使用する過負荷保護継電器は熱動形とする。
 - 分岐MCCB, ELCBは、警報接点付とする。
 - 雨水ポンプ等、水中ポンプ用の保護継電器は3Eを使用する。
 - 表示灯はLEDとする。

改修内容
 冷温水ポンプ、空調機更新に伴い
 容量変更のあるものは回路を更新する(MCCB, サーマル, マグネット, アンペアメーター)
 容量変更の無いものは電動機がトップランナー仕様となるため図示の配線用遮断器を交換する

注記
中央監視盤での監視・制御・計測は、下記による。

◎ ... 操作
○ ... 状態表示
● ... 警報表示
△ ... 計測・計量

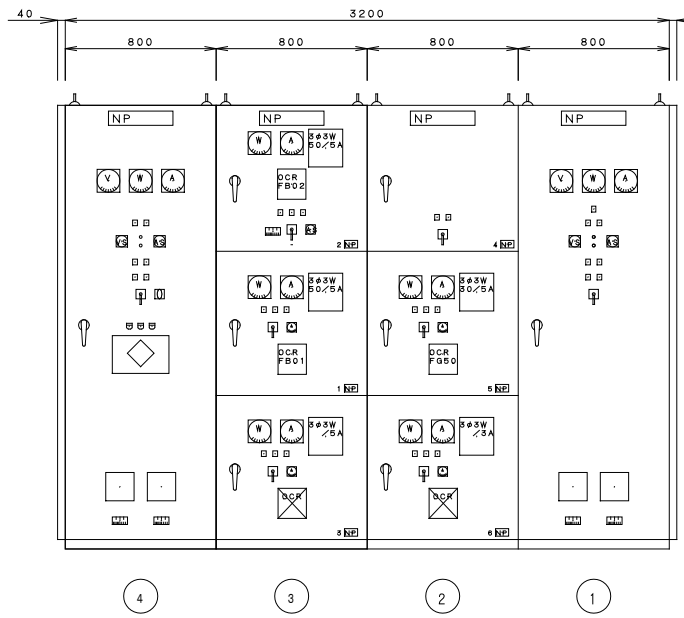


注記
E Tを除く各端子が接続・切断せる構造とする。
TB-BT6A

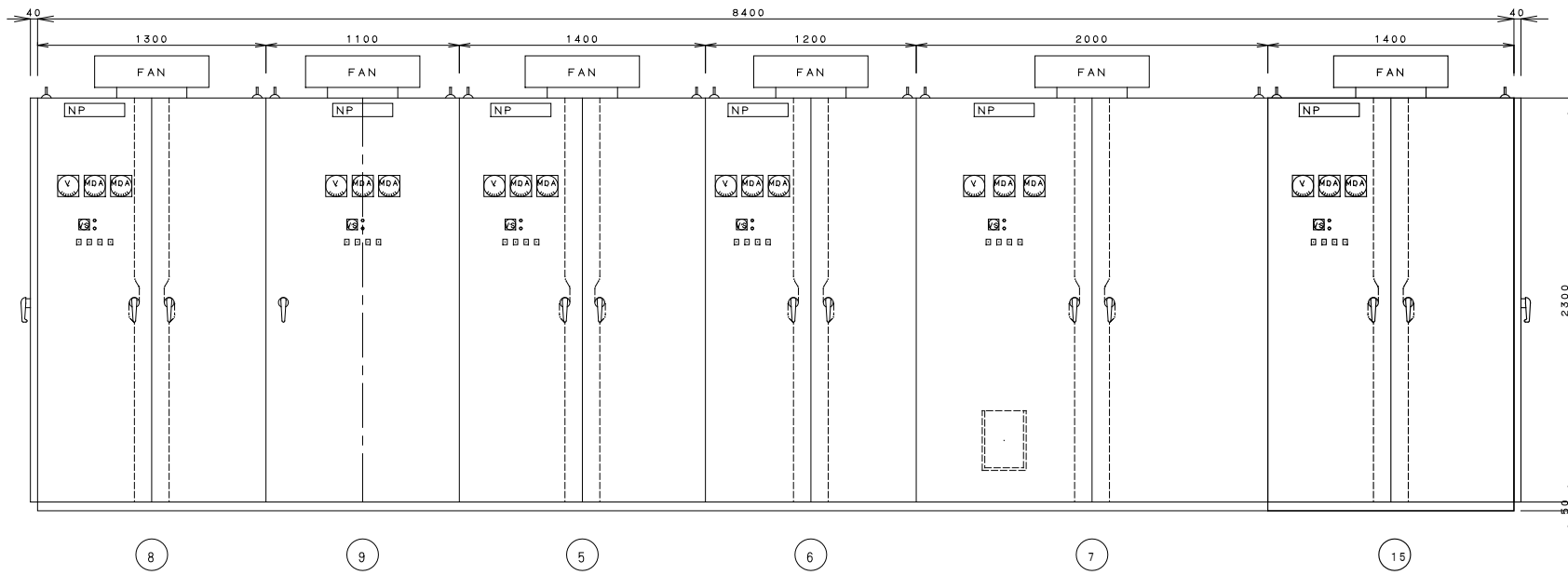
- 改修内容**
- 水冷クーラー増設に伴う低圧動力盤の増設を行う
形式 : キュービクル式 (CW)
指示計器 : 機械式
変圧器 : モールド自冷式トッランナー
 - き電盤CT・AMの交換
OCR設定及び受電盤OCR設定見直し等を行うこと
 - 中央監視・絶縁監視装置に必要監視内容を取り込み
中央装置で表示を行う改修を含む
 - 変圧器ごとに停電させ、交換すること
停電の日時等は監督員・建物管理者と調整し決めること

幹線NO.	MCCB容量	AF/AT	ケーブルサイズ	負荷容量	負荷名称	盤名称
			mm ²	KVA		
LL1S	3	225/125		21.5 kW	CVT 3Φ	低圧電灯盤 NO.1
LL2S	3	225/200		36 kW	CVT 6Φ	
LL3S	3	400/250		41.7 kW	CVT 15Φ	
LL4S	3	400/250		19.1 kW	CVT 6Φ	
LL5S	3	225/125		20.4 kW	CVT 6Φ	
LL6S	3	225/125		16.2 kW	CVT 10Φ	
LL7S	3	400/250		46.5 kW	CVT 20Φ	
LL8S	3	225/225		23.2 kW	CVT 6Φ	
LL9S	3	100/100				
LL10S	3	100/100				
LL11S	3	100/100				
LL12S	3	100/100				
LL13S	3	100/100				
LL14S	3	100/100				
LL15S	3	100/100				
LL16S	3	100/100				
LL17S	3	100/100				
LL18S	3	100/100				
LL19S	3	100/100				
LL20S	3	100/100				
LL21S	3	100/100				
LL22S	3	100/100				
LL23S	3	100/100				
LL24S	3	100/100				
LL25S	3	100/100				
LL26S	3	100/100				
LL27S	3	100/100				
LL28S	3	100/100				
LL29S	3	100/100				
LL30S	3	100/100				
LL31S	3	100/100				
LL32S	3	100/100				
LL33S	3	100/100				
LL34S	3	100/100				
LL35S	3	100/100				
LL36S	3	100/100				
LL37S	3	100/100				
LL38S	3	100/100				
LL39S	3	100/100				
LL40S	3	100/100				
LL41S	3	100/100				
LL42S	3	100/100				
LL43S	3	100/100				
LL44S	3	100/100				
LL45S	3	100/100				
LL46S	3	100/100				
LL47S	3	100/100				
LL48S	3	100/100				
LL49S	3	100/100				
LL50S	3	100/100				
LL51S	3	100/100				
LL52S	3	100/100				
LL53S	3	100/100				
LL54S	3	100/100				
LL55S	3	100/100				
LL56S	3	100/100				
LL57S	3	100/100				
LL58S	3	100/100				
LL59S	3	100/100				
LL60S	3	100/100				
LL61S	3	100/100				
LL62S	3	100/100				
LL63S	3	100/100				
LL64S	3	100/100				
LL65S	3	100/100				
LL66S	3	100/100				
LL67S	3	100/100				
LL68S	3	100/100				
LL69S	3	100/100				
LL70S	3	100/100				
LL71S	3	100/100				
LL72S	3	100/100				
LL73S	3	100/100				
LL74S	3	100/100				
LL75S	3	100/100				
LL76S	3	100/100				
LL77S	3	100/100				
LL78S	3	100/100				
LL79S	3	100/100				
LL80S	3	100/100				
LL81S	3	100/100				
LL82S	3	100/100				
LL83S	3	100/100				
LL84S	3	100/100				
LL85S	3	100/100				
LL86S	3	100/100				
LL87S	3	100/100				
LL88S	3	100/100				
LL89S	3	100/100				
LL90S	3	100/100				
LL91S	3	100/100				
LL92S	3	100/100				
LL93S	3	100/100				
LL94S	3	100/100				
LL95S	3	100/100				
LL96S	3	100/100				
LL97S	3	100/100				
LL98S	3	100/100				
LL99S	3	100/100				
LL100S	3	100/100				

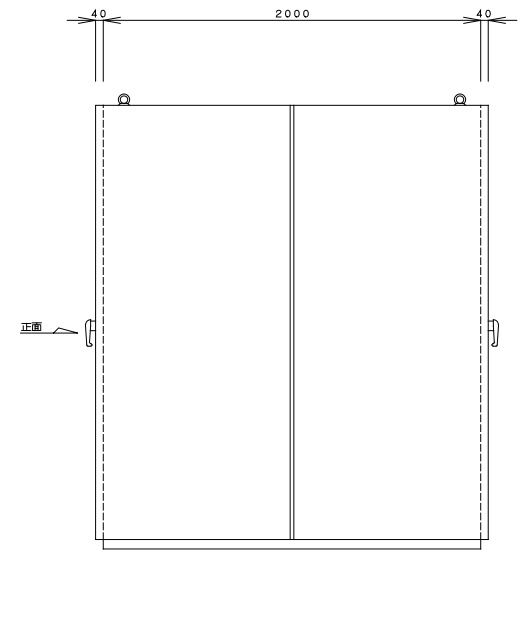
体育館



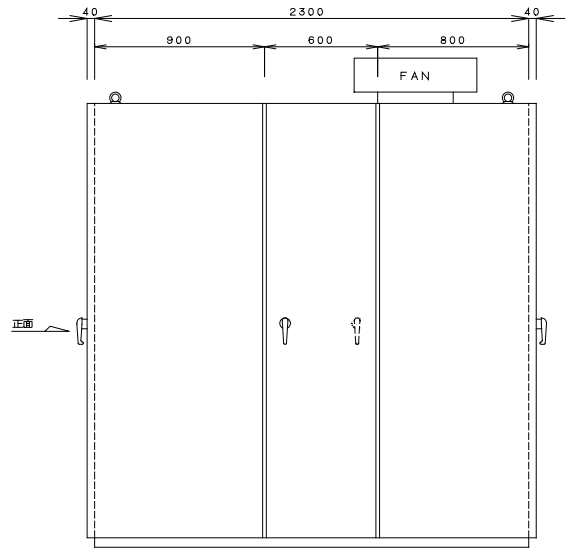
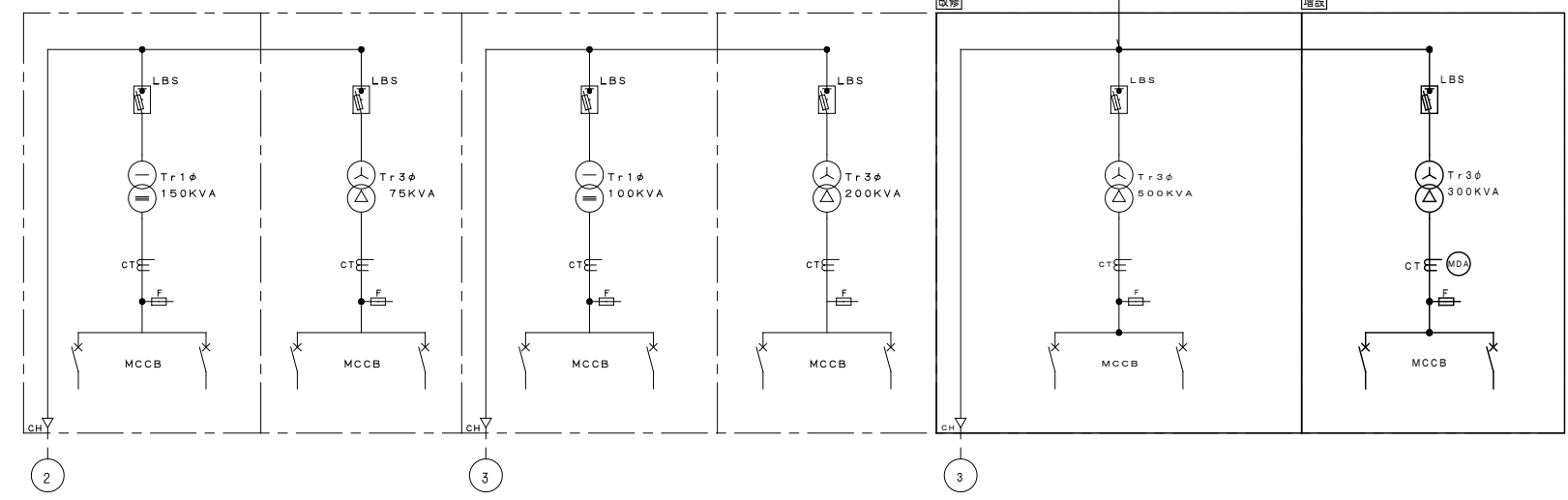
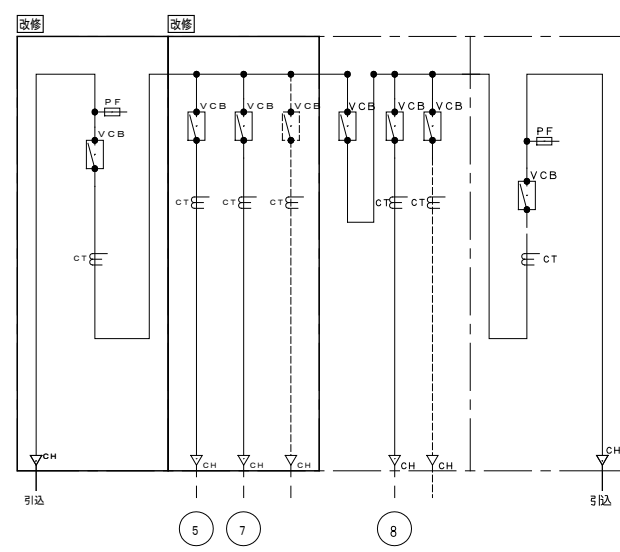
高圧盤正面図 S=1/20



低圧盤正面図 S=1/20



高圧盤側面図 S=1/20



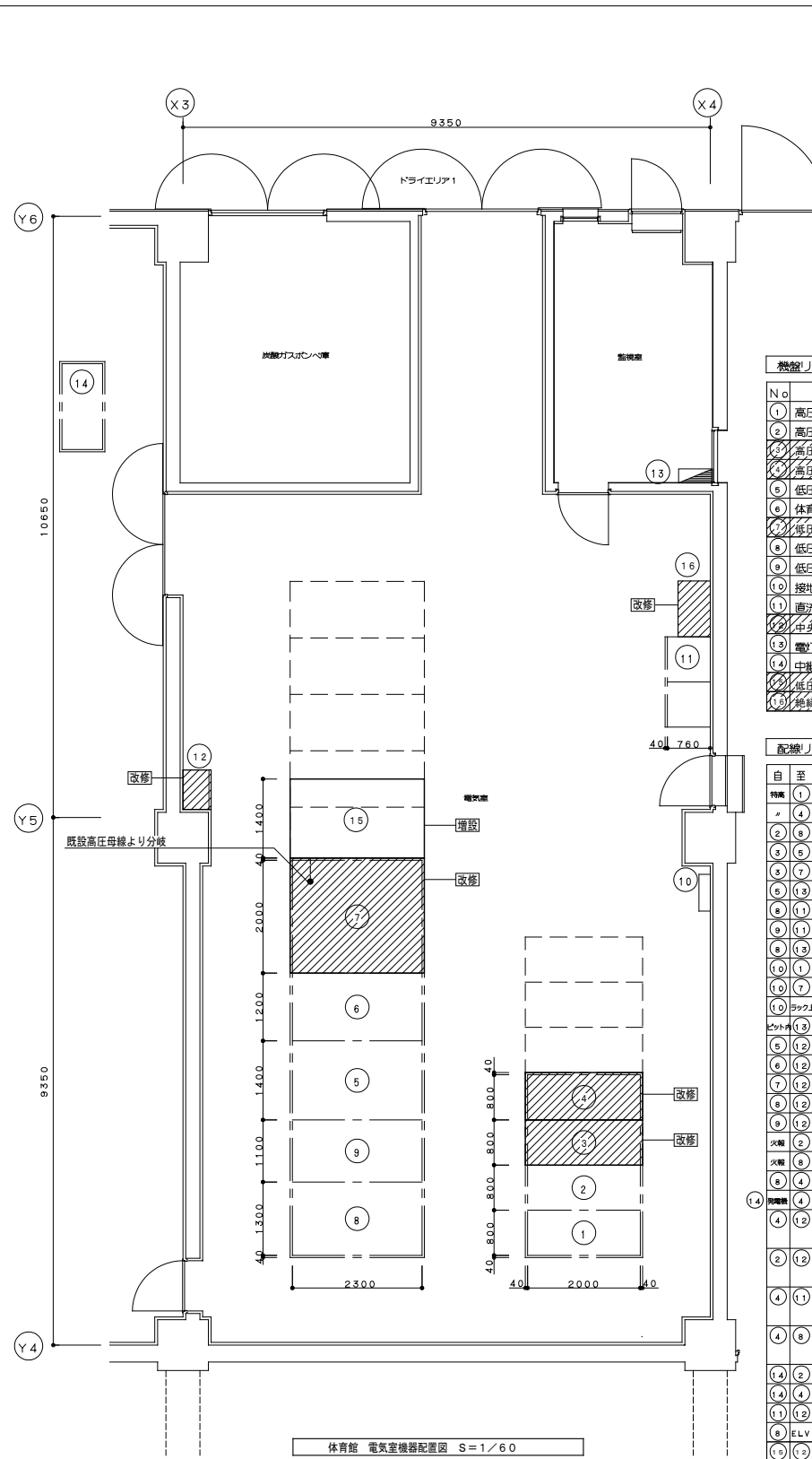
低圧盤側面図 S=1/20

- ① 高圧受電盤 (非常用)
- ② 高圧饋電盤 No. 2
- ③ 高圧饋電盤 No. 1
- ④ 高圧受電盤 (常用)
- ⑤ 低圧電灯盤 No. 1 (Tr 1φ100KVA)

- ⑥ 体育館照明盤 (Tr 3φ200KVA)
- ⑦ 低圧動力盤 (Tr 3φ500KVA) → 名称変更: 低圧動力盤No. 1
- ⑧ 低圧非常電灯盤 (Tr 1φ150KVA)
- ⑨ 低圧非常動力盤 (Tr 3φ75KVA)
- ⑩ 低圧動力盤 No. 2 (Tr 3φ300KVA) 増設

特記事項

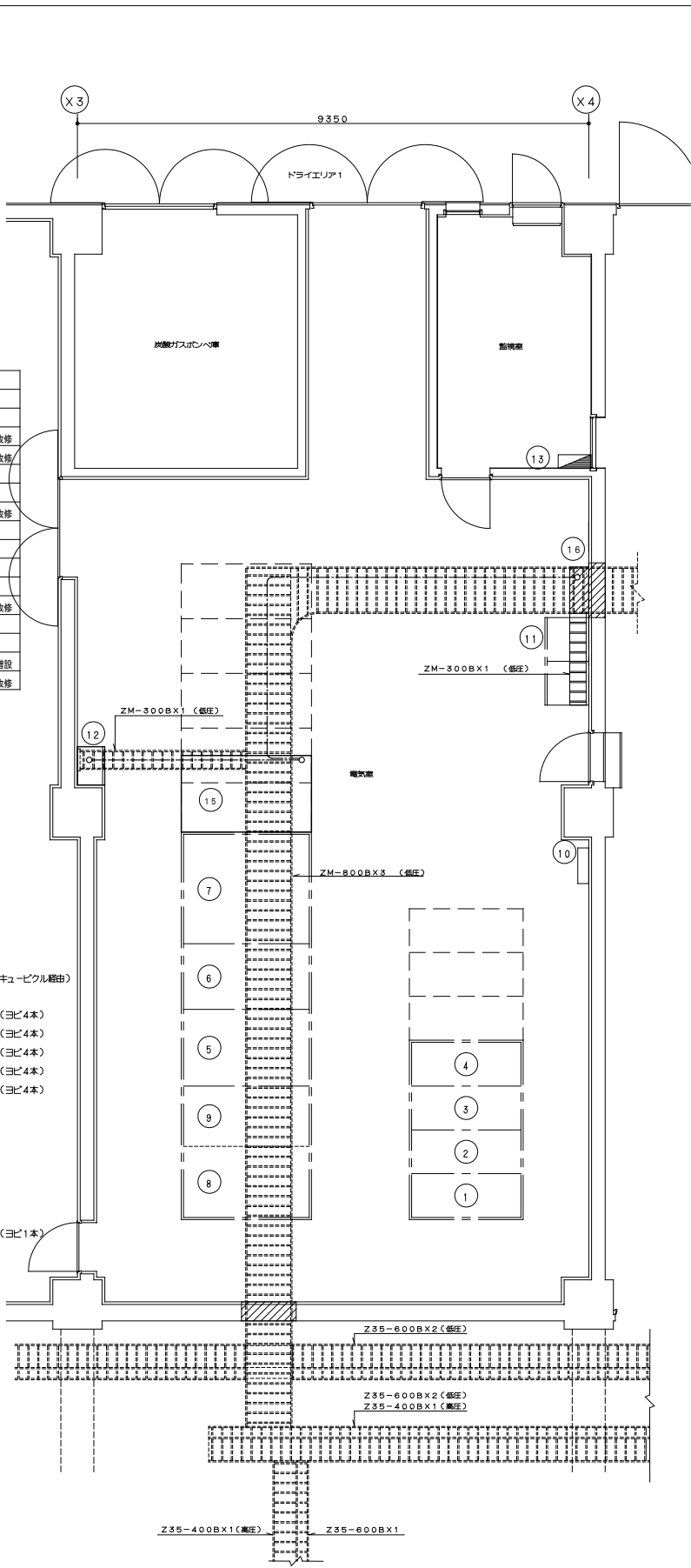
課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事
				受変電設備 姿岡・プロカサトシ(改修)
				縮尺 1/20
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				E-22
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



体育館 電気室機器配置図 S=1/60

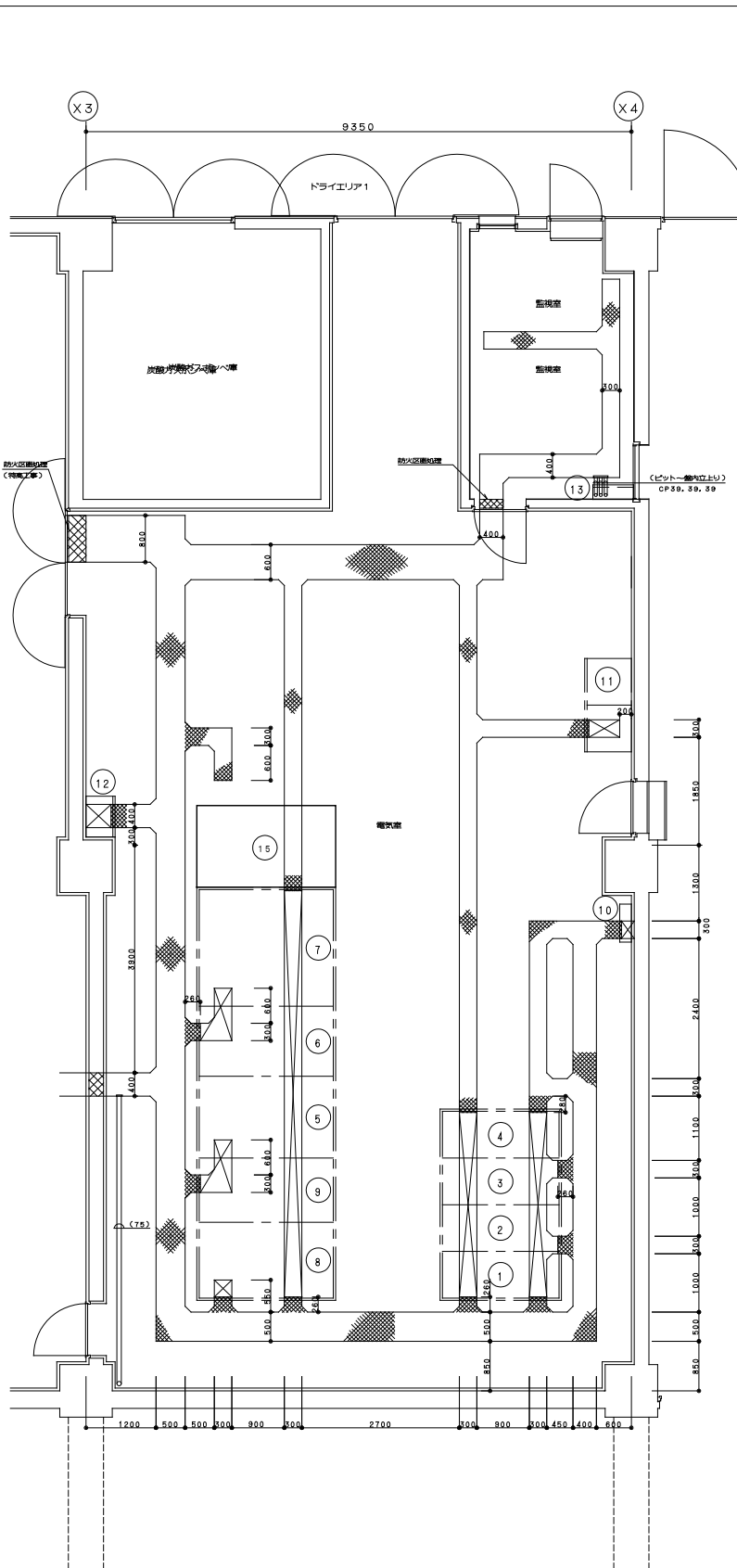
No	名称	備考
①	高圧受電盤 (非常用)	
②	高圧饋電盤 No. 2	
③	高圧饋電盤 No. 1	改修
④	高圧受電盤 (常用)	改修
⑤	低圧電灯盤 No. 1	
⑥	体育館照明盤	
⑦	低圧動力盤 (No. 1)	名称変更 改修
⑧	低圧非常動力盤	
⑨	低圧非常動力盤	
⑩	接地端子盤	
⑪	直流電源装置盤	
⑫	中央監視RS盤 (特高工事)	改修
⑬	電灯分電盤	
⑭	中継端子盤	(別途 特高電気室)
⑮	低圧動力盤 No. 2	増設
⑯	絶縁監視装置	1.0.0.0-6 改修

自	至	配線	備考
①	④	6KV FPT 6φ	
②	⑤	6KV CVT 3φ	
③	⑥	6KV CVT 3φ	
④	⑦	6KV CVT 3φ	
⑤	⑧	600V CVT 2φ	(1L 1S)
⑥	⑨	600V FPT 25φ	(1G 5S)
⑦	⑩	600V CV 5.5φ-3C	(3G 3S)
⑧	⑪	600V CVT 1φ	(1G 1S)
⑨	⑫	IV 22X1, 10φX1, 10φX1	2, 3
⑩	⑬	IV 6φX1, 10φX1, 10φX1	2, 3
⑪	⑭	IV 6φX1, 10φX2	ES, E3, EELB
⑫	⑮	IV 22X 2, 1φX1	E3, EELB (キューピクル経由)
⑬	⑯	CVV Z-10C	警報 (3本)
⑭	⑰	CVV Z-10C	警報 (3本)
⑮	⑱	CVV Z-10C	警報 (3本)
⑯	⑲	CVV Z-10C	警報 (3本)
⑰	⑳	FP Z-2C	(火災信号) 別途
⑱	㉑	FP Z-2C	(火災信号) 別途
㉑	㉒	FP Z-2C	(電圧確立)
㉒	㉓	CVV Z-4C	(運転信号 電圧確立)
㉓	㉔	CVV Z-30C	操作 状態 警報
㉔	㉕	CVVS Z-20C	計量
㉕	㉖	CVV Z-30C	操作 状態 警報
㉖	㉗	CVVS Z-12C	計量 (3本)
㉗	㉘	600V CV 5.5φ-2C	操作 制御
㉘	㉙	600V CV 5.5φ-2C	操作 制御
㉙	㉚	600V CV 5.5φ-2C	AC
㉚	㉛	600V CV 5.5φ-2C	GC
㉛	㉜	CVV Z-4C	操作
㉜	㉝	CVV Z-4C	(VCB 状態表示)
㉝	㉞	CVV Z-4C	(VCB 状態表示)
㉞	㉟	CVV Z-4C	警報
㉟	㊱	ELV CVV Z-4C	(異常機 電圧確立)
㊱	㊲	EM-CEE2'-10C	警報・表示
㊲	㊳	EM-CEE1 25'-4C	警報



体育館 電気室ケーブルラック布設図 S=1/60

※ ケーブルラックは既設とする。



体育館 電気室ビット図 S=1/60

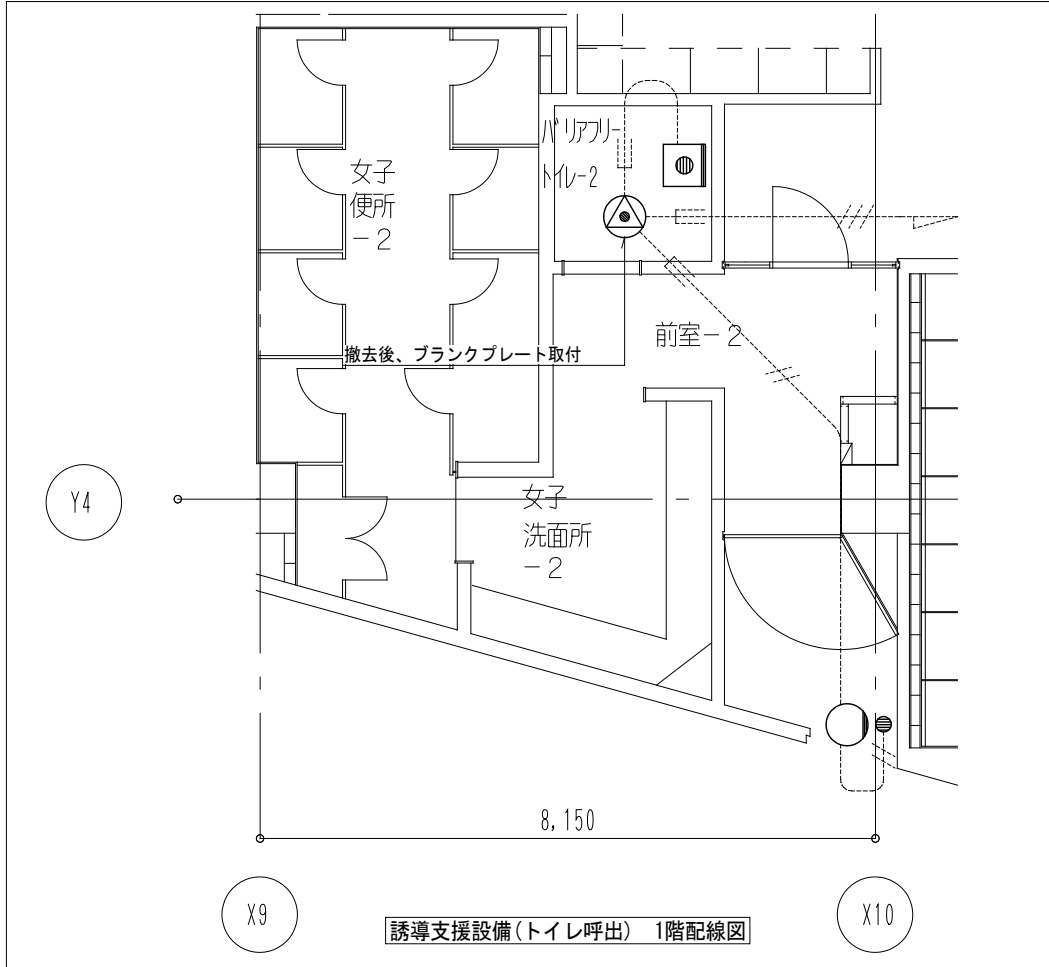
(参考図)

改修内容

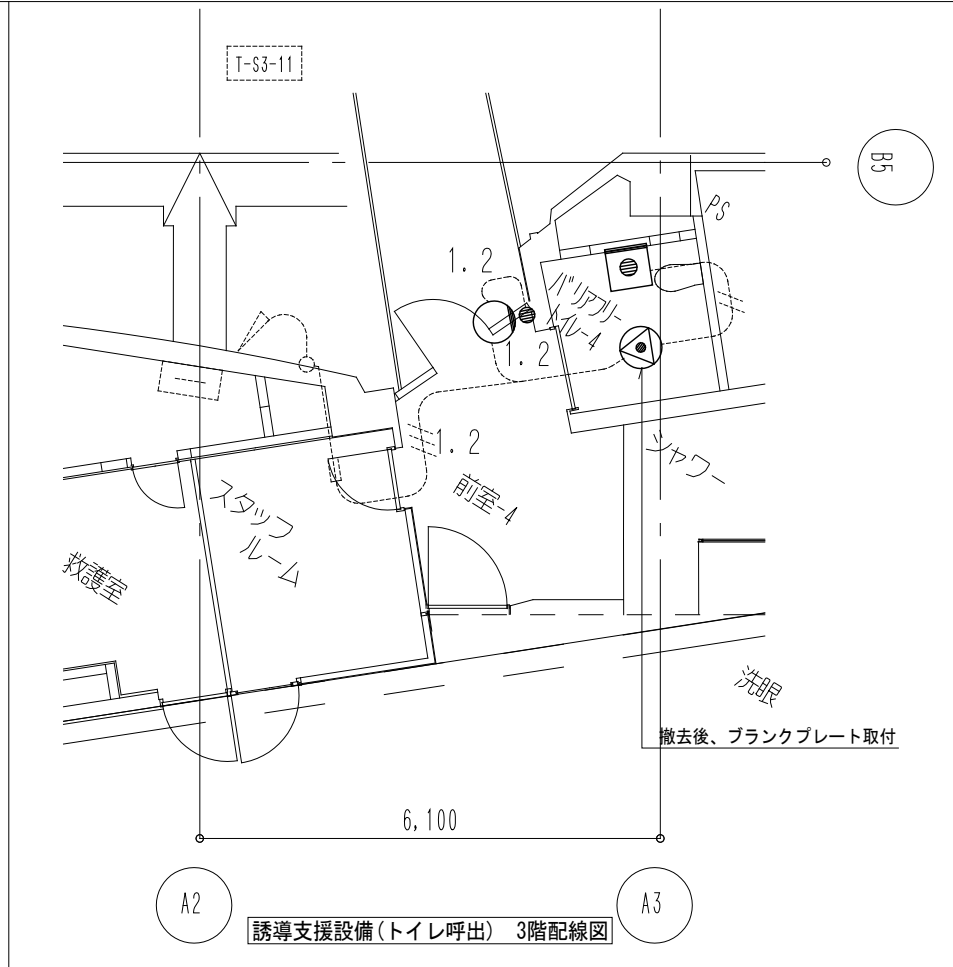
1. 既設電気室内スペースに低圧動力盤No. 2を増設する。
2. 上記改修に伴い、⑦低圧動力盤名称をNo. 1追加、高圧母線より分岐。
3. 上記改修に伴い、③高圧饋電盤No. 1のCT・AMを交換、リレーの設定替えを行う。
4. 上記改修に伴い、④高圧受電盤 (常用) のCT・AMを交換、リレーの設定替えを行う。
5. 上記に改修に伴い、⑫中央監視RS盤の入力基板を追加、警報・表示・接点を取り込み、中央へ伝送する。又、絶縁監視装置予備回路に警報を取り込む。
6. 接地は⑦より分岐する

特記事項

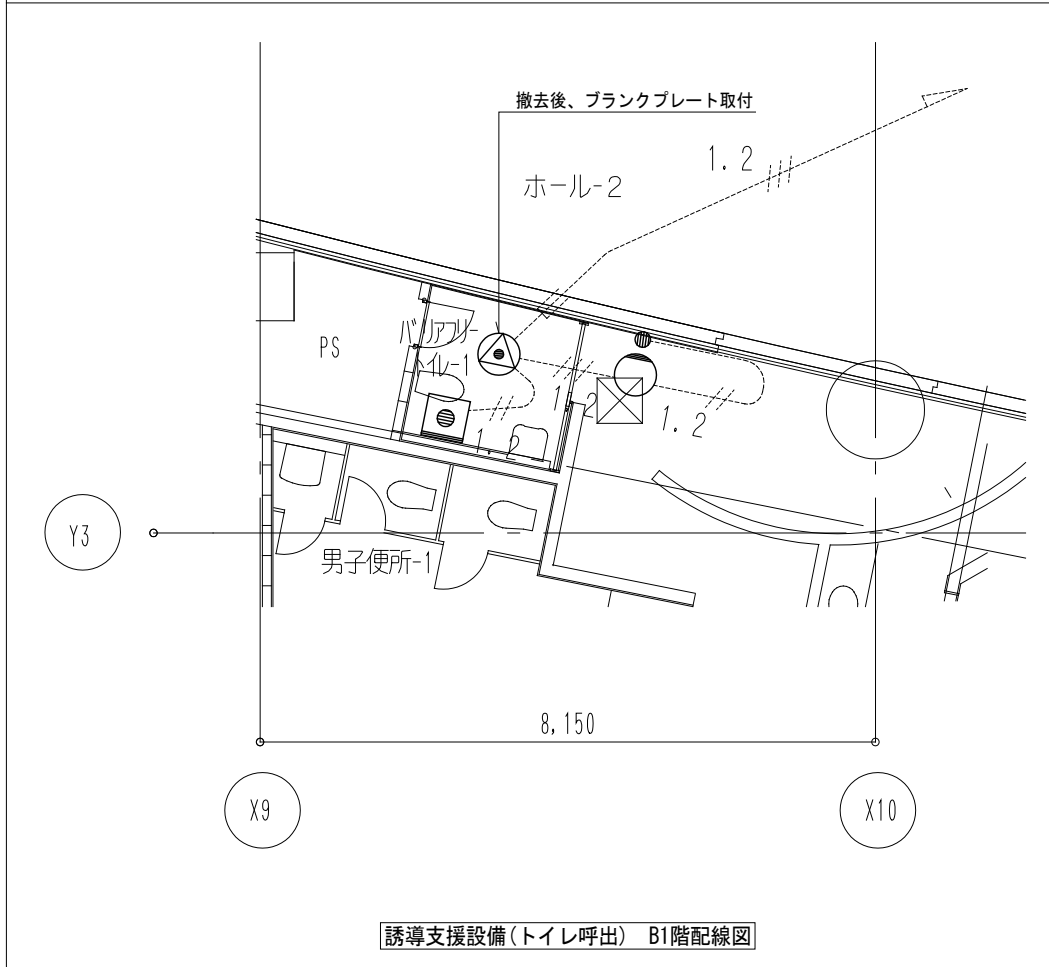
課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事
				受変電設備 電気室配線図 (改修)
				縮尺 1/60
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				E-23
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センターセンター他機能改善整備設計業務 (設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



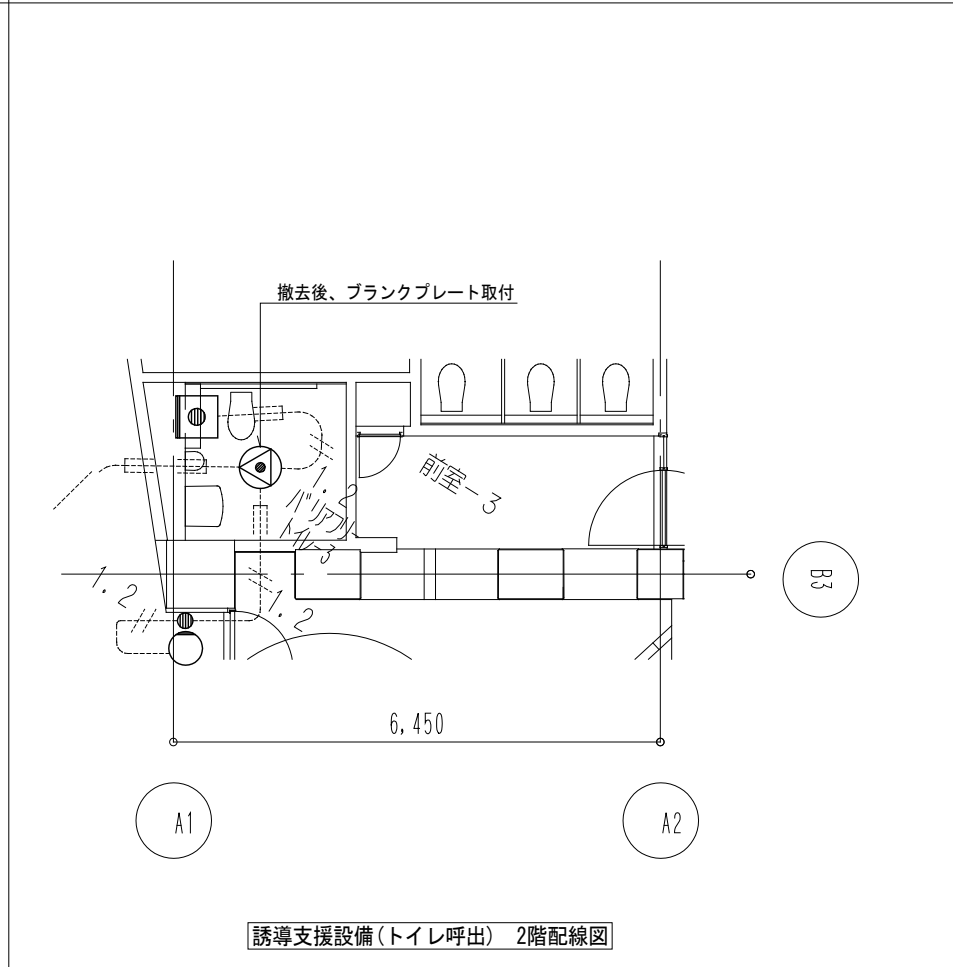
誘導支援設備(トイレ呼出) 1階配線図



誘導支援設備(トイレ呼出) 3階配線図



誘導支援設備(トイレ呼出) B1階配線図



誘導支援設備(トイレ呼出) 2階配線図

【トイレ呼出 機器姿図】 ※形状および寸法は参考とする

<p>呼出し錠</p>		<p>復旧押錠</p>	
形状	壁埋込形 (JIS1種用スイッチボックスカバー付)	形状	壁埋込形 (JIS1種用スイッチボックスカバー付)
プレート/覆り	抗菌樹脂	プレート	新金屬製
確認灯	LED (赤)	復旧スイッチ	ノンロック式
呼出し錠/復旧錠付	ノンロック式		
点字	よびだし		
備考	JIS C-0920 IPx5 (防噴流形) 適合		
<p>表示灯</p>		<p>ブラックプレート</p> <p>東芝ライテック・LEDH-70200 相当品</p>	
形状	壁埋込形 (JIS1種用スイッチボックスカバー付)	寸法	外径φ230
プレート	新金屬製	本体	プラスチック パージンホワイト
表示灯	表示灯カバー: ポリカーボネート		φ125~200用
	LED (赤), DC8V		埋込穴蓋きプレート

凡例

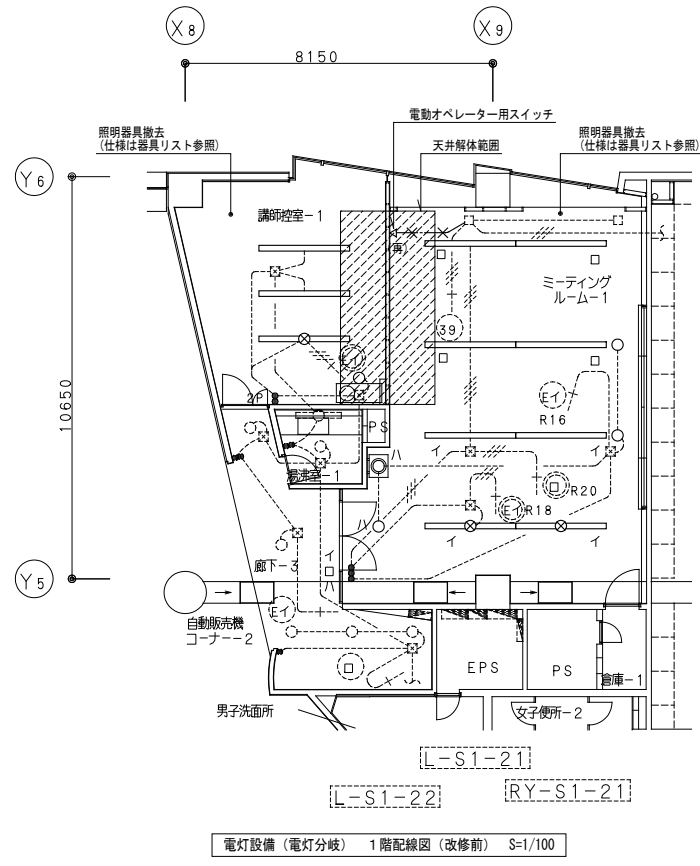
記号	名称	備考
■	呼出し錠	撤去・新設
⊗	マイクスピーカー	撤去・新設プレートのみ再取付
○	表示灯	撤去・新設
●	復旧錠	撤去・新設

改修内容

1. 機器の更新を行う。ただし、配線はそのまま利用とする。

特記事項

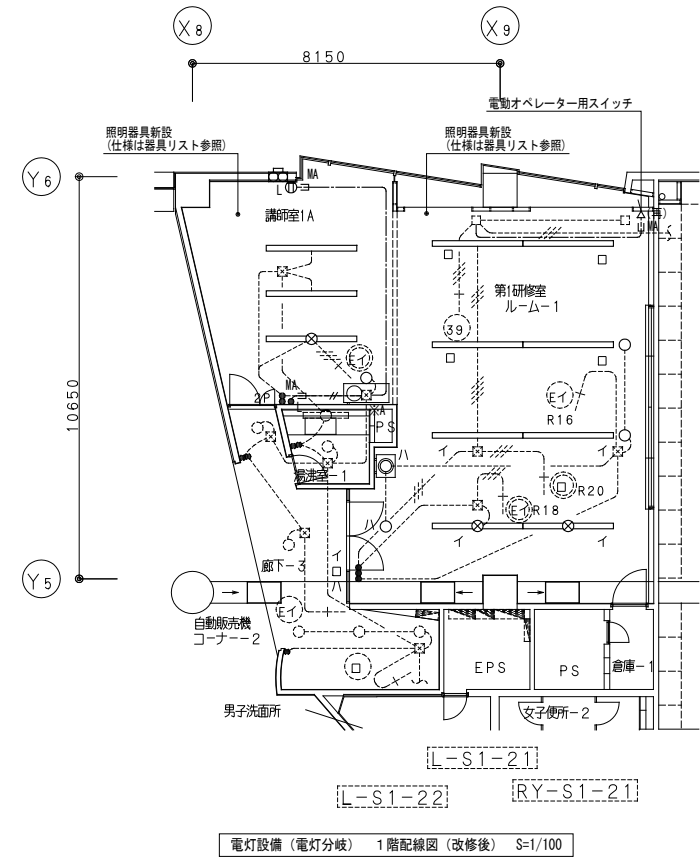
課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事 誘導支援設備(H/L呼出) B1~3階配線図 縮尺 1/50
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				E-24
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



凡例			
記号	名称	摘要	備考
○	照明器具	撤去	器具リスト参照
○	照明器具	撤去	器具リスト参照
⑩	回路番号	傍記Rはリモコン回路	
---	天井こしがし配線		

- 注記
- 特記なき配管配線は下記とする。
 --- VVF2.0-3C ころがし 保護管 (PF22)
 - 傍記(再)は取外し再取付器具を示す。
 - 印は撤去を示す。
 - 印、細破線は既設を示す。

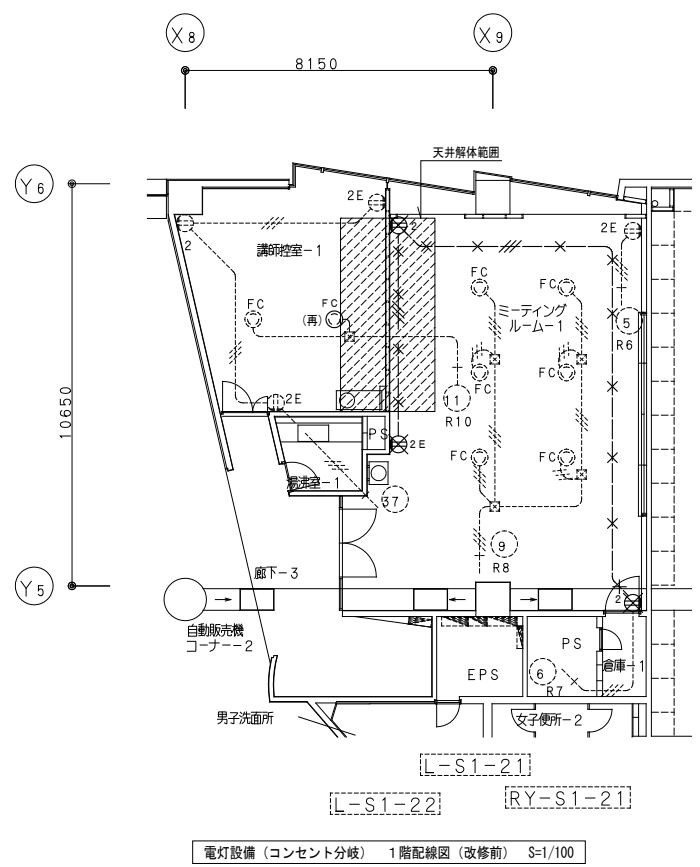
電灯設備 (電灯分岐) 1階配線図 (改修前) S=1/100



凡例			
記号	名称	摘要	備考
○	照明器具	撤去	器具リスト参照
○L	照明器具	撤去	器具リスト参照
⊕L	壁埋込コンセント	2P15A×1 抜止	
⊕	換気扇		機械設備工事
●L	埋込スイッチ	1P15A×1 確認灯付	
⑩	回路番号	傍記Rはリモコン回路	
---	天井こしがし配線		

- 注記
- 特記なき配管配線は下記とする。
 --- EM-EEF1.6-2C 保護管 (3ΦE-1A型)
 --- EM-EEF1.6-3C 保護管 (3ΦE-1A型)
 - 傍記(再)は取外し再取付器具を示す。
 - 印、細破線は既設を示す。
 - 印、※Aは既設プルボックス内で既設配線に接続を示す。

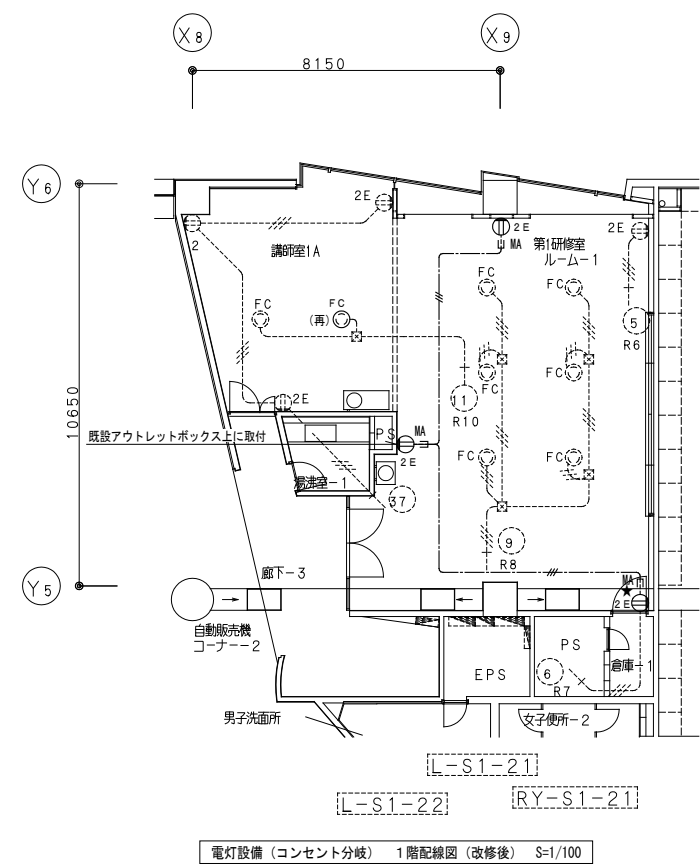
電灯設備 (電灯分岐) 1階配線図 (改修後) S=1/100



凡例			
記号	名称	摘要	備考
⊕2	壁埋込コンセント	2P15A × 2	
⊕2E	壁埋込コンセント	2P15A E × 2	
⊕FC	埋込コンセント (抜止)	2P15A E × 1	
⑩	回路番号	傍記Rはリモコン回路	
---	天井こしがし配線		
---	床隠蔽配管配線		

- 注記
- 特記なき配管配線は下記とする。
 --- VVF2.0-3C ころがし 保護管 (PF22)
 --- 1V2.0×3 (PF22)
 - 印、×印は撤去を示す。
 - 印、細破線は既設を示す。

電灯設備 (コンセント分岐) 1階配線図 (改修前) S=1/100



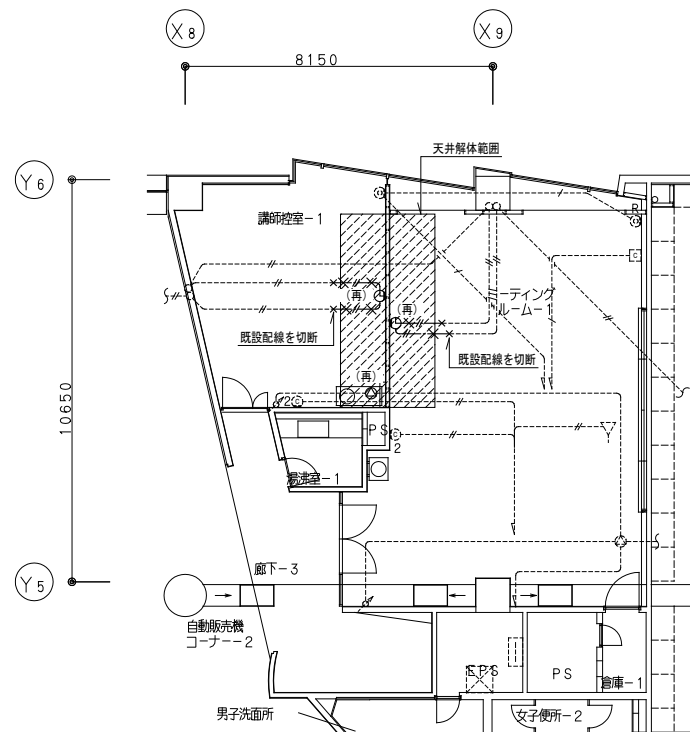
凡例			
記号	名称	摘要	備考
⊕2E	壁埋込コンセント	2P15A E × 2	
⊕FC	埋込コンセント (抜止)	2P15A E × 1	
⑩	回路番号	傍記Rはリモコン回路	
---	天井こしがし配線		

- 注記
- 特記なき配管配線は下記とする。
 --- EM-EEF2.0-3C 保護管 (3ΦE-1A型)
 - 印、★印は既設アウトレットボックスに取付の上、既設配線と接続を示す
 - 印、細破線は既設を示す。

電灯設備 (コンセント分岐) 1階配線図 (改修後) S=1/100

特記事項

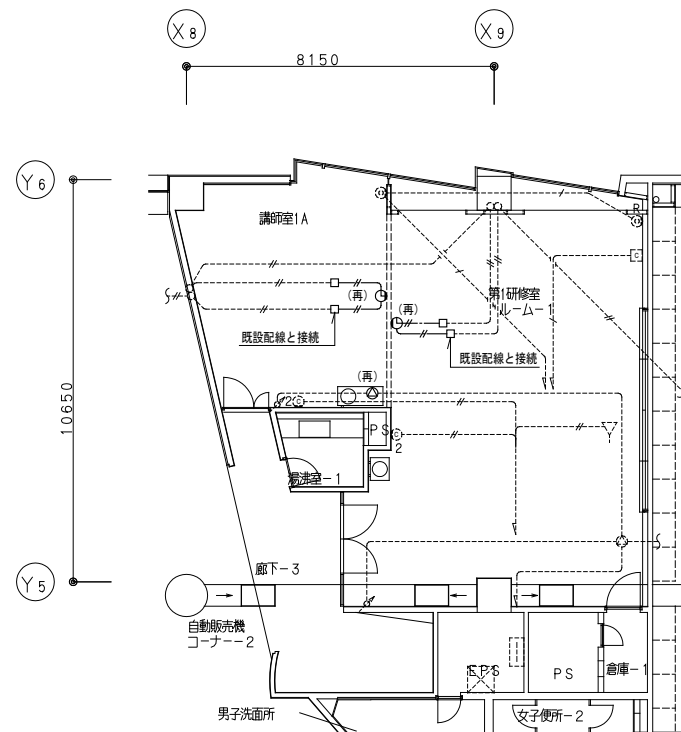
課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事
				1階研修室 電灯設備配線図 (改修前・改修後)
				縮尺 1/100
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				E-25
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務 (設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



通信設備 1階配線図 (改修前) S=1/100

凡例			
記号	名称	摘要	備考
⊙	天井埋込スピーカー		
⊙	子時計		
▽	コードレス電話機基地局	二重天井内	
⊙	直列ユニット		
⊙	情報用アウトレット		
---	天井こしがし配線		

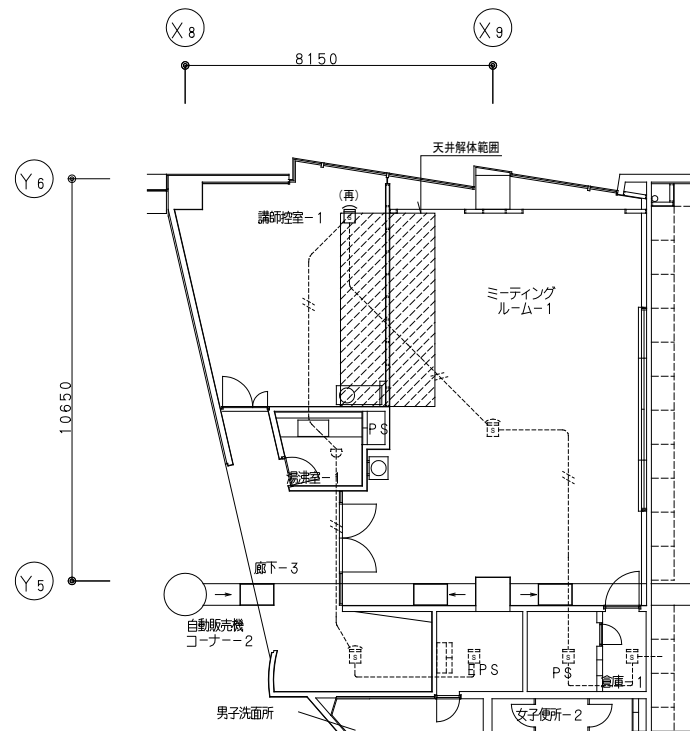
- 注記
1. 特記なき配管配線は下記とする。
【時刻表示】 AE1. 2-2C
 2. 傍記(再)は取外し再取付器具を示す。
 3. 図中、×印は撤去を示す。
 4. 図中、細破線は既設を示す。



通信設備 1階配線図 (改修後) S=1/100

凡例			
記号	名称	摘要	備考
⊙	天井埋込スピーカー		
⊙	子時計		
□	アウトレットボックス	OB 4角 中深型	
---	天井こしがし配線		

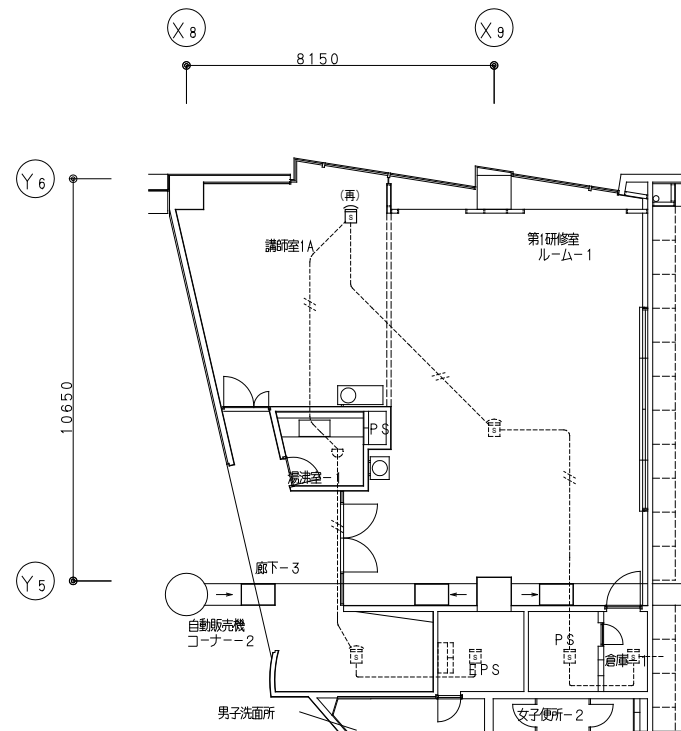
- 注記
1. 特記なき配管配線は下記とする。
【時刻表示】 EM-AE1. 2-2C
 2. 傍記(再)は取外し再取付器具を示す。
 3. 図中、細破線は既設を示す。



火災報知設備 1階配線図 (改修前) S=1/100

凡例			
記号	名称	摘要	備考
⊞	スポット型煙感知器	2種埋込型	

- 注記
1. 傍記(再)は取外し再取付器具を示す。



火災報知設備 1階配線図 (改修後) S=1/100

凡例			
記号	名称	摘要	備考
⊞	スポット型煙感知器	2種埋込型	

- 注記
1. 傍記(再)は取外し再取付器具を示す。

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟改修電気設備工事
				1階研修室 通信・火災報知設備配線図 (改修前・改修後)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				縮尺 1/100
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務 (設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬
				E-26